

書評 201807



日本統治下の朝鮮～統計と実証研究は何を語るか～(中公新書 2482)

木村 光彦 著

中央公論新社

日本による朝鮮の統治は果たして「収奪」一色だったのか? その後の韓国的发展、北朝鮮の社会主義による国家建設と?がりはないのか? 論点を経済に絞り、実証主義に徹し、日本統治時代の朝鮮の実態と変容を描く。

2018:4./ 4p,224p

978-4-12-102482-4

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/07/01



ローラとわたし

徳間書店

ローラは、わたしの親友だ。公園のとなりにあるアパートで、わたしたちはいっしょにくらしている。はじめて会ったときから、わたしはローラがだいすきになり、力になろうと心にきめた…。盲導犬と少女の友情の物語。

2018:1./ 32p

978-4-19-864555-7

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/07/01



隣人、それから。～38度線の北～

初沢 亜利 著

徳間書店

気鋭の写真家・初沢亜利が、2016年から2018年までに平壤の日常、北朝鮮の地方の庶民生活を撮影した写真集。近くて遠い隣国・北朝鮮の現在を伝える。「隣人。」の続編。

2018:5./ 175p

978-4-19-864625-7

本体 ¥3,000+税



産経新聞 2018/07/01



鶴見俊輔全漫画論<1> 漫画の読者として(ちくま学芸文庫 ツ4-4)

松田 哲夫 編

鶴見 俊輔 著

筑摩書房

漫画は芸術ではなくその時代を読み解く記号だと考える、鶴見俊輔の論考を網羅。1 は、自身のうちなる漫画のルーツを探るところから、法隆寺の落書き、アメリカの物語漫画、戦後日本の漫画までを論じる。

2018:5./ 650p

978-4-480-09855-9

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/07/01



鶴見俊輔全漫画論<2> 日本の漫画の指さすもの(ちくま学芸文庫 ツ4-5)

松田 哲夫 編

鶴見 俊輔 著

筑摩書房

漫画は芸術ではなくその時代を読み解く記号だと考える、鶴見俊輔の論考を網羅。2 は、昭和の漫画のヒーローたちを論じ、「少年アシベ」「寄生獣」などの発見を語る。河合隼雄との対談、講演2本も収録する。

2018:5./ 614p

978-4-480-09856-6

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/07/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2018年7月時点での税抜価格です。



教養のグローバル・ヒストリー～大人のための世界史入門～

北村 厚 著

ミネルヴァ書房

高校世界史 B の教科書にある内容をもとに、地域や文化をつなぐネットワークを俯瞰したグローバル・ヒストリーの通史。多数の地図や図版とともに世界中が結びあう歴史を学ぶ、大人のための世界史入門。

2018:5./ 19p,326p,18p

978-4-623-08288-9

本体 ¥2,500+税



産経新聞 2018/07/01



前川恒雄と滋賀県立図書館の時代

田井 郁久雄 著

出版ニュース社

戦後の日本の公立図書館の発展の歴史において、大きな役割を果たした前川恒雄。滋賀県立図書館長として、図書館サービスの躍進に尽力した前川の滋賀県立図書館時代と若き日の個人史を、インタビューをもとにまとめる。

2018:3./ 244p

978-4-7852-0163-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/07/01



かわいいロシアの A to Z～愛おしくて素朴なデザインたち～

井岡 美保 著

青幻舎

豪華さとチープさがミックスしたかわいいロシアのデザイン! 過去 40 回近く渡露し雑貨を買い付けている著者が、「暮らし・もの・こと」を切り口にとっておきのロシアを紹介しつづけます。キュートな魅力が満載の一冊。

2018:4./ 253p

978-4-86152-674-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/07/01



経済学者たちの日米開戦～秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く～(新潮選書)

牧野 邦昭 著

新潮社

なぜ無謀な対米開戦は防げなかったのか。一流経済学者を擁する陸軍の頭脳集団「秋丸機関」の研究を通じて、「正確な情報」が「不合理な意思決定」につながる過程を辿り、エリートたちが陥った「痛恨の逆説」を解き明かす。

2018:5./ 270p

978-4-10-603828-0

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/07/01、東京・中日新聞 2018/07/01、日本経済新聞 2018/07/21



エヴェレストより高い山～登山をめぐる 12 の話～(朝日文庫 く18-2)

ジョン・クラカワー、森 雄二 著

朝日新聞出版

0

2018:6./ 320p

978-4-02-261929-7

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/07/01、読売新聞 2018/07/08



熱海の奇跡～いかにして活気を取り戻したのか～

市来 広一郎 著

東洋経済新報社

「衰退した観光地」の代名詞となっていた熱海はなぜ再生できたのか? U ターンし、ゼロから街の再生に取り組んだ著者が、熱海で培った経験をもとに、人口減少時代の魅力ある地域づくりのあり方を紹介する。

2018:5./ 221p

978-4-492-50301-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/07/01、日本経済新聞 2018/07/07、朝日新聞 2018/07/21、読売新聞 2018/07/29



火のないところに煙は

芦沢 央 著

新潮社

「神楽坂を舞台にした怪談」を依頼された作家の「私」は、かつての凄惨な体験を振り返り、事件を小説として発表することで情報を集めようとするが…。『小説新潮』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 221p

978-4-10-350082-7

本体 ¥1,600+税



鵜頭川村事件

梶木 理宇 著

文藝春秋

父と幼い娘が訪れた亡き妻の故郷の村で、1 人の若者の死体が発見される。有力者の息子が犯人だと息巻く若者たち。土砂崩れで孤立し、狂気に陥る村から、父と娘は逃れられるのか。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 412p

978-4-16-390828-1

本体 ¥1,800+税



漱石センセと私

出久根 達郎 著

潮出版社

「センセ」はどんな人なのか？ 鏡子夫人は本当に「悪妻」だったのか？ 松山に住むひとりの少女から見た、知られざる夏目漱石を描いた新感覚小説。『パンプキン』連載を改題、加筆し単行本化。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 256p

978-4-267-02137-4

本体 ¥1,500+税



哲学者 190 人の死にかた

サイモン・クリッチリー、杉本 隆久、國領 佳樹 著

河出書房新社

ヘラクレイトスは牛糞で窒息死、ディオゲネスは自ら息を止め、トマス・モアは晒し首、ルソーは犬と激突死…。古今東西の哲学者たちの数奇な死から哲学を学び、生きかた・死にかたを考える、ユーモアと叡智にあふれる哲学入門。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 372p

978-4-309-24870-7

本体 ¥2,400+税



ポストカプセル

折原 一 著

光文社

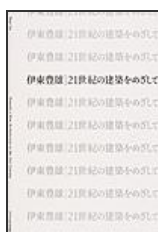
ラブレターが、遺書が、脅迫状が、礼状が、文学賞の受賞通知が、15 年遅れで届いたら？ 心温まるはずの善意の企画の裏に、驚愕の真相が…。騙りの名手によるミステリー。『小説宝石』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 360p

978-4-334-91225-3

本体 ¥1,700+税



伊東豊雄|21 世紀の建築をめざして

伊東 豊雄 著

エクスナレッジ

21 世紀にふさわしい建築とは。建築家・伊東豊雄が、20 世紀を代表する建築家ル・コルビュジエとミースの建築原理をやさしく説いたうえで、21 世紀のアジアの社会環境にフィットした建築の方向性、あり方を提示する。

産経新聞 2018/07/08

2018:4./ 171p

978-4-7678-2461-1

本体 ¥2,400+税





医者考案した「長生きみそ汁」

小林 弘幸 著

アスコム

赤みそ、白みそ、玉ねぎ、りんご酢、4 つの材料を混ぜるだけ。病気を遠ざけ、不調を改善する長生きみそ汁の作り方とアレンジレシピを紹介する。長生きみそ汁を習慣化させるコツも伝授。レシピの電子版が読める QR コード付き。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 122p

978-4-7762-0995-9

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 7 7 6 2 0 9 9 5 9 *



絵本 BOOK END<2018> 特集 1 絵本の教科書-作品で学ぶ絵本論

絵本学会機関誌編集委員会 編

朔北社

絵本と絵本研究の現在がわかる絵本アニュアルレポート。2018 は、「絵本の教科書-作品で学ぶ絵本論」「絵本モニターによる次世代に伝えたい絵本 2017 年」を特集するほか、第 2 回日本絵本研究賞受賞作などを収録。

産経新聞 2018/07/08

2018:6./ 143p

978-4-86085-131-6

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 8 6 0 8 5 1 3 1 6 *



消された信仰〜「最後のかくれキリシタン」-長崎・生月島の人々〜

広野 真嗣 著

小学館

新・世界遺産から黙殺された島があった! かくれキリシタンの歴史に光を当てた、長崎「潜伏キリシタン関連遺産」だが、長崎県が作ったパンフレットからは生月島の存在が消されていて…。カトリック史の重大タブーに迫る。

産経新聞 2018/07/08、毎日新聞 2018/07/22

2018:5./ 255p

978-4-09-388621-5

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 0 9 3 8 8 6 2 1 5 *



傍流の記者

本城 雅人 著

新潮社

優秀な記者ばかりがそろった黄金世代。だがこの中で社会部長になれるのはたったひとり。出世レースが佳境を迎えたそのとき、新聞社が倒れかねない危機が。男たちが選んだ道とは…。『小説新潮』掲載に加筆し単行本化。

産経新聞 2018/07/15

2018:4./ 250p

978-4-10-336053-7

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 0 3 3 6 0 5 3 7 *



ある明治人の記録〜会津人柴五郎の遺書〜 改版(中公新書 252)

石光 真人 著

中央公論新社

明治維新に際し、朝敵の汚名を着せられた会津藩は、降伏後いかなる運命を辿ったか。維新の裏面史を赤裸々に描く回顧録。「城下の人」で知られる編著者が、会津人・柴五郎が遺した記録を整理編集し、人とその時代を概観する。

産経新聞 2018/07/15

2017:12./ 182p

978-4-12-180252-1

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 1 2 1 8 0 2 5 2 1 *



ガムじいさん、あんたサイアクだよ!(ガムじいさん 1)

アンディ・スタントン、デビッド・タジーマン、石崎 洋司 著

小峰書店

ひねくれ者でいじわるなガムじいさんの庭は町で一番美しい。その庭を犬のジェイクにめちゃくちやにされ、怒ったガムじいさんは、ジェイクを毒で退治しようとする。それを知ったポリーはジェイクを助けようとするが…。

産経新聞 2018/07/15

2018:6./ 157p

978-4-338-32001-6

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 3 8 3 2 0 0 1 6 *



日本国史～世界最古の国の新しい物語～

田中 英道 著

育鵬社

高天原は関東にあった？ 天孫降臨はフィクションではない？ 最新の歴史研究の成果を踏まえ、日本の歴史をコンパクトな通史にまとめる。

2018:5./ 303p

978-4-594-07982-6

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/07/15



小泉進次郎 日本の未来をつくる言葉(扶桑社新書 274)

鈴木 款 著

扶桑社

2009 年@初選挙「この逆風、最後まで吹き荒れています」、2011 年@復興支援「現場に入り、声を聞き、汗をかいていく」...。“総理に一番近い男”小泉進次郎の進化の軌跡を、彼の言葉と周囲の証言をもとに紹介する。

2018:6./ 247p

978-4-594-07991-8

本体 ¥830+税



産経新聞 2018/07/15



いずれの日にか国に帰らん

安野 光雅 著

山川出版社

昔の津和野の風景、戦争を挟んで別れ別れになってしまった弟との思い出、そして忘れえぬ人々...。安野光雅が柔らかな色彩で描いた数多くの絵と共に、昭和の初めの、貧しいけれど平和なころをユーモアと哀切を奏でる文章で綴る。

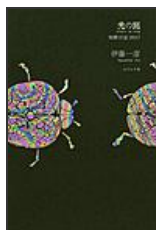
2018:4./ 209p

978-4-634-15130-7

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/07/15



光の庭(短歌日記 2017)

伊藤 一彦 著

ふらんす堂

母の無き初の正月これまでにまして母感じ酒を酌みを取り 2017 年の 1 年間、歌人・伊藤一彦が詠んだ短歌を日付順に収録。『ふらんす堂ホームページ』に掲載したものを書籍化。

2018:6./ 382p

978-4-7814-1067-8

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/07/15



深夜航路～午前 0 時から始まる船旅～

清水 浩史 著

草思社

大洗→苫小牧、神戸→小豆島、博多→対馬、奄美大島→鹿児島...。日本で運航している午前 0 時?3 時発の深夜便全 14 航路を旅した著者が、深夜航海の魅力と、下船後の「旅のつづき」の愉しみを綴る。

2018:6./319p 図版 14p

978-4-7942-2340-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/07/15



磯野家の危機

東京サザエさん学会 著

宝島社

庶民なのに土地だけで 2 億円の資産? 波平は出川哲郎と同年? いまだに黒電話だけどなぜスマホにしない? 磯野家と現代とのギャップを中心に、日本での家族や社会の常識の急速な変化を、「サザエさん」に則してまとめる。

2018:5./ 190p

978-4-8002-8356-6

本体 ¥980+税



産経新聞 2018/07/15



日本におけるフィルムアーカイブ活動史(Museum Library Archives 02)

石原 香絵 著

美学出版

文化遺産である「わたしたちの映画」をいかに守るのか。映画の草創期から現在までを対象に、国際機関の動向もふまえ、映画フィルムの収集・保存などのあらゆる側面を考察。フィルムアーカイブ活動の歴史から新たな展望を拓く。

産経新聞 2018/07/15

2018:3./ 383p

978-4-902078-49-7

本体 ¥3,200+税



定年前後の「やっではないけない」～人生 100 年時代の生き方、働き方～(青春新書 INTELLIGENCE PI-538)

郡山 史郎 著

青春出版社

定年後うまくいく人といかない人は、どこが違うのか。多くの再就職をサポートしてきた人材紹介のプロが、定年前後の「やっではないけない」ことを、仕事やお金、健康、人づきあいなど、さまざまな面から解説する。

産経新聞 2018/07/21

2018:4./ 189p

978-4-413-04538-4

本体 ¥950+税



世界史序説～アジア史から一望する～(ちくま新書 1342)

岡本 隆司 著

筑摩書房

気鋭の東洋史家によるあらたな通史。ユーラシア全域と海洋世界を視野にいれ、古代から現代までを一望。西洋中心の歴史観を覆し、「世界史の構造」を大胆かつ明快に語る。『ちくま』連載を新書化。

産経新聞 2018/07/21

2018:7./ 265p,4p

978-4-480-07155-2

本体 ¥860+税



なぜ古典を勉強するのか～近代を古典で読み解くために～

前田 雅之 著

文学通信

私たちの言葉は過去と?がつている。今この時代を読み解くための、実践的古典入門。全体を「古典入門」「古典で今を読み解く」「古典と近代の歴史を知る」に分けて解説。古典文学の新しい見方、古典を勉強する意義を伝える。

産経新聞 2018/07/21

2018:6./ 335p

978-4-909658-00-5

本体 ¥3,200+税



ほんのにな

みやざき ひろかず 著

偕成社

庭をつくるのが仕事の、庭師がひとり。同じく庭師だった父の写真には、不思議な庭が写っていました。庭師の心から離れなくなったその庭は、いったいどこにあるのでしょうか?

産経新聞 2018/07/22

2018:6./ 32p

978-4-03-425360-1

本体 ¥1,400+税



ののとはな通信

三浦 しをん 著

KADOKAWA

横浜のお嬢様学校に通う、クールで毒舌なののと、天真爛漫なはな。親友同士となった2人だが、ののとはなに友情以上の気持ちを抱き…。少女たちの20年超を全編書簡形式で紡ぐ。『小説屋 sari-sari』掲載を書籍化。

産経新聞 2018/07/22

2018:5./ 448p

978-4-04-101980-1

本体 ¥1,600+税





ヴィルヘルム 2 世～ドイツ帝国と命運を共にした「国民皇帝」～(中公新書 2490)

竹中 亨 著

中央公論新社

ビスマルクを罷免し、自ら国を率いた皇帝は、海軍力を増強し、英仏露と対立、第一次世界大戦勃発の主要因をつくった。統一国民国家の草創期、ふたつの世界大戦という激動の時代とともに歩んだ、最後のドイツ皇帝の実像を描く。

2018:5./ 5p,222p

978-4-12-102490-9

本体 ¥820+税



産経新聞 2018/07/22



うなぎばか

倉田 タカシ 著

早川書房

もしも、うなぎがいなくなったら? 元うなぎ屋の父と息子それぞれの想いと葛藤を描く表題作など、うなぎ絶滅後の人類を描いたポストうなぎエンタメ連作 5 篇を収録。『SF マガジン』掲載に書き下ろしを加える。

2018:7./ 252p

978-4-15-209781-1

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/07/22



マリア・シャラポワ自伝

マリア・シャラポワ、金井 真弓 著

文藝春秋

貧しい少女時代、ステージパパ、遅い初恋、世界ランキング 1 位、そしてドーピング騒動…。ロシアで生まれ、6 歳のときにアメリカに移住。テニス選手としてこれまで 5 回グランドスラムで優勝したマリア・シャラポワの自伝。

2018:6./ 324p

978-4-16-390862-5

本体 ¥2,100+税



産経新聞 2018/07/22



一億円のさようなら

白石 一文 著

徳間書店

連れ添って 20 年。発覚した妻の巨額隠し資産。続々と明らかになる家族の秘密。爆発事故に端を発する化学メーカーの社内抗争。もう誰も信じられない。鉄平は人生を取り戻すための大きな決断をする…。『読楽』連載を単行本化。

2018:7./ 541p

978-4-19-864655-4

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2018/07/22



君たちはどう生きるかの哲学(幻冬舎新書 う-5-1)

上原 隆 著

幻冬舎

「一人ひとりの「私」が様々なことと出会い失敗し後悔し、そこから意味をくみ取り成長する。そこにしか哲学はない」という哲学者・鶴見俊輔。ベストセラー「君たちはどう生きるか」を、鶴見哲学を補助線に深く丁寧に読み解く。

2018:5./ 220p

978-4-344-98499-8

本体 ¥780+税



産経新聞 2018/07/22



大根の底から!

林 望 著

フィルムアート社

野菜焼きの愉しみ、蕎麦一瞬の快楽、アヒルの掌、大蛇料理…。食いしん坊のリンボウ先生が煩惱する折々の美味、そして珍味怪味なるエッセイ集。『味覚春秋』ほか掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:3./ 221p

978-4-8459-1712-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/07/22



モーセの災い<上>(竹書房文庫 ろ 1-28)

ジェームズ・ロリンズ、桑田 健 著

竹書房

アフリカの砂漠で行方不明になっていた、旧約聖書の出エジプト記「十の災い」を研究する教授の死体から、謎の病気が広がる。シグマフォースのペインター司令官は調査を依頼され…。短編「クラッシュ・アンド・バーン」も収録。

2018:7./ 390p

978-4-8019-1510-7

本体 ¥750+税



産経新聞 2018/07/28



モーセの災い<下>(竹書房文庫 ろ 1-29)

ジェームズ・ロリンズ、桑田 健 著

竹書房

砂漠で調査を進めるグレイたちは、砂に埋もれた謎の建造物に辿り着く。そんな彼らを「ギルド」の生き残り、ヴァーリャ率いるグループが追っていた…。ニコラ・テスラの<失われたノート>に秘められた“革新的な計画”とは？

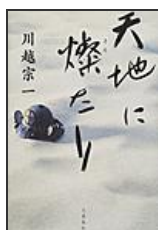
2018:7./ 455p

978-4-8019-1511-4

本体 ¥750+税



産経新聞 2018/07/28



天地に燦たり

川越 宗一 著

文藝春秋

侵略する者、される者それぞれの矜持-。豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、島津の侍大将、朝鮮国の被差別民の青年、琉球国の官人という3つの視点から克明に綴る。

2018:7./ 349p

978-4-16-390870-0

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/07/29



ある世捨て人の物語～誰にも知られず森で27年間暮らした男～

マイケル・フィンケル、宇丹 貴代実 著

河出書房新社

社会のしがらみをすべて捨てて、森で一人で生きていたい-。20歳の時から27年間、ほぼ誰とも会わず、アメリカのメイン州の森に一人きりで暮らしていた男に取材した書。人間にとっての孤独や自由、幸福とはなにかを考える。

2018:7./ 233p

978-4-309-20745-2

本体 ¥1,850+税



産経新聞 2018/07/29



ざっくり甲子園 100年 100ネタ～ニワカもマニアもおさえておきたい～

オグマ ナオト 著

廣済堂出版

甲子園にまつわる膨大なエピソードから100ネタを厳選し、「選手」「監督」「学校」「勝負」「球場」「大会」「逸話」「人物」の8ジャンルに分けて紹介する。高校野球100年の歴史がざっくりわかる一冊。

2018:7./ 239p

978-4-331-52175-5

本体 ¥1,350+税



産経新聞 2018/07/29



じっと手を見る

窪 美澄 著

幻冬舎

富士山を望む町で介護士として働く、かつて恋人同士だった日奈と海斗。東京に住む宮澤と出会い、この町以外に思いを馳せる日奈。一方、海斗は同僚と仲を深め町に縛り付けられていく…。『GINGER L.』他掲載を書籍化。

2018:4./ 279p

978-4-344-03275-0

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/07/29



おやすみ、東京

吉田 篤弘 著
角川春樹事務所

映画の小道具を探すミツキ、使わなくなった電話を回収するモリイズミ、昼夜が逆転した古道具屋イバラギ…。この街の夜は、誰もが主役。都会の夜の優しさと、祝福に満ちた長篇小説。『Web ランティエ』連載を単行本化。

産経新聞 2018/07/29

2018:6./ 284p
978-4-7584-1325-1
本体 ¥1,600+税



教科書が教えない楠木正成

産経新聞取材班 著
産経新聞出版

皇国史観・軍国主義の象徴として扱われ、戦後の教科書から消えた楠木正成。彼は何のために大軍と戦ったか。「忠義と仁の人」の生涯を再考する。『産経新聞』(大阪版)連載を加筆・修正し再編集。

産経新聞 2018/07/29

2018:7./ 334p
978-4-8191-1340-3
本体 ¥1,500+税



世界遺産ル・コルビュジエ作品群〜国立西洋美術館を含む 17 作品登録までの軌跡〜(TOTO 建築叢書 9)

山名 善之 著
TOTO出版

20 世紀文化遺産とはいかなるものか。世界遺産登録とはどのような意義があるのか。国立西洋美術館を含むル・コルビュジエの建築作品 17 作品の世界遺産登録までの軌跡を辿り、その文化遺産としての価値を示す。

産経新聞 2018/07/29

2018:3./ 283p
978-4-88706-368-6
本体 ¥1,700+税



拝み屋怪談 鬼神の岩戸(角川ホラー文庫 H こ 7-4)

郷内 心瞳 著
KADOKAWA

都内で起こった幽霊騒動。解決を要請された拝み屋の著者は、原因があるとされる地下室の扉を開けようとする。だが、そこには残酷でおぞましい現実が広がっていて。取材をもとにした怪異譚も収録した、震撼の実話怪談。

朝日新聞 2018/07/07

2018:6./ 285p
978-4-04-106896-0
本体 ¥680+税



モンスターバンケット<1>(シリウス KC)

吉永 龍太 著
講談社

時は 18 世紀、清朝最盛期。主人公・乾貴道(通称:ケンちゃん)は、人類史上最難関の試験「科挙」に落ちてしまう。だが、謎の少女・暗娘に、旺盛な食欲を見込まれ、誘われた先は……なんと“世界の中心”紫禁城!

朝日新聞 2018/07/07

2018:6./ 176p
978-4-06-511673-9
本体 ¥600+税



ぼくの短歌ノート(講談社文庫 ほ 38-2)

穂村 弘 著
講談社

最期には納得できず死んでいく和牛たちよ今年は干支だ 人気歌人が気になるテーマで選んだ「面白い歌」「凄い歌」から、今の時代を鮮やかに読み解き、新たな世界へと誘う短歌エッセイ。

朝日新聞 2018/07/07

2018:6./ 257p
978-4-06-511833-7
本体 ¥620+税





リサイクルと世界経済～貿易と環境保護は両立できるか～(中公新書 2489)

小島 道一 著
中央公論新社

海を越える資源か、環境を汚す廃棄物か。分別収集など国内で完結するイメージが強いリサイクルだが、中古品・再生資源は主要な貿易品目になっている。急速に拡大している国際的なリサイクルの現状と問題点を明らかにする。

2018:5./ 5p,224p
978-4-12-102489-3
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/07/07



朝ドラには働く女子の本音が詰まってる(ちくま新書 1323)

矢部 万紀子 著
筑摩書房

連続テレビ小説、通称「朝ドラ」のテーマは女の一代記、女の生き方。ヒロインの人生の戦いはすべての働く女子の戦いに重ねられている。徹底した視聴者目線で、朝ドラ人気の秘密を論じる。『WEBRONZA』連載を書籍化。

2018:4./ 237p
978-4-480-07136-1
本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/07/07



遺伝人類学入門～チンギス・ハンのDNAは何を語るか～(ちくま新書 1328)

太田 博樹 著
筑摩書房

遺伝子の研究方法、人類の祖先の辿り方、進化と遺伝の捉え方…。チンギス・ハンの持っていた Y 染色体のタイプが爆発的に拡散しているという仮説を糸口に、ゲノム時代にルーツを追究する意義について、縦横無尽に解説する。

2018:5./ 314p,2p
978-4-480-07138-5
本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/07/07



悪女イヴ 新版(創元推理文庫 Mチ 2-3)

ジェイムズ・ハドリー・チェイス、小西 宏 著
東京創元社

死んだ作家の遺稿をわがものとし、名声も恋人も手に入れたクライヴ。やがて、実力とのギャップに苦しむようになった彼の前に、娼婦イヴが現われて…。魔性の女の虜となった男が迎える悪夢を描く。2018 年公開映画の原作。

2018:6./ 366p
978-4-488-13329-0
本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/07/07



テレ東のつくり方(日経プレミアシリーズ 376)

大久保 直和 著
日本経済新聞出版社

「ガイアの夜明け」「未来世紀ジパング」「カンブリア宮殿」…。おカネも人手も足りなかった逆境のテレビ東京報道局は、なぜ名物番組を生み出したのか。3 番組すべてにかかわった著者が、制作の舞台裏、奮闘の軌跡を綴る。

2018:6./ 241p
978-4-532-26376-8
本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/07/07



雲は答えなかった～高級官僚その生と死～(PHP 文庫 こ 60-1)

是枝 裕和 著
PHP研究所

自身の良心と、職責との板挟みの末の悲劇。1990 年、水俣病訴訟を担当する官僚の自殺はそう報じられた。だが妻の証言、彼の歩みを辿るうち、見えざる側面が浮かび上がってきた。是枝裕和監督の原点となるノンフィクション。

2014:3./ 308p
978-4-569-76155-8
本体 ¥648+税



朝日新聞 2018/07/07



中国現代文学傑作セレクション～1910-40 年代のモダン・通俗・戦争～

城山 拓也 編

陶 晶孫 著

勉誠出版

20 世紀前半に中国で発表された小説・詩・戯曲・脚本・エッセイの中から、30 を超える作品をセレクト。「モダン・通俗・戦争の時代」という、不安定な状況下で生きた作家が残した作品から、中国の近代をたどる。

2018:6./ 12p,662p

978-4-585-29162-6

本体 ¥9,800+税



朝日新聞 2018/07/07



ビットコインはチグリス川を漂う～マネーテクノロジーの未来史～

デイヴィッド・バーチ、松本 裕 著

みすず書房

人が理解するマネーから、人を理解するマネーへ。電子マネーと電子識別の権威である著者が、マネーの三大機能を踏まえつつ、マネーの誕生から現在までをたどり、ビットコイン後のマネー像を描きだす。

2018:5./ 20p,305p,14p

978-4-622-08694-9

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/07/07



埋葬からみた古墳時代～女性・親族・王権～(歴史文化ライブラリー 465)

清家 章 著

吉川弘文館

数多くの古墳群の発掘成果(埋葬施設・副葬品・人骨の性別)から埋葬のルール(埋葬原理)を抽出。古墳時代の親族・女性首長たちの活躍や王位継承のあり方を分析する。「王朝交替論」についても一石を投じる。

2018:5./ 7p,265p

978-4-642-05865-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/07/07



常玉～モンパルナスの華人画家～

常 玉、二村 淳子 編

常 玉 著

亜紀書房

「東洋のマティス」と呼ばれ、21 世紀に入り再評価が高まっている華人画家・常玉の本邦初作品集。得意としていた裸婦画をはじめ、花や蝶といった静物画、動物画などを収録する。作品論も掲載。

2018:6./ 159p

978-4-7505-1548-9

本体 ¥3,700+税



朝日新聞 2018/07/07



手話の歴史～ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで～<上>

ハーラン・レイン、斉藤 渡、前田 浩 著

築地書館

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。上は、アメリカ初のろう学校教師ローラン・クレールの回顧を軸に、フランスとアメリカのろう教育の変遷を描く。

2018:6./ 268p

978-4-8067-1560-3

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/07/07



手話の歴史～ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで～<下>

ハーラン・レイン、斉藤 渡、前田 浩 著

築地書館

フランスで始まった手話法によるろう教育がアメリカに伝えられ、発展する歴史を、詳細な資料をもとに丁寧に記述。下は、ローラン・クレールの死から 1900 年までのろう教育がたどった道と、その考察を収録する。

2018:6./ 291p

978-4-8067-1561-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/07/07



歴史人名学序説～中世から現在までのイベリア半島を中心に～

芝 紘子 著

名古屋大学出版会

イベリア半島における近代姓名システムの誕生から現在までの展開を、公刊史・資料を用いてつぶさに辿りつつ、それらが映し出すその時々々の社会の諸事象がもつ意味合い・関係性を明らかにする。

2018:6./ 8p,297p

978-4-8158-0912-6

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2018/07/07



加納大尉夫人/オンパコノトク

佐藤 愛子 著

めるくまーる

海軍大尉と結婚した裕福な令嬢の終戦までの 5 年間を描いた「加納大尉夫人」と北海道の片田舎に生きた一人の男の物語を描いた「オンパコノトク」を収録。『文学界』『小説新潮』掲載を書籍化。

2018:4./ 174p

978-4-8397-0174-1

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/07



チュサンマとピウスツキとトミの物語他

花崎 皋平 著

未知谷

アイヌの人と文化に導かれた哲学者が、その思索、生活、出会いを詩として綴る。長篇物語詩「チュサンマとピウスツキとトミの物語」ほか、アイヌの人と文化を歌った詩を収録。

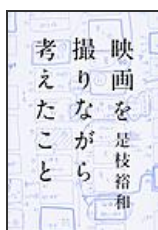
2018:5./ 153p

978-4-89642-553-6

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/07/07



映画を撮りながら考えたこと

是枝 裕和 著

ミシマ社

「誰も知らない」「そして父になる」「海街 diary」「海よりもまだ深く」... 映画監督、テレビディレクターの是枝裕和が、これまでの作品を振り返り、「この時代に表現しつづける」方法と技術、困難、可能性を探る。

2016:6./ 414p

978-4-903908-76-2

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/07/07



思い出づくり(山田太一セレクション)

山田 太一 著

里山社

「なんかひとりの時の、すっごくいい思い出欲しい」山田太一の名作ドラマ・セレクション。1982 年に TBS で放送された同名ドラマのシナリオを収録。短編シナリオ「いちばん綺麗なとき」、書き下ろしエッセイも掲載。

2016:12./ 471p

978-4-907497-05-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/07/07



フランス人の第一次世界大戦～戦時下の手紙は語る～

大橋 尚泰 著

えにし書房

第一次大戦に従軍したフランス人兵士たちやその家族などによる、大戦中の葉書・手紙約 200 点の画像を収録。全訳と詳細な注、解説、地図等を付す。フランス人にとっての第一次世界大戦の全体像を浮かび上がらせる一冊。

2018:6./ 462p

978-4-908073-55-7

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2018/07/07



八九六四～「天安門事件」は再び起きるか～

安田 峰俊 著

KADOKAWA

中国の“今”をつくった、1989 年 6 月 4 日の天安門事件。中国、香港、台湾、日本を巡り、地べたの労働者から民主化運動の亡命者、当時のリーダーまで 60 人以上を取材し、世界史に刻まれた事件の意義と意味を問い直す。

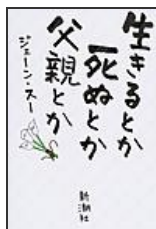
2018:5./ 303p

978-4-04-106735-2

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/07/07、読売新聞 2018/07/08、日本経済新聞 2018/07/14



生きるとか死ぬとか父親とか

ジェーン・スー 著

新潮社

20 年前に母を亡くし、父は 80 歳、娘は 40 半ば。一時は絶縁寸前までいったけれど、いま父の人生を聞いておかなければ、一生後悔する。父への愛憎と家族の裏表を描く、普遍にして特別な物語。『波』連載を加筆・修正。

2018:5./ 237p

978-4-10-351911-9

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/07/07、日本経済新聞 2018/07/07、読売新聞 2018/07/08



ベラスケス～宮廷のなかの革命者～(岩波新書 新赤版 1721)

大高 保二郎 著

岩波書店

17 世紀宮廷社会を生きながら、近現代を先取りするかのような「絵画の革命者」となったベラスケス。その生涯と創造の軌跡を辿りつつ、作品が誕生したトポスと機能、その時代や社会の姿、画家の人間性と芸術の真実を映し出す。

2018:5./ 12p,269p,3p

978-4-00-431721-0

本体 ¥960+税



朝日新聞 2018/07/07、日本経済新聞 2018/07/21



デジタル・ポピュリズム～操作される世論と民主主義～(集英社新書 0934)

福田 直子 著

集英社

タイムラインに紛れ込む偽ニュース、日常が丸裸になるグーグル検索、深層心理に訴えるマイクロターゲット広告…。巧みなデジタル戦略によって人びとを分断・誘導する様々な手法を紹介し、デジタル時代の民主主義を考える。

2018:5./ 220p

978-4-08-721034-7

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/07/07、日本経済新聞 2018/07/21



朝鮮大学校物語

ヤン ヨンヒ 著

KADOKAWA

全寮制、日本語禁止、無断外出厳禁。大阪下町育ちのミョンが飛びこんだ「大学」は、高い塀の中だった。東京に実在するもうひとつの<北朝鮮>を舞台に、恋と出会い、挫折、卒業を描く小説。

2018:3./ 231p

978-4-04-400092-9

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/07/07、毎日新聞 2018/07/08



歴史と戦争(幻冬舎新書 は-15-1)

半藤 一利 著

幻冬舎

幕末・明治維新からの日本近代化の歩みは、戦争の歴史でもあった。過ちを繰り返さないために、私たちは歴史に何を学ぶべきなのか。80 冊以上の著作から半藤日本史のエッセンスを厳選して紹介する。

2018:3./ 213p

978-4-344-98496-7

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/07/07、毎日新聞 2018/07/08



コンビニ外国人(新潮新書 767)

芹澤 健介 著

新潮社

全国の手数コンビニで働く外国人店員はすでに 4 万人超。「移民不可」にもかかわらず、世界第 5 位の「外国人労働者流入国」に日本がなったカラクリと、知られざる隣人たちの切ない現実に、丹念な取材で迫ったルポルタージュ。

2018:5./ 223p

978-4-10-610767-2

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/07/07、毎日新聞 2018/07/29



スローカーブを、もう一球(角川文庫)

山際 淳司 著

角川書店

0

1985:2./ 254p

978-4-04-154002-2

本体 ¥476+税



朝日新聞 2018/07/14



戦後と災後の間～溶融するメディアと社会～(集英社新書 0938)

吉見 俊哉 著

集英社

フクシマ、トランプ、政治とマスコミの癒着、公文書問題、日常に迫るテロ…。東日本大震災後の 2010 年代に足場を置き、戦後と災後の間を考察し、未来への展望を示す。『北海道新聞』等掲載をもとに加筆・修正し書籍化。

2018:6./ 221p

978-4-08-721038-5

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/07/14



勝ち過ぎた監督～駒大苫小牧幻の三連覇～(集英社文庫 な 63-2)

中村 計 著

集英社

北海道勢初の甲子園制覇、田中将大らの輩出、前人未到の三連覇へ王手…。短期間に数多の偉業を成し遂げた駒大苫小牧野球部元監督・香田誉士史の栄光と挫折の舞台裏を解き明かす。

2018:7./ 555p

978-4-08-745768-1

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/07/14



IQ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 465-1)

ジョー・イデ、熊谷 千寿 著

早川書房

LA の若き黒人探偵 IQ は、大物ラッパーから「謎の巨犬を使う殺し屋を探し出せ」という奇妙な仕事を請け負うことに。事件の謎を全力で追う IQ。そんな彼が探偵として生きる契機となった凄絶な過去とは…。

2018:6./ 445p

978-4-15-183451-6

本体 ¥1,060+税



朝日新聞 2018/07/14



知性は死なない〜平成の鬱をこえて〜

與那覇 潤 著

文藝春秋

世界秩序の転換点でもある平成という時代に、どうして「知性」は社会を変えられず、むしろないがしろにされ敗北していったのか。うつを体験した著書が、その理由をかつての自分自身に対する批判も含めて探った記録。

朝日新聞 2018/07/14

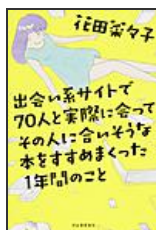
2018:4./ 292p

978-4-16-390823-6

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 1 6 3 9 0 8 2 3 6 *



出会い系サイトで 70 人と実際に会ってその人に合いそうな本をすすめまくった 1 年間のこと

花田 菜々子 著

河出書房新社

人生のどん底にいた書店員・奈々子は、新しい自分になろうと登録した出会い系サイト「X」で初対面の人にぴったりの本をおすすめし始めて…。勇気が湧いてくる実録私小説。『WEBmagazine 温度』連載を単行本化。

朝日新聞 2018/07/14

2018:4./ 221p

978-4-309-02672-5

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 7 2 5 *



ハックルベリー・フィンの冒険<上>(光文社古典新訳文庫 KAト4-2)

トウェイン 著

光文社

トム・ソーヤーとの冒険で大金を得た後、まっとうだが退屈な生活を送っていたハック。そこに飲んだくれの父親が現れ、ハックは筏で川に漕ぎ出す。身を隠した島で出会ったのは、主人の家を逃げ出した奴隷のジムだった…。

朝日新聞 2018/07/14

2014:6./ 420p

978-4-334-75292-7

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 5 2 9 2 7 *



ハックルベリー・フィンの冒険<下>(光文社古典新訳文庫 KAト4-3)

トウェイン 著

光文社

ジムとの筏の旅には危険が一杯。さらに途中で道連れとなった詐欺師たちは厄介事ばかり引き起こす。だがハックを本当に悩ませていたのは、おたずね者の逃亡奴隷ジムをどうするかという問題。そして彼は重大な決断を下す。

朝日新聞 2018/07/14

2014:6./ 412p

978-4-334-75293-4

本体 ¥1,200+税



* 9 7 8 4 3 3 4 7 5 2 9 3 4 *



プロジェクト:シャーロック(創元 SF 文庫 SF ん 1-11)

日下 三蔵 編

上田 早夕里 著

東京創元社

2017 年に発表された SF 短編の精華を集成。我孫子武丸による表題作ほか、上田早夕里「ルーシィ、月、星、太陽」など、漫画 1 編を含む全 16 編を収録。巻末には第 9 回創元 SF 短編賞受賞作と選評を掲載。

朝日新聞 2018/07/14

2018:6./ 602p

978-4-488-73411-4

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 4 8 8 7 3 4 1 1 4 *



あゝ栄冠は君に輝く～知られざる「全国高校野球大会歌」誕生秘話～

手束 仁 著

双葉社

発表から 20 年経って明かされた「本当の作詞者」。その生涯から浮かび上がる球史の裏側、松井秀喜との不思議な宿縁…。全国高校野球大会歌「栄冠は君に輝く」を作詞した加賀大介の半生を追うノンフィクション。

2015:7./ 246p

978-4-575-30910-2

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/07/14



医療経済の?～病人は病院で作られる～(ポプラ新書 152)

森田 洋之 著

ポプラ社

病院がなくても住民の健康は変わらない? 医療と医療費の不都合な真実とは? 医学的・経済学的な見地から、医療や地域の問題を鮮やかに描き出し、日本の明るい未来への処方箋を提示する。著者のブログ等をもとに書籍化。

2018:6./ 220p

978-4-591-15926-2

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/07/14



面従腹背

前川 喜平 著

毎日新聞出版

前文部科学事務次官・前川喜平が、安倍政権下で起きた加計学園問題をはじめ「権力私物化」の構造を糾弾し、「道徳の教科化」や「教育勅語」の復活など、安倍政権が進める教育政策に警鐘を鳴らす。

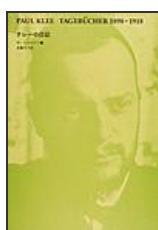
2018:6./ 235p

978-4-620-32514-9

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/07/14



クレーの日記

パウル・クレー、W.ケルステン 編

パウル・クレー、高橋 文子 著

みすず書房

パウル・クレーが残した 4 冊の日記ノートを、パウル・クレー財団の研究者が再考し、細部に至るまで収録。また、パウル・クレー・センター所蔵の日記に関する資料も掲載する。

2018:5./ 519p,51p

978-4-622-08661-1

本体 ¥7,200+税



朝日新聞 2018/07/14



藤原彰子～天下第一の母～(ミネルヴァ日本評伝選)

臈谷 寿 著

ミネルヴァ書房

藤原摂関家の繁栄に大きく貢献した藤原彰子。政治的に重要な人物だが現存する公的な記録が少ない彰子の生涯を、彰子に仕えた紫式部や和泉式部の日記や文学資料を織り交ぜながら、丹念に読み解く。

2018:5./ 13p,335p,9p

978-4-623-08362-6

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/07/14



戦後日本を読みかえる<1> 敗戦と占領

坪井 秀人 編

臨川書店

本当に<戦後>は終わったのか? 人文学の叢智を結集し、真つ向から<戦後>を読みかえることに挑む。1 は、闇市、占領、検閲といったキーワードから、戦時と戦後はどのように連続し、あるいは断絶しているのかに迫る。

2018:7./ 9p,274p

978-4-653-04391-1

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/07/14



戦後日本を読みかえる<6> バブルと失われた 20 年

坪井 秀人 編

臨川書店

本当に<戦後>は終わったのか? 人文学の叢智を結集し、真っ向から<戦後>を読みかえることに挑む。6 は、グローバリズム、ポストバブルといったキーワードから、<戦後>と呼ばれてきた時代の最も新しい時間をとらえる。

朝日新聞 2018/07/14

2018:7./ 7p,254p

978-4-653-04396-6

本体 ¥3,200+税



* 9 7 8 4 6 5 3 0 4 3 9 6 6 *



SNS カウンセリング入門~LINE によるいじめ・自殺予防相談の実際~

杉原 保史、宮田 智基 著

北大路書房

SNS を活用したカウンセリングの入門書。長野県が中高生向けに行った相談事業「ひとりで悩まないで@長野」の LINE 相談に携わった経験に基づき、その基本的な考え方を論じるとともに、SNS カウンセリングの実際を描く。

朝日新聞 2018/07/14

2018:5./ 8p,168p

978-4-7628-3021-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 7 6 2 8 3 0 2 1 1 *



イメージの人類学

箭内 匡 著

せりか書房

著者自身のフィールドワーク経験を反芻しながら、「脱+再イメージ化」と「社会身体」という 2 つの独自の概念を提起し、それを土台に、20 世紀人類学の成果を清新な形で蘇らせる。

朝日新聞 2018/07/14

2018:4./ 308p,5p

978-4-7967-0373-4

本体 ¥3,000+税



* 9 7 8 4 7 9 6 7 0 3 7 3 4 *



どうしてドステンちゃん

いがらし みきお 著

竹書房

なんでも知りたがりのロバの女の子ドステンちゃん。今日も頭の中は“?”でいっぱい。いがらしみきおが描く社畜コメディ!

朝日新聞 2018/07/14

2018:6./ 176p

978-4-8019-1496-4

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 8 0 1 9 1 4 9 6 4 *



モラリア<4>(西洋古典叢書 G104)

プルタルコス、伊藤 照夫、内山 勝利、大戸 千之、中務 哲郎、南川 高志、中畑 正志、高橋 宏幸、マルティン・チエシュコ 著

京都大学学術出版会

「英雄伝」でその名が広く知られるプルタルコスが、人間の生き方に関わるさまざまな問題を取り上げ議論した「倫理学論集」。第 4 巻は、古代ギリシア・ローマ人の風俗と習慣の起源を問う 2 篇ほか、全 6 篇を収録。

朝日新聞 2018/07/14

2018:6./ 396p

978-4-8140-0170-5

本体 ¥3,700+税



* 9 7 8 4 8 1 4 0 0 1 7 0 5 *



先にしる~絶対に失敗できない仕事で成果を出す最強の仕事術~

山崎 裕二 著

日経BP社

事業やプロジェクトの失敗を事前にリアルにイメージするところから始めて、未来の失敗を防ぐプレモータム・シンキングを紹介。ビジネス現場でありがちなプロジェクトを例に、チーム全体への適用方法も解説する。

朝日新聞 2018/07/14

2018:5./ 182p

978-4-8222-5788-0

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 8 2 2 2 5 7 8 8 0 *



美空ひばり最後の真実

西川 昭幸 著

さくら舎

戦後の焼け跡に彗星のごとく現れ、不屈の魂で夢を?んだ昭和の天才歌姫・美空ひばり。彼女を支えたスタッフや関わった人たちについて、当時の証言や記録を交えながら綴る。初めて明かされる秘話が満載。

朝日新聞 2018/07/14

2018:4./ 414p

978-4-86581-146-9

本体 ¥1,800+税



近現代アイヌ文学史論～アイヌ民族による日本語文学の軌跡～<近代編>

須田 茂 著

寿郎社

明治維新以降、第二次世界大戦期までになされたアイヌ民族による文学・言論活動の歴史を述べる。文芸誌『コブタン』連載「近現代アイヌ文学史稿」の近代編に相当する論考と寄稿文「武隈徳三郎とその周辺」の一部をまとめる。

朝日新聞 2018/07/14

2018:4./ 524p

978-4-909281-02-9

本体 ¥2,900+税



MARCH<1> 非暴力の闘い

ジョン・ルイス、アンドリュー・アイディン、ネイト・パウエル、押野 素子 著

岩波書店

南部の農場で生まれ育った黒人の少年は、いかにして差別に対抗する非暴力の手法を学び、運動に身を投じたのか。アメリカの公民権運動の流れを、その当事者ジョン・ルイスの目線でふりかえったグラフィック・ノベル。

朝日新聞 2018/07/14、読売新聞 2018/07/15

2018:3./ 121p

978-4-00-1263-0

本体 ¥1,900+税



MARCH<2> ワシントン大行進

ジョン・ルイス、アンドリュー・アイディン、ネイト・パウエル、押野 素子 著

岩波書店

アメリカの公民権運動の流れを、その当事者ジョン・ルイスの目線でふりかえったグラフィック・ノベル。2 は、フリーダム・ライドからワシントン大行進までの日々を描く。

朝日新聞 2018/07/14、読売新聞 2018/07/15

2018:4./ 178p

978-4-00-061264-7

本体 ¥2,400+税



MARCH<3> セルマ勝利をわれらに

ジョン・ルイス、アンドリュー・アイディン、ネイト・パウエル、押野 素子 著

岩波書店

アメリカの公民権運動の流れを、その当事者ジョン・ルイスの目線でふりかえったグラフィック・ノベル。3 の最終巻は、1965 年に投票権法が成立するまでの苦闘を描く。

朝日新聞 2018/07/14、読売新聞 2018/07/15

2018:5./ 246p

978-4-00-061265-4

本体 ¥2,700+税



海賊の日本史(講談社現代新書 2483)

山内 譲 著

講談社

藤原純友、松浦党、倭寇、村上一族…。歴史上の著名な海賊勢力の実像や、彼らが果たした役割などについて解説。また、古代から中世に至る海賊の時代全体を振り返り、海賊像の変化や、海賊が日本の社会に残したものを考える。

朝日新聞 2018/07/14、日本経済新聞 2018/07/14

2018:6./ 241p

978-4-06-511961-7

本体 ¥840+税





翻訳ってなんだろう?～あの名作を訳してみる～(ちくまプリマー新書 301)

鴻巣 友季子 著
筑摩書房

「赤毛のアン」「不思議の国のアリス」「高慢と偏見」「風と共に去りぬ」…。誰もが知っている名作を紙上で訳しながら、まったく新しい「翻訳読書」を教える。訳しにくいもののワースト5なども紹介。

2018:6./ 205p
978-4-480-68323-6
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/07/14、日本経済新聞 2018/07/28



宝島～HERO's ISLAND～

真藤 順丈 著
講談社

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。彼らは警官になり、教師になり、テロリストになり、同じ夢に向かった。青春と革命の一大叙事詩。『小説現代』掲載を単行本化。

2018:6./ 541p
978-4-06-511863-4
本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2018/07/14、毎日新聞 2018/07/15、産経新聞 2018/07/22



聖と俗～分断と架橋の美術史～

宮下 規久朗 著
岩波書店

人は美術に何を仮託してきたのか。宗教改革がもたらした西洋美術の大断層と、その亀裂に浸透していった美術家達の水脈を追い、現在にまで至る美術そのもののプロフィールをつまびらかにする。様々な媒体に発表した論文を集成。

2018:5./ 9p,354p
978-4-00-061252-4
本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/07/21



消費低迷と日本経済(朝日新書 639)

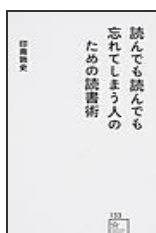
小野 善康 著
朝日新聞出版

現代の日本が抱える深刻な問題の根源は、人々が消費をしないことにある。株価や地価が高騰する一方で、なぜ私たちは豊かになれないのか。成熟社会が陥った罠を解き明かす。『朝日新聞』大阪版連載等に加筆・再構成。

2017:11./ 209p
978-4-02-273739-7
本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/07/21



読んでも読んでも忘れてしまう人のための読書術(星海社新書 133)

印南 敦史 著
星海社

本は 99%、忘れていい。大切なのは「1%のかげら」を残すこと! 人気書評家が「読んでも読んでも忘れてしまう。だから読書がなくなる」という人に向けて、肩肘張らない読書術を伝授する。

2018:5./ 190p
978-4-06-512005-7
本体 ¥960+税



朝日新聞 2018/07/21



メ太よ

原田 宗典 著
新潮社

まともなつもりで正気をなくした 20 世紀末の日本で人間のクズを自認するおれと、桁はずれに純粋な盲目の青年メ太は本物の友情で結ばれる。そしてメ太とおれはある邪悪な陰謀に挑むことに…。『新潮』掲載を書籍化。

2018:5./ 244p
978-4-10-381107-7
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/07/21



本居宣長集(新潮日本古典集成)

本居宣長、日野竜夫 著
新潮社
0

1983:7./ 570p
978-4-10-620360-2
本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/07/21



藝術経営のすゝめ～強い会社を作る藝術の力～

船橋 晴雄 著
中央公論新社

藝術が人々に呼び起こす感動は、生きる意欲、何事かを成し遂げる意志につながる。藝術とその作用を広義に捉えた上で、それらを企業経営にどのように活用し、応用し、埋め込んでいったらよいのか。その方法論を具体的に説く。

2018:6./ 204p
978-4-12-005086-2
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2018/07/21



素敵な石ころの見つけ方(中公新書ラクレ 626)

渡辺 一夫 著
中央公論新社

火山活動や自然環境などにより、長い年月をかけて地球のエネルギーを凝縮した唯一無二の造形、石ころ。ロマンに満ちた石ころとの出会いに情熱を注ぎ、世界を飛びまわる著者が、探し方や見分け方、楽しみ方をガイドする。

2018:6./193p 図版 16p
978-4-12-150626-9
本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/07/21



レイテ戦記<1>(中公文庫 お 2-13)

大岡 昇平 著
中央公論新社

太平洋戦争の天王山・レイテ島での死闘を、膨大な資料を駆使して再現した戦記文学の金字塔。1 は、昭和 19 年 4 月の第 16 師団レイテ島進出から、11 月の米軍カリガラ進出までを収録。講演「レイテ戦記」の意図も掲載。

2018:4./ 434p
978-4-12-206576-5
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/21



レイテ戦記<2>(中公文庫 お 2-14)

大岡 昇平 著
中央公論新社

昭和 19 年 11 月、レイテ島最大の激戦地となるリモン峠での死闘が始まった。苦戦する中、総理大臣小磯国昭の天王山発言により、レイテ戦続行は大本営方針となり…。インタビュー「レイテ戦記」を語るも収録。

2018:5./ 464p
978-4-12-206580-2
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/21



レイテ戦記<3>(中公文庫 お 2-15)

大岡 昇平 著
中央公論新社

米軍のオルモック逆上陸に壊滅状態に陥りながら、自活自戦を続ける日本軍。昭和 19 年 12 月 26 日、マッカーサー大將がレイテ戦終結を宣言するも、司令官山下奉文大將の訓示が届き…。大西巨人との対談も収録。

2018:6./ 427p
978-4-12-206595-6
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/21



レイテ戦記<4>(中公文庫 お 2-16)

大岡 昇平 著
中央公論新社

8 万の兵力を投じながら、生還者は僅かに 2500 人。太平洋戦争最悪の戦場を鎮魂の祈りを込めて描きつくす。『中央公論』連載後記、エッセイ「レイテ戦記」を直す」も収録。完結。

2018:7./ 407p
978-4-12-206610-6
本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/21



リーマン・ショック・コンフィデンシャル<上> 追いつめられた金融エリートたち(ハヤカワ文庫 NF 401)

アンドリュー・ロス・ソーキン、加賀山 卓朗 著
早川書房

リーマン破綻は防げたのではないかと、遂に明かされるスキャンダラスな内幕。ニューヨーク・タイムズの記者が、リーマン・ショックのセンセーショナルな裏側に、当事者たちのインタビューを通して鋭く切り込む。

2014:2./ 476p
978-4-15-050401-4
本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/07/21



リーマン・ショック・コンフィデンシャル<下> 倒れゆくウォール街の巨人(ハヤカワ文庫 NF 402)

アンドリュー・ロス・ソーキン、加賀山 卓朗 著
早川書房

迫り来る大恐慌の危機。エリート CEO たちはいかに考え、行動したか? ニューヨーク・タイムズの記者が、リーマン・ショックのセンセーショナルな裏側に、当事者たちのインタビューを通して鋭く切り込む。

2014:2./ 462p
978-4-15-050402-1
本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/07/21



好き嫌い〜行動科学最大の謎〜

トム・ヴァンダービルト、桃井 緑美子 著
早川書房

IoT/ビッグデータの時代、人の選好を操る手法が開発されている。心理学や生物学、行動経済学の最新研究や、ネットフリックスなどへの潜入から、人間の「好き嫌い」を左右する原則を解剖し、その面白さを説く。

2018:6./ 418p
978-4-15-209774-3
本体 ¥2,100+税



朝日新聞 2018/07/21



飛ぶ孔雀

山尾 悠子 著
文藝春秋

石切り場の事故以来、火が燃えにくくなった世界。庭園の大茶会で火を運ぶ娘たちを孔雀が襲い、大蛇うごめく地下世界を男は遍歴する…。不世出の幻想作家による連作長編小説。『文藝界』掲載に、書き下ろしを加える。

2018:5./ 243p
978-4-16-390836-6
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/07/21



はい、チーズ(河出文庫 ウ 10-1)

K.ヴォネガット、大森 望 著

河出書房新社

バーで出会った殺人アドバイザー、夫の新発明を試した妻、ペーパーナイフから現れた宇宙人…。雑誌の黄金時代に執筆された最良のエンタテインメント全 14 編を収録した、魅惑の新発見作品集。

2018:5./ 375p

978-4-309-46472-5

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/07/21



24歳の僕が、オバマ大統領のスピーチライターに?!

デビッド・リット、山田 美明 著

光文社

歴史に残る名演説の舞台裏とは? 「大統領の笑いのミューズ」と呼ばれ、2009 年からオバマ大統領のスピーチのジョークを担当するようになった著者が、大統領の素顔とホワイトハウスの内幕を描く。

2018:5./ 471p

978-4-334-96218-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/07/21



人間にとって病いとは何か(幻冬舎新書 そ-2-4)

曾野 綾子 著

幻冬舎

人間は病いを抱えることで自分の限界を知って謙虚になり、命をかけて成熟に向かうことができる。「前進するには失敗が必要」「年を取れば不調になって当然」等、病気に振り回されず、満ち足りた一生を送るためのヒントを綴る。

2018:5./ 211p

978-4-344-98501-8

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/07/21



世界経済大いなる収斂～IT がもたらす新次元のグローバリゼーション～

リチャード・ボールドウィン、遠藤 真美 著

日本経済新聞出版社

情報通信技術の進歩がもたらした知識の分布の歴史的な変化。モノ、アイデア、ヒトの移動コスト「距離」に着眼し、世界経済をめぐる通念を打ち破り、知識のフローが主導する経済の変容と、その影響をダイナミックに解き明かす。

2018:2./ 397p

978-4-532-35763-4

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/07/21



家族の秘密(文庫クセジュ 1020)

セルジュ・ティスロン 著

白水社

克服されないトラウマが、子どもにどう影響するのか。世代をこえて波及する、家族神話に隠された<秘密>のしくみと、その対処とは。著者が取り組んできた、こころと社会をめぐるテーマを盛り込んだ一冊。

2018:6./ 175p,5p

978-4-560-51020-9

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/21



娘の彼氏は人でなし(ZERO-SUM コミックス)

山口 ツトム 著

一迅社

厳しくも頼もしい父。優しく穏やかな母。二人の娘がついに連れてきた『彼氏』は— 人でなし!!!!!!って本当に人じゃない!? 愛する娘・夢子を"化物"から守るため、父・無敵が大奮闘!?

2018:6./ 175p

978-4-7580-3361-9

本体 ¥680+税



朝日新聞 2018/07/21



ゴッホはなぜ星月夜のうねる糸杉をえがいたのか

マイケル・バード、ケイト・エヴァンズ、岡本 由香子 著

エクスナレッジ

原始の洞窟画から現代アートまで、4 万年にわたるアートの歴史をショートストーリーで読み解く美術入門書。臨場感あふれる語り口によって、生き生きと作品をつくる様子が想像できる。

朝日新聞 2018/07/21

2018:6./ 336p

978-4-7678-2448-2

本体 ¥3,200+税



教育現場の防災読本

「防災読本」出版委員会、中井 仁 著

京都大学学術出版会

普遍性と継続性をもった防災教育を実現するために、<災害のメカニズム><国・行政の役割><防災技術・工学><地域防災>の全般にわたって体系的に解説。子どもを守り、災害を乗り越えるための防災知識が身に付く。

朝日新聞 2018/07/21

2018:6./ 32p,586p

978-4-8140-0165-1

本体 ¥3,800+税



星の王子さま百科図鑑

クリストフ・キリアン、三野 博司 著

柊風舎

世界的ベストセラー「星の王子さま」のすべてがわかる図鑑。サン=テグジュペリの生涯から、物語誕生の背景、映画・アニメなどの諸分野への波及、テーマパークや関連グッズまで、その全貌を豊富な図版とともに紹介する。

朝日新聞 2018/07/21

2018:7./ 211p

978-4-86498-058-6

本体 ¥9,000+税



1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養 365

デイヴィッド・S.キダー、ノア・D.オッペンハイム、小林 朋則 著

文響社

歴史、文学、芸術、科学、音楽、哲学、宗教。1週間で7分野。毎日1ページずつ知性を鍛え、頭脳を刺激し、教養を高めるための読み物を1年分収録する。

朝日新聞 2018/07/21

2018:4./ 383p

978-4-86651-055-2

本体 ¥2,380+税



Akihisa HIRATA Discovering New〜平田晃久建築作品集〜

平田 晃久 著

TOTO出版

らせん状の形態によって連続した積層空間を実現した住宅、神奈川県東戸塚に建つプロテスタントの教会、東京・代官山の商業テナントビル…。建築家・平田晃久の作品を豊富なビジュアルで紹介。多数のテキストも収録する。

朝日新聞 2018/07/21

2018:5./ 279p

978-4-88706-373-0

本体 ¥4,300+税



脱北者たち〜北朝鮮から亡命、ビジネスで大成功、奇跡の物語〜

申 美花 著

駒草出版

命がけで北朝鮮から脱北し、差別やさまざまな困難を克服してビジネスで成功した人々の実像に迫る奇跡の物語。グローバル化の時代を生きる新たなアイデンティティの可能性を提示する。

朝日新聞 2018/07/21

2018:5./ 276p

978-4-905447-92-4

本体 ¥1,600+税





国家は破綻する～金融危機の 800 年～

カーメン・M.ラインハート、ケネス・S.ロゴフ 著

日経BP社

債務が膨れ上がった国は、悲劇に向かっている!バブルとその崩壊、銀行危機、通貨危機、インフレ危機を経由して、対外債務・対内債務のデフォルトを引き起こす金融 800 年の世界史を描く。

2011:3./ 16p,588p

978-4-8222-4842-0

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2018/07/21、日本経済新聞 2018/07/21



奥のほそ道

リチャード・フラナガン、渡辺 佐智江 著

白水社

1943 年、<死の鉄路>建設で地獄のような日々を闘っていた、捕虜の軍医ドリゴ。そこへ一通の手紙が届き、すべてが変わってしまう…。第二次世界大戦中の父親の過酷な捕虜経験を題材に描いたリチャード・フラナガンの長篇。

2018:5./ 453p

978-4-560-09629-1

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2018/07/21、日本経済新聞 2018/07/28



五日市憲法(岩波新書 新赤版 1716)

新井 勝紘 著

岩波書店

開かずの蔵と呼ばれる旧家の土蔵で見つかった、五日市憲法草案。起草者の千葉卓三郎とは何者なのか? なぜこの地域で、このような憲法草案が誕生したのか? 自由民権運動の歴史の水脈をさぐる。

2018:4./ 6p,214p

978-4-00-431716-6

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/07/28



長崎・天草 潜伏キリシタン祈りの里～池田勉写真集～

池田 勉 著

朝日新聞出版

かつて長崎で、キリシタン弾圧という不幸な歴史があった。原城跡、平戸の聖地と集落、天草の崎津集落、大浦天主堂など、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」12 の構成資産を収載した写真集。

2018:7./ 215p

978-4-02-258702-2

本体 ¥4,300+税



朝日新聞 2018/07/28



横浜駅 SF 全国版(カドカワ BOOKS M-い-2-1-2)

柞刈 湯葉、田中 達之 著

KADOKAWA

「横浜駅が急速に膨張している」と報告を受けたエキナカ在住医師・青目先生は、駅下層にある火山の噴火兆候ではないかと推測し、山頂に向かう。そこで廃棄された少女を見つけ…。『カクヨム』掲載を書籍化。

2017:8./ 262p

978-4-04-072365-5

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/07/28



重アルケミック(星海社 FICTIONS イ 6-01)

柞刈 湯葉、焦茶 著

星海社

重力を司る“重素”の採掘によって膨張に歯止めがかからなくなった地球。東京-大阪間がついに 5000 キロを突破した 2013 年。大学生の航は、重素を用いない航空機の理論書と出会い…。青春 SF の新たな金字塔。

2017:2./ 281p

978-4-06-139959-4

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/07/28



父の遺産(集英社文庫)

フィリップ・ロス 著
集英社
0

朝日新聞 2018/07/28

2009:9./ 310p
978-4-08-760589-1
本体 ¥714+税



チンギス紀<1> 火眼

北方 謙三 著
集英社

モンゴル族キヤト氏の長の子として生まれたテムジン(のちのチンギス・カン)は父を討たれ、南の地に向かうのだが…。ユーラシア大陸に広がる大帝国の礎を築いた英雄チンギス・カンの物語。『小説すばる』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2018/07/28

2018:5./ 341p
978-4-08-771132-5
本体 ¥1,600+税



チンギス紀<2> 鳴動

北方 謙三 著
集英社

父祖の地に戻ったテムジンは旗を掲げ草原を疾駆し、命を狙うタイチウト氏と対峙する。父の死で弱体化したキヤト氏の威を示し、モンゴル族をひとつにするために…。『小説すばる』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2018/07/28

2018:5./ 341p
978-4-08-771143-1
本体 ¥1,600+税



ナチスに挑戦した少年たち

フィリップ・フーズ、金原 瑞人 著
小学館

ドイツに取り入って金儲けしようとする大人に対する怒り、破壊活動をするときのスリルと恐怖、好きな女の子への思い、逮捕後に考えたこと…。第二次世界大戦、ナチス占領下のデンマークでレジスタンス活動をした少年らの物語。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 303p
978-4-09-290613-6
本体 ¥1,500+税



母が作ってくれたすごろく〜ジャワ島日本軍抑留所での子ども時代〜

アネ=ルト・ウェルトハイム、長山 さき 著
徳間書店

8歳からの2年あまりを、日本軍のインドネシアの抑留所で過ごしたオランダ人女性が、当時、母が手作りしてくれた「すごろく」に寄せて回想する。「戦争をくり返してはならない」という著者の願いを写真とともに伝える本。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 55p
978-4-19-864644-8
本体 ¥1,600+税



ブルーハワイ

青山 七恵 著
河出書房新社

いま、わたしは、わっと泣きだしたくらいの敗北感を覚える。あなたの心にそっと染み込む、至極の短篇集。表題作ほか「辰年」「聖ミクラーシュの日」など、全6篇を収録する。『文藝』等掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/07/28

2018:7./ 233p
978-4-309-02705-0
本体 ¥1,550+税





はなびのひ

たしろ ちさと 著

佼成出版社

今日は、花火大会の日。早く夜にならないかと、退屈していたぽんきちは、花火職人のおとうちゃんに夜食を届けに出かけました。すると、それを見た町のみんなが…。人気絵本作家・たしろちさと、初めての和風絵本。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 32p

978-4-333-02779-8

本体 ¥1,300+税



フラダン(Sunnyside Books)

古内 一絵 著

小峰書店

女子率 100%のフラダンス愛好会“アーヌエヌエ・オハナ”に集められた 4 人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった! 震災から 5 年後の福島を舞台に描くとびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。

朝日新聞 2018/07/28

2016:9./ 288p

978-4-338-28710-4

本体 ¥1,500+税



天ぷらにソースをかけますか?~ニッポン食文化の境界線~ 決定版(ちくま文庫の14-2)

野瀬 泰申 著

筑摩書房

地域によって大きく異なる食の「常識」。和歌山、沖縄、高知、福井では 7 割以上の人が天ぷらにソースをかけ、新潟、北海道では 2 割以上の人が納豆に砂糖を入れる。47 都道府県の食文化の違いを徹底調査する。

朝日新聞 2018/07/28

2018:7./ 460p

978-4-480-43528-6

本体 ¥880+税



日本の星名事典

北尾 浩一 著

原書房

同じ星でも地域によって様々な呼び名があり、島が異なれば、星名もしばしば変化する。日本各地に伝わる星の名前約 900 種を収録し、写真や図を交えて解説する。『天界』連載「天文民俗学試論」に加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/07/28

2018:5./ 463p

978-4-562-05569-2

本体 ¥3,800+税



未来職安

柞刈 湯葉 著

双葉社

いろんなことがオートの近未来、国民には生活基本金が支給されている。労働の必要はないけれど、職安の需要はまだまだ健在で…。常識をくつがえす近未来お仕事小説。双葉社 Web マガジン『カラフル』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/07/28

2018:7./ 268p

978-4-575-24106-8

本体 ¥1,400+税



文学という出来事

テリー・イーグルトン、大橋 洋一 著

平凡社

文学とは、文学の意義・役割とは何か。文学のありように真正面から向き合い、種々雑多な文学作品を通して、著述を文学作品にする要素あるいは本質について明らかにする。

朝日新聞 2018/07/28

2018:4./ 359p

978-4-582-74431-6

本体 ¥3,600+税





水族館の文化史～ひと・動物・モノがおりなす魔術的世界～

溝井 裕一 著

勉誠出版

古代の養魚池文化から、黎明期の水族館のユニークな展示、第二次世界大戦中の苦難、展示のストーリー化、さらにはヴァーチャル・リアリティ技術とのハイブリッド化まで、古今東西の水族館文化を図版とともに概観する。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 5p,359p

978-4-585-22210-1

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 5 8 5 2 2 2 1 0 1 *



ノー・ディレクション・ホーム～ボブ・ディランの日々と音楽～

ロバート・シェルトン、パトリック・ハンフリーズ 編

ロバート・シェルトン、樋口 武志、田元 明日菜、川野 太郎 著

ポプラ社

ボブ・ディランが積極的に協力した決定的自伝。20 年に及ぶインタビューのほか、他のジャーナリストがインタビューを許されなかった両親、家族らへの取材を元に、気分屋で情熱的な天才とその世界を解き明かす。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 839p,52p

978-4-591-15839-5

本体 ¥7,800+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 8 3 9 5 *



夏空白花

須賀 しのぶ 著

ポプラ社

ボールもない、球場もない。それでも、もう一度甲子園で野球がしたい。敗戦で全てを失った日本人が、GHQ に挑んだもう一つの“戦争”、「高校野球の再建」を賭けた戦いを描く。『asta*』連載を大幅改稿して単行本化。

朝日新聞 2018/07/28

2018:7./ 405p

978-4-591-15952-1

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 5 9 1 1 5 9 5 2 1 *



歴史の転換期<1> B.C.220 年 帝国と世界史の誕生

木村 靖二、岸本 美緒、小松 久男、南川 高志 編

木村 靖二、岸本 美緒、小松 久男 著

山川出版社

世界の歴史の転換期となった年代を取り上げ、人々の思考や行動のあり方を同時代的視野から比較検討する。1 は、古代ローマや秦・漢によって支配する側とされる側の秩序が形成された紀元前 220 年を叙述する。

朝日新聞 2018/07/28

2018:4./ 263p,7p

978-4-634-44501-7

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 6 3 4 4 4 5 0 1 7 *



歴史は実験できるのか～自然実験が解き明かす人類史～

ジャレド・ダイヤモンド、ジェイムズ・A.ロビンソン、小坂 恵理 著

慶應義塾大学出版会

ポリネシアの文化進化、アメリカ・メキシコ・ブラジルの銀行制度、フランス革命の影響…。幅広い分野の専門家たちが、それぞれのテーマについて比較史、自然実験で分析した 8 つの研究を収録する。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 272p,41p

978-4-7664-2519-2

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 5 1 9 2 *



お釈迦さま以外はみんなバカ(インターナショナル新書 025)

高橋 源一郎 著

集英社インターナショナル

キラキラネーム考、大阪おばちゃん語の憲法…。稀代の読書家だからこそ見つけられた、思わず唸る表現やクスッと笑えることばの数々。その秘められた意味まで深掘りする。UC カード会員誌『てんとう虫』連載を書籍化。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 220p

978-4-7976-8025-6

本体 ¥740+税



イノベーションのジレンマ～技術革新が巨大企業を滅ぼすとき～ 増補改訂版 (Harvard business school press)

クレイトン・クリステンセン、玉田 俊平太、伊豆原 弓 著

翔泳社

業界を支配する巨大企業が、その優れた企業戦略ゆえに滅んでいくジレンマの図式を分析し、既存事業を衰退させる可能性を持つ破壊的イノベーションに対して、経営者はどう対処すべきかを解説する。2000 年刊の増補改訂版。

朝日新聞 2018/07/28

2001:7./ 327p

978-4-7981-0023-4

本体 ¥2,000+税



ドエクル探検隊

草山 万兎、松本 大洋 著

福音館書店

1935 年。風おじさんの家に招かれた竜二とさゆりは、アンデス山脈からの危急の知らせに、すぐさま探検隊を結成し、南米ペルーへと向かう。それは、数々の「謎」を追う大冒険の始まりだった。

朝日新聞 2018/07/28

2018:6./ 732p

978-4-8340-8405-4

本体 ¥3,500+税



日中戦争全史<上> 対華 21 カ条要求(1915 年)から南京占領(1937 年)まで

笠原 十九司 著

高文研

日本の戦争指導者たちが踏み越えていった、数々の「戦争回避不能な段階」とは何か。日本人の欠落した歴史認識を埋める、日中戦争とアジア太平洋戦争の全体像を描く。上は、対華 21 カ条要求から南京占領までを収録。

朝日新聞 2018/07/28

2017:7./ 326p

978-4-87498-624-0

本体 ¥2,300+税



日中戦争全史<下> 日中全面戦争からアジア太平洋戦争敗戦まで

笠原 十九司 著

高文研

100 万の日本軍が送り込まれた中国戦場で何が行われたのか。日本人の欠落した歴史認識を埋める、日中戦争とアジア太平洋戦争の全体像を描く。下は、日中全面戦争からアジア太平洋戦争敗戦までを収録。

朝日新聞 2018/07/28

2017:7./ 373p

978-4-87498-625-7

本体 ¥2,300+税



宇喜多の楽土

木下 昌輝 著

文藝春秋

心優しきリーダーの選択とは…。秀吉の寵愛を受けた俊才・宇喜多秀家。父・直家の跡を継ぎ、関ヶ原に出陣し、戦い、負け、八丈島で長い生涯を閉じるまでを描く長編小説。『別冊文藝春秋』連載を大幅に改稿し単行本化。

東京・中日新聞 2018/07/01

2018:4./ 349p

978-4-16-390652-2

本体 ¥1,700+税





最終獄中通信

大道寺 将司、大道寺 ちはる 編
大道寺 将司 著

河出書房新社

世界に一人で向き合う。死刑確定から 30 年、2017 年 5 月に獄死した連続企業爆破事件の被告・大道寺将司の書簡を集成。最晩年の胸中を結晶させた、季刊『六曜』掲載の俳句 60 句も収録する。

2018:3./ 316p

978-4-309-02659-6

本体 ¥1,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 5 9 6 *

東京・中日新聞 2018/07/01



みんな忘れた～記憶のなかの人～

野見山 暁治 著

平凡社

ぼっかりと自分ひとり波の中だ。2018 年に 98 歳となる日本を代表する洋画家が、1 世紀近い人生で出会った人たちとの濃淡さまざまな触れ合いを稀有な文才で綴ったエッセイ。『こころ』連載を単行本化。

2018:5./ 141p

978-4-582-83776-6

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 3 7 7 6 6 *

東京・中日新聞 2018/07/01、毎日新聞 2018/07/29



PTA 不要論(新潮新書 765)

黒川 祥子 著

新潮社

役員が決まるまで帰れない恐怖の保護者会、パート賃金以下のベルマーク活動、学校から検閲される広報誌作成…。PTA とは何なのか。一体、何のためにあるのか。謎の日本最大規模組織・PTA の存在を根本的に問い直す。

2018:5./ 199p

978-4-10-610765-8

本体 ¥740+税



* 9 7 8 4 1 0 6 1 0 7 6 5 8 *

東京・中日新聞 2018/07/08



男娼

中塩 智恵子 著

光文社

出張ホスト、ウリセンボーイ、ニューハーフヘルス。セクシュアリティを始め、様々な事情を抱えた 10 人のライフストーリーから見えるものとは？ その昔「闇の男」と呼ばれた男娼たちの、「生」と「性」を描き出す。

2018:6./ 371p

978-4-334-95035-4

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 3 3 4 9 5 0 3 5 4 *

東京・中日新聞 2018/07/08



明治維新とは何だったのか～世界史から考える～

半藤 一利、出口 治明 著

祥伝社

ペリーの黒船はなぜ日本へ来たのか？「御一新」は革命か内乱か？吉田松陰は誰に利用された？幕末の激変期を支えた、合理的思考のリーダーとは？知の巨人 2 人が、薩長史観に隠された「幕末・維新」を語る。

2018:4./ 247p

978-4-396-61648-9

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 3 9 6 6 1 6 4 8 9 *

東京・中日新聞 2018/07/08



式子内親王～たえだえかかる雪の玉水～(ミネルヴァ日本評伝選)

奥野 陽子 著

ミネルヴァ書房

賀茂斎院をつとめ、藤原俊成を師とし、「新古今和歌集」第一の女流歌人となった後白河院皇女、式子内親王。定家との出会いを通じて深めた虚構の歌の世界に底流する、人生とこの世に対する思索の到達点を探る。

2018:6./ 19p, 378p, 16p

978-4-623-08360-2

本体 ¥3,500+税



* 9 7 8 4 6 2 3 0 8 3 6 0 2 *

東京・中日新聞 2018/07/08



ソウルフード探訪～東京で見つけた異国の味～

中川 明紀 著

平凡社

食欲と好奇心が刺激される世界の食が一堂に集結。笑いあり、涙ありの食レポエッセイ。各国のソウルフードが食べられるお店情報も掲載。『ナショナルジオグラフィック日本版』連載を加筆し書籍化。

2018:5./ 285p

978-4-582-83749-0

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2018/07/08、朝日新聞 2018/07/28



炎の来歴

小手鞠 るい 著

新潮社

美しい年上の人に、僕は恋をした。彼女は消えない炎のような人だった。人生を変えた一通の手紙。戦後の日本とベトナムを舞台に、人間の愚かさと尊さを描いた、激しくも美しい物語。

2018:5./ 239p

978-4-10-437106-8

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/07/15



温泉の日本史～記紀の古湯、武将の隠し湯、温泉番付～(中公新書 2494)

石川 理夫 著

中央公論新社

日本人と温泉の関わりは古い。日本書紀に出てくる温泉、歴史の表舞台に現れた温泉、「隠し湯」として知られる戦国大名の領国内の温泉地、江戸時代に盛んになった湯治旅…。多彩なエピソードで、日本の温泉の歴史をつづる。

2018:6./ 6p,248p

978-4-12-102494-7

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/07/15



村山新治、上野発五時三五分～私が関わった映画、その時代～

村山 新治、村山 正実 編

村山 新治 著

新宿書房

1957年に「警視庁物語 上野発五時三五分」で劇映画監督としてデビューした著者が、関わった映画とその時代について綴る。自作を語ったインタビュー、深作欣二、澤井信一郎、荒井晴彦との解説座談会も収録。

2018:5./ 415p

978-4-88008-474-9

本体 ¥3,700+税



東京・中日新聞 2018/07/15



よみがえる戦時体制～治安体制の歴史と現在～(集英社新書 0935)

荻野 富士夫 著

集英社

国家の暴力装置たる警備公安警察等の権力の恣意的な運用を抑止、是正するために必要なのは何か。戦前の治安維持法、特高警察など治安体制の専門家が、戦時体制の歴史をふまえて現状を分析する。

2018:6./ 270p

978-4-08-721035-4

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/07/22



シーア派とスンニ派～中東大混迷を解く～(新潮選書)

池内 恵 著

新潮社

シーア派とスンニ派の違いの淵源をはじめ、シーア派が台頭し、それに対する警戒感が高まる経緯をたどりつつ、宗派对立の実相を探る。「サイクス=ピコ協定百年の呪縛」に続く<池内・中東ブックレット>第2弾。

2018:5./ 143p

978-4-10-603825-9

本体 ¥1,000+税



東京・中日新聞 2018/07/22



スマイリング!〜岩熊自転車 関口俊太〜(中公文庫 と34-1)

土橋 章宏 著

中央公論新社

函館市内の中学校に通う関口俊太は、ロードバイクにあこがれているが、お金も愛情にも恵まれないため、一人、ママチャリでトレーニングする毎日。だが、岩熊自転車という町の自転車屋の店長との出会いが俊太を変えることに。

2018:4./ 261p

978-4-12-206569-7

本体 ¥660+税



東京・中日新聞 2018/07/22



都心集中の真実〜東京 23 区町丁別人口から見える問題〜(ちくま新書 1338)

三浦 展 著

筑摩書房

東京 23 区の人口が増え続けている。だが下町の伸びは鈍く、23 区内でも人口格差が生じている。では実際のところ、どこで、誰が増えているのだろうか? 町丁別人口分析から、都心集中の現実と問題に迫る。

2018:6./ 190p

978-4-480-07150-7

本体 ¥740+税



東京・中日新聞 2018/07/22



夏がきた

羽尻 利門 著

あすなろ書房

風もお日さまも、きのうと違う。待ちに待ったぼくらの季節がやってきた! 浜はもうすぐ海開き。海の家準備も忙しくて…。里山と海に恵まれた四国在住のイラストレーター・羽尻利門が、日本の夏の風物を生き生きと描く。

2017:6./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7515-2830-3

本体 ¥1,300+税



東京・中日新聞 2018/07/22



フジコ・ヘミング 14 歳の夏休み絵日記

フジコ・ヘミング 著

暮しの手帖社

永遠の少女のすべてがここに! 魂のピアニスト、フジコ・ヘミングが 1946 年、14 歳の夏休みに綴った絵日記を収録。インタビューも掲載し、その音の原点に迫る。巻頭に折込み、巻末にフジコの書込みのある楽譜つき。

2018:6./ 136p

978-4-7660-0208-9

本体 ¥2,315+税



東京・中日新聞 2018/07/22



手塚マンガで憲法九条を読む

手塚 治虫、小森 陽一 著

子どもの未来社

手塚マンガの中からベトナム戦争以降に描かれた、憲法九条に関わる作品を厳選。「紙の砦」「アトム今昔物語 ベトナムの天使」など、<生命の尊さ>が貫かれた珠玉の 7 篇を収録する。全国「九条の会」小森陽一による解説つき。

2018:6./ 246p

978-4-86412-135-4

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/07/22



敗れても 敗れても〜東大野球部「百年」の奮戦〜

門田 隆将 著

中央公論新社

日本野球のルーツというべき伝統を誇る東大野球部は、なぜ負け続けるのに挑戦をやめないのか。戦火の中、沖縄に消えた英雄や、「赤門旋風」の主役たち、150 キロ左腕宮台康平らへの取材を通じて、謎を秘めた集団を解剖する。

2018:5./ 307p

978-4-12-005089-3

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2018/07/29



澁澤龍彦の記憶

菅野 昭正 編

巖谷 國士、養老 孟司、池内 紀、中沢 けい、酒井 忠康 著

河出書房新社

多面体である澁澤龍彦の業績の本質的な魅力のありかを、多様多彩な視角から照らします。澁澤龍彦の生きた姿、世代としての姿勢、思考の源泉がわかる一冊。澁澤龍彦の没後 30 年を記念した連続講座を単行本化。

東京・中日新聞 2018/07/29

2018:4./ 241p

978-4-309-02657-2

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 5 7 2 *



お前らの墓につばを吐いてやる(河出文庫 ウ9-1)

ボリス・ヴィアン、鈴木 創士 著

河出書房新社

黒人であるがために殺された弟の復讐を誓った白い肌の黒人である「俺」は、田舎町の白人社会に溶け込んでその機会を狙い、ついに白人娘 2 人を「叩きのめそう」としたが…。差別への憤怒を結晶させたノワールの傑作。

東京・中日新聞 2018/07/29

2018:5./ 261p

978-4-309-46471-8

本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 7 1 8 *



持続可能な医療～超高齢化時代の科学・公共性・死生観～(ちくま新書 1333-1)

広井 良典 著

筑摩書房

高齢化の急速な進展の中で、日本の医療費はすでに年間四十数兆円を超え、さらに着実に増加している。「破綻」は回避できるのか？ 持続可能な医療そして社会を構想するための思想と道筋を、明快かつトータルに示す。

東京・中日新聞 2018/07/29

2018:6./ 251p

978-4-480-07147-7

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 4 7 7 *



ファシスト的公共性～総力戦体制のメディア学～

佐藤 卓己 著

岩波書店

市民的公共性とは異なる国民の一体感とは何か。メディア史の視座から日独の戦中=戦後期の比較をとおして、「ポスト真実」時代の現代的課題をも照射する。

読売新聞 2018/07/01

2018:4./ 8p,319p,17p

978-4-00-061260-9

本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 2 6 0 9 *



カミングアウト(朝日新書 666)

砂川 秀樹 著

朝日新聞出版

性的少数者であることを打ち明ける時、どのような困難と葛藤があるのか。躊躇いながら「告白」を決断する当事者と、それを受け止めようとする家族。両者の関係はどのように作りなおされるのか。実際の事例から探る。

読売新聞 2018/07/01

2018:4./ 222p

978-4-02-273766-3

本体 ¥760+税



* 9 7 8 4 0 2 2 7 3 7 6 6 3 *



人間にとって寿命とはなにか(角川新書 K-66)

本川 達雄 著

KADOKAWA

永遠に生きる方法とは？ ヒトは生物学的見地から見れば 41.5 歳が寿命であり、現代人は膨大なエネルギーにより生かされている「人工生命体」だ。自らも老齢となった生物学者が、人間にとっての寿命について考える。

読売新聞 2018/07/01

2016:1./ 264p

978-4-04-082050-7

本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 0 4 0 8 2 0 5 0 7 *



教師師(講談社文庫 ほ 41-5)

堀川 恵子 著

講談社

戦後、半世紀にわたり死刑囚と向き合い、悟りを説いてきた、ある僧侶。死刑執行にも立ちあう過酷な任務に身を削りながら、誰にも語れなかった懊悩。人は人を救えるのか…。僧侶の遺した言葉を積み重ね、事実を浮き彫りにする。

2018:4./ 358p

978-4-06-293867-9

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/07/01



終わった人(講談社文庫 う 26-19)

内館 牧子 著

講談社

大手銀行の出世コースから子会社に出向、転籍させられ、そのまま定年を迎えた田代壮介。仕事一筋だった彼は途方に暮れた。生き甲斐を求め、居場所を探して、惑い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか？

2018:3./ 540p

978-4-06-293876-1

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/07/01



介護民俗学という希望〜「すまいるほーむ」の物語〜(新潮文庫 む-19-1)

六車 由実 著

新潮社

民俗学の「聞き書き」の方法が介護現場を劇的に変えた！ デイサービス施設で利用者への聞き書きを行っている著者が、人が人として尊重される介護のありかたを切り拓く。深い気づきと新鮮な感動に満ちた一冊。

2018:6./ 393p

978-4-10-121446-7

本体 ¥630+税



読売新聞 2018/07/01



憂鬱な10か月(CREST BOOKS)

イアン・マキューアン 著

新潮社

誕生の日を待ちながら、母親のお腹のなかにいる「わたし」。胎盤を通して味わうワイン、ラジオで学ぶ国際情勢、そして父ではない男が囁く愛の言葉と、ある不穏な計画…。サスペンスと洞察が冴える長篇小説。

2018:5./ 221p

978-4-10-590147-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/01



生きて死ぬ力

石上 智康 著

中央公論新社

生きている今も、死ぬ時も、腹はすわっていない。「それでいい」のです。浄土真宗本願寺派総長、全日本仏教会理事長として超多忙な 81 歳の著者が、「生き方」と「死に方」を伝える。

2018:5./ 202p

978-4-12-005077-0

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/07/01



アンデス古代の探求〜日本人研究者が行く最前線〜

希有の会 編

大貫 良夫、清岡 央 著

中央公論新社

東大調査団が初めてペルーに旅立ってから 60 年。古代アンデス文明の形成過程解明への情熱、現地の人々との協力関係は、輝かしい成果をもたらしてきた。最前線に立つ研究者らが、発掘調査の現場での経験と研究成果を語る。

2018:5./ 193p

978-4-12-005082-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/01



ギリシャ・ラテン文学～韻文の系譜をたどる 15 章～

逸身 喜一郎 著
研究社

ヨーロッパの文化芸術の起源「ギリシャ・ラテン文学」の入門書。「イーリアス」「変身物語」「オイディプース王」など、各ジャンルの代表作を紹介する。最新のパピルス発見の成果も取り上げる。詩人辞典、韻律図解なども収録。

2018:5./ 16p,438p
978-4-327-51001-5
本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/07/01



仏像ぐるりのひとびと(光文社文庫 ま 22-2)

麻宮 ゆり子 著
光文社

浪人時代に事故に遭い、リハビリ生活を余儀なくされた雪嶋直久。家族関係に鬱屈していた彼は、東京を離れ、京都の大学へ入学。仏像修復師・門真のもとでアルバイトを始めるが…。不器用なふたりが過ごした、静かに滾る 9 ヶ月。

2018:6./ 339p
978-4-334-77662-6
本体 ¥740+税



読売新聞 2018/07/01



十五の夏～1975～<上>

佐藤 優 著
幻冬舎

高 1 の夏休み、僕はたった 1 人でソ連・東欧を旅行した。チューリヒ、シャフハウゼン、シュツットガルト…。佐藤優のソ連・東欧 1 人旅 42 日間の全記録。『星星峡』ポントーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

2018:3./ 433p
978-4-344-03270-5
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/01



十五の夏～1975～<下>

佐藤 優 著
幻冬舎

高 1 の夏休み、僕はたった 1 人でソ連・東欧を旅行した。モスクワ、サマルカンド、タシケント、ハバロフスク…。佐藤優のソ連・東欧 1 人旅 42 日間の全記録。『星星峡』ポントーン』掲載を加筆修正。見返しに写真あり。

2018:3./ 435p
978-4-344-03271-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/01



たまちゃんの夫弁当～毎日食べるお弁当には普通のおかずがいちばんおいしい～

たくま たま 著
主婦と生活社

「普通のおかずがいちばんおいしい」という夫のためにお弁当を作っている著者による、凝った料理ではなく、いたって普通で、でもおいしいお弁当のおかず 117 品を紹介します。お弁当作りの小さな工夫も伝授。

2014:4./ 111p
978-4-391-14512-0
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/07/01



99%の人が速くなる走り方(ちくまプリマー新書 298)

平岩 時雄 著
筑摩書房

走ることは全てのスポーツの基本。でも、走るには技術が必要です。国際舞台で活躍するアスリートを指導するプロのトレーニングコーチが、99%の人が速くなる、正しい走り方を解説。

2018:5./ 221p
978-4-480-68321-2
本体 ¥840+税



読売新聞 2018/07/01



「情の力」で勝つ日本(PHP 新書 1140)

日下 公人 著

PHP研究所

以心伝心、直観力、仲間意識、ひらめき…。日本人の強みの核心は「情の力」にある! 合理性・論理力などを重んじる欧米流の思考で、どんどん弱体化している現代日本に警鐘を鳴らし、取り戻すべき「情」の神髄と秘密に迫る。

2018:5./ 247p

978-4-569-83181-7

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/07/01



超歌手

大森 靖子 著

毎日新聞出版

妥協なき創作活動で支持されるミュージシャン・大森靖子が、生死、社会、芸術、偏愛まで、あますことなく書きつけた超本音エッセイ集。最果タヒ、根本宗子らをゲストに迎えた 108 の質問も収録。豪華仕様版も同時刊行。

2018:6./ 224p

978-4-620-32521-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/01



国道 16 号線スタディーズ～二〇〇〇年代の郊外とロードサイドを読む～

塚田 修一、西田 善行 著

青弓社

郊外の都市を結びながら首都圏をぐるりと囲む、国道 16 号線についての研究書。国道 16 号線を実際に車で走り、街を歩き、物語るテキストを読み込むことで、現代の郊外とロードサイドのリアリティを描き出す。

2018:5./ 275p

978-4-7872-3435-3

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/07/01



四季をたのしむ丸の内弁当～毎日をきちんと、丁寧に暮らす丸の内 OL のお弁当帖～

柚木 涼子 著

泰文堂

ごはんとメインのおかず、副菜は味や形が重ならないようにした赤・緑・黄色のおかず、なるべく季節の食材を取り入れて…。丸の内働く OL が、無理せず楽しみながら日々作っているお弁当のレシピを紹介。

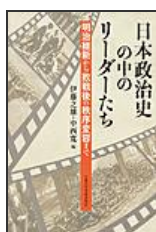
2014:3./ 127p

978-4-8030-0553-0

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/07/01



日本政治史の中のリーダーたち～明治維新から敗戦後の秩序変容まで～

中西 寛 編

京都大学学術出版会

幕末維新期?第二次世界大戦期の近代日本の政治史を対象とした論文集。リーダーたちの生い立ちから性格まで、そして彼らを取り巻く国際的な事象の拡がりに注目して、指導者達の成功と失敗の要因を考察する。

2018:4./ 7p,480p

978-4-8140-0140-8

本体 ¥4,800+税



読売新聞 2018/07/01



おべんとうの時間

阿部 了、阿部 直美 著

木楽舎

母や父、妻や父、子ども、また友人や恋人が作ってくれたおべんとう、そしてそれを食べる人たち。おべんとうハンター阿部夫婦が全国各地でみつけた、おいしい家族の物語。ANA 機内紙『翼の王国』連載を加筆修正して単行本化。

2010:4./ 179p

978-4-86324-022-3

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/07/01



おべんとうの時間<2>(翼の王国 books)

阿部 了、阿部 直美 著

木楽舎

市井の人たちが照れながら見せてくれたおべんとう。食べながら語られるのは、仕事のこと、家族のこと。おべんとうハンターが全国各地で出会った 39 人の物語。ANA 機内紙『翼の王国』連載に加筆し書籍化。

2012:4./ 187p

978-4-86324-048-3

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/07/01



おべんとうの時間<3>(翼の王国 books)

阿部 了、阿部 直美 著

木楽舎

林業、会社員、小学生、歯科医…。普通の人々の普通のおべんとう。おべんとうを通して、その人の今を切り取る。おべんとうハンターが全国各地で出会った 39 人の物語。ANA 機内誌『翼の王国』連載を加筆修正して単行本化。

2015:4./ 191p

978-4-86324-085-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/07/01



ハトと日本人

大田 眞也 著

弦書房

ハトは、平和の象徴として崇められ、伝書鳩として人の暮らしに重宝されてきた半面、食害や糞害をもたらしてきた鳥でもある。キジバト、アオバト、ドバトの生態を写真とともに解説し、ハトと人との関係もたどる。

2018:6./ 170p

978-4-86329-171-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/07/01



お弁当。～アンソロジー～

阿川 佐和子、阿部 了 著

PARCO出版

記憶のなかのお弁当、だれかを思うお弁当、ふれあうお弁当…。池部良「敗戦は日の丸弁当にあり」、椎名誠「早弁の発作的追憶」、江國香織「のり弁の日」など、お弁当にまつわるエッセイ 41 篇を収録。

2013:9./247 図版 5 枚

978-4-86506-035-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/07/01



後醍醐天皇(岩波新書 新赤版 1715)

兵藤 裕己 著

岩波書店

鎌倉幕府崩壊から南北朝動乱へ、日本社会の大きな転換を引き起こした後醍醐天皇。その実像と虚像について検討するとともに、彼の出現によって引き起こされた政治史的、思想史的な諸問題を考察する。

2018:4./ 5p,241p,3p

978-4-00-431715-9

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/07/01、朝日新聞 2018/07/07



死海文書<8> 詩篇

死海文書翻訳委員会、勝村 弘也、上村 静 著

ぶねうま舎

死海文書の聖書写本以外の約 600 文書のうち、ある程度意味を成す分量の文章が残っているものすべてを原典から訳出。8(詩篇)は、感謝の詩篇、バルキ・ナフシ、外典詩篇、外典哀歌、神の諸々の業と共同の告白を収録。

2018:6./ 30p,245p,4p

978-4-906791-82-8

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/07/01、朝日新聞 2018/07/14



江戸の骨は語る～甦った宣教師シドッチの DNA～

篠田 謙一 著

岩波書店

2014 年に東京都指定の史跡「切支丹屋敷跡」で発見された人骨は、新井白石が「西洋紀聞」に記録した江戸中期の宣教師シドッチではないか？ 最先端の科学で 300 年前の人骨の鑑定に挑んだ 2 年数ヶ月を克明に描く。

2018:4./ 11p,153p

978-4-00-022302-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/08



飛ぶ教室(岩波少年文庫)

エーリヒ・ケストナー 著

岩波書店

ボクサー志望のマッツ、貧しくも秀才のマルティン、臆病なウーリ、詩人ジョニー、クールなゼバスティアン。個性豊かな少年たちそれぞれの悩み、悲しみ、そして憧れ。寄宿学校に涙と笑いのクリスマスがやってきます。

2006:10./ 264p

978-4-00-114141-2

本体 ¥680+税



読売新聞 2018/07/08



現代文士廿八人(講談社文芸文庫 な U1)

中村 武羅夫 著

講談社

文士の素顔はいかなるものか？ かつて読者の興味を背に、アポなし突撃訪問を敢行した若者がいた。好悪まる出しの人物評は大人気に。花袋、独歩、漱石、藤村…。文豪たちが生身の<人間>として躍動する、探訪記の傑作。

2018:6./ 217p

978-4-06-511864-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/07/08



かくかくしかじか<1>

東村 アキコ 著

集英社

0

2012:7./ 150p

978-4-08-782457-5

本体 ¥743+税



読売新聞 2018/07/08



偽りの銃弾(小学館文庫 コ 3-1)

ハーラン・コーベン、田口 俊樹、大谷 瑠璃子 著

小学館

何者かに夫を射殺された元特殊部隊ヘリパイロットのマヤ。2 週間後、自宅に設置した隠しカメラに映っていたのは、殺されたはずの夫だった。夫の死の謎を追ひ、マヤは姉クレアの秘密、さらに 17 年前の事件へとたどり着き…。

2018:5./ 583p

978-4-09-406343-1

本体 ¥930+税



読売新聞 2018/07/08



或る女 改版(新潮文庫 あ-2-5)

有島 武郎 著

新潮社

美貌で才気溢れる早月葉子は、詩人・木部と恋愛結婚するが、2 カ月で離婚。その後、婚約者・木村の待つアメリカへと渡る船中で、事務長・倉地のたくましい魅力の虜となり…。愛に生きたその結末とは？ リアリズム文学の傑作。

2013:8./ 740p

978-4-10-104205-3

本体 ¥890+税



読売新聞 2018/07/08



昆虫学者はやめられない～裏山の奇人、徘徊の記～

小松 貴 著

新潮社

天賦の好奇心と驚異の観察眼を持った少年は、「裏山」に籠って昆虫学者となった。稀代のナチュラリストが、足元の生き物たちの神秘を、極上の筆と写真で描く。『Web でも考える人』連載に加筆し書籍化。

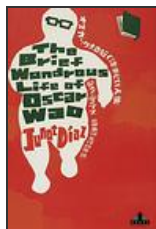
2018:4./ 190p

978-4-10-351791-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/07/08



オスカー・ワオの短く凄まじい人生(CREST BOOKS)

ジュノ・ディアス 著

新潮社

祖国ドミニカを訪ねたオタク青年のオスカーは、自分の一族が「フク」と呼ばれるカリブの呪いに囚われていることを知る。祖父、母、姉、それぞれにフクをめぐる物語があった。新世紀アメリカの青春小説。

2011:2./ 414p

978-4-10-590089-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/07/08



あなたを選んでくれるもの(CREST BOOKS)

ミランダ・ジュライ、ブリジット・サイアー、岸本 佐知子 著

新潮社

映画の脚本執筆に行き詰まった著者は、フリーペーパーに売買広告を出す人々を訪ね、話を聞いてみることにした。アメリカの片隅で同じ時代を生きる、ひとりひとりの、忘れがたい輝き。胸を打つインタビュー集。

2015:8./ 245p

978-4-10-590119-6

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/07/08



中国の世界遺産を旅する～響き合う歴史と文化～(中公新書ラクレ 623)

湯浅 邦弘 著

中央公論新社

兵馬俑の真の価値とは。殷墟から出た甲骨は何を語るのか。敦煌文書に記された古代の思想とは。中国古典に精通した著者が、中国の世界遺産 7 件を精選し、歴史的背景をふまえながら、それぞれの史跡をたどる。

2018:5./ 242p

978-4-12-150623-8

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/07/08



花殺し月の殺人～インディアン連続怪死事件とFBIの誕生～

デイヴィッド・グラン、倉田 真木 著

早川書房

禁酒法時代のアメリカ南部オクラホマ州で、先住民オセージ族とその関係者 20 数人が相次いで不審死を遂げた。のちの FBI 長官フーヴァーは、特別捜査官ホワイトに現地で捜査にあたらせるが…。犯罪ノンフィクション。

2018:5./ 374p

978-4-15-209765-1

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/07/08



六月の雪

乃南 アサ 著

文藝春秋

入院した祖母を元気づけるため、杉山未来は祖母の生地である台湾の古都、台南を訪れる。そこで未来は戦前の日本人の涙と無念を知り、台湾人を襲った悲劇に驚く…。『オール讀物』連載を単行本化。

2018:5./ 509p

978-4-16-390840-3

本体 ¥1,850+税



読売新聞 2018/07/08



瀬石の地図帳～歩く・見る・読む～

中島 国彦 著

大修館書店

本郷・小石川、千駄木、早稲田南町...東京の地理に深く結びついた夏目漱石の文学作品。漱石ゆかりの場所、作品に描かれた場所を訪ね、「坂」と「台地」という視点から漱石の作品を読み直す。

2018:6./ 8p,214p

978-4-469-22263-0

本体 ¥2,100+税



読売新聞 2018/07/08



寄りかからず(ちくま文庫)

茨木 のり子 著

筑摩書房

強い意志とナイーヴな感受性によって紡ぎだされた詩集『寄りかからず』に「球を蹴る人」「草」「行方不明の時間」の詩 3 篇と高瀬省三氏のカット 16 点を添えて贈る潇洒な一冊。

2007:4./ 136p

978-4-480-42323-8

本体 ¥580+税



読売新聞 2018/07/08



金持ち課税～税の公正をめぐる経済史～

ケネス・シーヴ、デイヴィッド・スタサヴェージ、立木 勝 著

みすず書房

国はいつ、なぜ富裕層に課税するのか。世界的に不平等が拡大するなかで、税による解決は可能なのか? 富裕層課税の長い歴史をさかのぼり、それらが現在の状況について何を教えてくれるかを示す。

2018:6./ 11p,241p,57p

978-4-622-08701-4

本体 ¥3,700+税



読売新聞 2018/07/08



国宝の解剖図鑑～国宝を知れば日本の美術と歴史がわかる～

佐藤 晃子 著

エクスナレッジ

国宝をタテ・ヨコ・斜めから大解剖! 絵画や彫刻、建造物など、様々なジャンルの国宝を取り上げ、どこがすごいのか、見所は何かを、図を用いて簡潔に解説。国宝に関する初歩的な疑問についてもまとめる。

2018:4./ 156p

978-4-7678-2455-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/07/08



私にはいなかった祖父母の歴史～ある調査～

イヴァン・ジャブロンカ、田所 光男 著

名古屋大学出版会

これは殺人捜査ではなく、生成の行為だ。歴史家の著者が、スターリン主義、第二次世界大戦、ヨーロッパ・ユダヤ世界の破壊という 20 世紀の悲劇によって葬り去られてしまった祖父母の足跡を辿る。

2017:7./ 4p,371p,39p

978-4-8158-0879-2

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/07/08



歴史は現代文学である～社会科学のためのマニフェスト～

イヴァン・ジャブロンカ、真野 倫平 著

名古屋大学出版会

真実と物語の間で揺れ動き、その意義を問われてきた歴史は、ポストモダニズムの懐疑を乗り越えた後で、「歴史の論理」を立て直すことができるのか。自らの実践に基づき、社会科学と文学の手法を和解させ、歴史記述を刷新する。

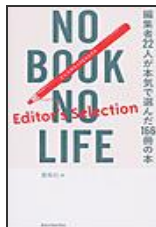
2018:5./ 8p,278p,32p

978-4-8158-0908-9

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2018/07/08



NO BOOK NO LIFE ~Editor's Selection~

雷鳥社 編

雷鳥社

お気に入りの本を見つけるためのブックガイド「NO BOOK NO LIFE」第2弾。「企画・アイデアに驚いた本」「書店で見てヒットを確信した本」など、編集者 22 人が選んだ 166 冊の本をインタビュー形式で掲載。

2018:6./ 252p

978-4-8441-3737-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/08



#社会保障、はじめました。

猪熊 律子 著

SCICUS

国家、立ちすくんでるらしいよ-。「社会保障の哲学カフェ」における高校生・大学生の「同世代対話」を、臨場感たっぷりに漫画を交えレポート。社会保障の基礎知識もわかりやすく解説する。本の表と裏どちらからも読める構成。

2018:5./ 121p,108p

978-4-86668-004-0

本体 ¥2,025+税



読売新聞 2018/07/08



新しいおとな(河出文庫 い 41-4)

石井 桃子 著

河出書房新社

私のごく最初の「本」の記憶は、こたつで一ばん上の姉のひざにだかれて眺めた「舌切りスズメ」であった…。幼い日のゆたかな読書体験と、「かつら文庫」の実践から生まれた、子ども、読書、絵本、本づくりをめぐる随筆集。

2018:5./ 277p

978-4-309-41611-3

本体 ¥740+税



読売新聞 2018/07/08、朝日新聞 2018/07/14



ヤングケアラー～介護を担う子ども・若者の現実～(中公新書 2488)

澁谷 智子 著

中央公論新社

家族の介護を行う 18 歳未満の子ども、ヤングケアラー。その現状について、調査データ、当事者の声、海外の事例、現在の取り組みを紹介。学業や日常生活に影響が及ぶ状況といかに向き合うべきかを考える。

2018:5./ 6p,211p

978-4-12-102488-6

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/07/08、朝日新聞 2018/07/28



はたらく若者たち～1979-81～(岩波現代文庫)

後藤 正治 著

岩波書店

0

2004:11./ 340p

978-4-00-603101-5

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/07/15



上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ねますか?(朝日文庫 う 5-8)

上野 千鶴子、小笠原 文雄 著

朝日新聞出版

おひとりさまは誰が看取るのか? お金はいくらあればよいのか? 「在宅ひとり死」を願う上野千鶴子の 67 の質問に、がんの在宅看取り率 95%を実践する医師の小笠原文雄が、事例をまじえて答える。

2018:6./ 278p

978-4-02-261931-0

本体 ¥660+税



読売新聞 2018/07/15



平城京

安部 龍太郎 著

KADOKAWA

遷都を巡る権力争い、反対派の妨害工作、阿倍一族の復活…。タイムリミットはわずか 3 年。28 歳の青年は唐の長安に並ぶ新都を奈良に建造できるのか。古代史最強の謎に挑むミステリ。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2018:5./ 409p

978-4-04-105849-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/15



ビロウな話で恐縮です日記(新潮文庫 み-34-14)

三浦 しをん 著

新潮社

なぜ日記をつけるのかなと、日記を書きながらいつも考えた…。天下無敵の妄想体質作家・三浦しをんがインターネット上で 2 年弱書き続けた、ビロウな話ばかりの日記。著者自身による脚注つき。最新日記も収録。

2018:6./ 398p

978-4-10-116764-0

本体 ¥630+税



読売新聞 2018/07/15



絶対音感(新潮文庫)

最相 葉月 著

新潮社

0

2006:4./ 430p

978-4-10-148223-1

本体 ¥670+税



読売新聞 2018/07/15



一瞬の宇宙

KAGAYA 著

河出書房新社

ウユニ塩湖の星の野原、南極の白夜に浮かぶ黒い太陽、北海道の湖に沈む幻の橋と天の川、火山とオーロラの島アイスランド…。宇宙の一瞬の輝きを追う写真家、KAGAYA のフォトエッセイ。

2018:6./ 167p

978-4-309-02703-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/07/15



辺境を歩いた人々(河出文庫 み 19-7)

宮本 常一 著

河出書房新社

近藤富蔵、松浦武四郎、菅江真澄、笹森儀助-。江戸後期から明治に至る時代に、八丈島、蝦夷地、みちのく、琉球・八重山諸島の地理・歴史・民俗の調査に情熱を捧げた民俗学のパイオニアたちの数奇な運命と足跡をたどり直す。

2018:6./ 287p

978-4-309-41619-9

本体 ¥760+税



読売新聞 2018/07/15



八月の光(光文社古典新訳文庫 KA フ 14-1)

フォークナー 著

光文社

お腹の子の父親を追って旅する女、肌は白いが黒人の血を引いているという労働者…。米国南部の町で、過去に呪われたように生きる人々の生は、一連の壮絶な事件へ収斂していき。20 世紀アメリカ文学の傑作。

2018:5./ 768p

978-4-334-75376-4

本体 ¥1,560+税



読売新聞 2018/07/15



婚活食堂

山口 恵以子 著

PHP研究所

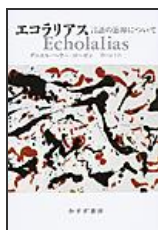
元占い師の女将が営む東京・四谷の「めぐみ食堂」には、今宵も常連客が訪れる。バツイチ、歳の差、国際結婚…。様々な恋の悩みを抱える男女を優しく包み込むハートフルストーリー。

読売新聞 2018/07/15

2018:5./ 258p

978-4-569-83796-3

本体 ¥1,500+税



エコラリアス～言語の忘却について～

ダニエル・ヘラー＝ローゼン、関口 涼子 著

みすず書房

言語の崩壊過程に言語の本質をみたヤコブソン、失語症を考察したフロイト、母語についてはじめて語ったダンテなどを導きに、忘却こそが言語が本来持つ運動性であることを論じた、言語哲学の重要書。

読売新聞 2018/07/15

2018:6./ 275p,50p

978-4-622-08709-0

本体 ¥4,600+税



江戸琳派～花鳥風月をめぐる～

宮崎 もも、エリック・ルオン 著

パイインターナショナル

江戸琳派を確立した酒井抱一、その高弟・鈴木其一、江戸琳派の先駆者・俵屋宗理と江戸琳派の後継者 11 名の作品を、解説と作品情報、部分図も交えて掲載。「江戸琳派の面影」として近代画より 6 名の画家の作品も取り上げる。

読売新聞 2018/07/15

2018:5./ 239p

978-4-7562-4872-5

本体 ¥2,900+税



宮沢賢治の元素図鑑～作品を彩る元素と鉱物～

桜井 弘 著

化学同人

小学生のころ石集めに夢中だった宮沢賢治は科学者になり、石や元素など自然科学に関する知識を深めつつ、たくさんの詩や童話を書いた。宮沢賢治の作品に出てくる 45 の元素と鉱物などを解説する。

読売新聞 2018/07/15

2018:6./ 159p

978-4-7598-1966-3

本体 ¥1,600+税



1970 年大阪万博の時代を歩く～戦災からの復興、高度経済成長、そして万博へ～(歴史新書)

橋爪 紳也 著

洋泉社

史上最大の成功をおさめた、1970 年大阪万博。その軌跡とともに、大阪の活気に溢れた戦後史を振り返る。万博以降の大阪イベント物語も収録。2018 年「なにわなんでも大阪検定」の公式参考書。

読売新聞 2018/07/15

2018:5./ 191p

978-4-8003-1478-9

本体 ¥950+税



ブリーモ・レーヴィ～失われた声の残響～

ガブリエツラ・ポーリ、ジョルジョ・カルカーニョ、二宮 大輔 著

水声社

アウシュヴィッツの強制収容所を生き抜き、その体験を綴ったユダヤ人作家として知られるブリーモ・レーヴィ。彼が残したインタビュー記事やテレビの対談を、様々なテーマに沿って組み立て直した発言集。

読売新聞 2018/07/15

2018:5./ 510p

978-4-8010-0337-8

本体 ¥4,500+税





胃袋の近代～食と人びとの日常史～

湯澤 規子 著

名古屋大学出版会

一膳飯屋、残飯屋、共同炊事など、都市の雑踏や工場の喧騒のなかで始まった外食の営みを活写。「人びと」と「食」をめぐる問題を中軸に据え、「胃袋」を通して<日本の近代>という時代を明らかにする。

2018:6./ 5p,325p,18p

978-4-8158-0916-4

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/07/15



生物模倣～自然界に学ぶイノベーションの現場から～

アミーナ・カーン、松浦 俊輔 著

作品社

生物が進化のなかで獲得した優れた機能や構造を模倣したり、そこから着想を得たりして、新たな技術開発に生かす「生物模倣技術」。その研究者たちの驚きのアイデア、実現への苦闘、未来のビジョンを徹底取材のうえ紹介。

2018:5./ 355p,17p

978-4-86182-691-7

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/07/15



トラ学のすすめ～アムールトラが教える地球環境の危機～

関 啓子 著

三冬社

地球上にたった千頭しか残っていないアムールトラは、どうして種としての絶滅に向けて歩まざるをえないか。その歩みはくいとめられるか? 自然科学、人文社会科学の成果を総合し、ヒトとトラの関係、地球環境の未来を考える。

2018:6./ 259p

978-4-86563-037-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/15



ママのゆるコツ事典～今日は、子どもが可愛く見える～

渡辺 のぞみ、Boojil 著

文響社

子育てが大変、辛い...と感じるのは、なんとかしたいという気持ちの裏返し。子育てという壮大な仕事に肅々と向き合うお母さんたちに向け、日々の悩みがどうにかなくていく 222 のアイデアを紹介します。

2018:5./ 223p

978-4-86651-054-5

本体 ¥1,280+税



読売新聞 2018/07/15



国体論～菊と星条旗～(集英社新書 0928)

白井 聡 著

集英社

「戦後の国体」とは、天皇制というピラミッドの頂点に、アメリカを鎮座させたものだ。なぜかくも奇妙な「国体」が生まれたのか。「戦後の国体」はわれわれをどこに導くのか。白井聡が、日本の深層を明らかにする。

2018:4./ 347p

978-4-08-721028-6

本体 ¥940+税



読売新聞 2018/07/15、毎日新聞 2018/07/15



ジョン・ロック～神と人間との間～(岩波新書 新赤版 1720)

加藤 節 著

岩波書店

民主主義の基礎を築いた天才思想家ジョン・ロック。その背景には、「神なしではすまずことのできない」宗教性と、「影」を色濃く帯びた思想的挫折があった。自由、信仰、知性...資料と歴史を読み解き、ロックの実像を再現する。

2018:5./ 16p,216p,3p

978-4-00-431720-3

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/07/22



東大寺のなりたち(岩波新書 新赤版 1726)

森本 公誠 著

岩波書店

聖武天皇の発願に始まる、華嚴宗大本山東大寺。その存在意義とは何か。東大寺長老の著者が、その答えを創建時代の歴史に求め、朝廷内の政争と陰に陽に絡みながらも、救済の寺としての道を歩んだ東大寺のなりたちを解き明かす。

2018:6./ 10p,218p

978-4-00-431726-5

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/07/22



炎上とクチコミの経済学

山口 真一 著

朝日新聞出版

ソーシャルメディアを効果的に活用する方法を紹介。豊富な統計データと様々な実証分析に基づいて、クチコミと炎上という「ネット上の発信」の実態を明らかにしたうえで、炎上の具体的な予防・対処方法を提示する。

2018:6./ 232p

978-4-02-331706-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/22



「片頭痛」からの卒業(講談社現代新書 2478)

坂井 文彦 著

講談社

片頭痛は自分でラクにできる! 片頭痛のメカニズム、症例、自己診断法、最新の治療法、薬の正しい使用方法、画期的な治療薬について説明するとともに、自分で頭痛を治す「片頭痛予防体操」「緊張型頭痛体操」を紹介する。

2018:5./ 230p

978-4-06-511769-9

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/07/22



偏差値 70 からの甲子園～僕たちは野球も学業も頂点を目指す～(集英社文庫 ま 26-2)

松永 多佳倫 著

集英社

強豪私学に立ち向かう、進学校の野球とは? 野球特待生ゼロ。限られたわずかな練習時間とグラウンドの制約…。それでも創意と工夫で結果を残す、名門進学校 6校の練習・指導法を徹底解明する。

2018:6./ 288p

978-4-08-745758-2

本体 ¥600+税



読売新聞 2018/07/22



このサンドイッチ、マヨネーズ忘れてる ハプワース 16、1924 年(新潮モダン・クラシックス)

J.D.サリンジャー、金原 瑞人 著

新潮社

サリンジャーの入手困難な短編を集成した、繊細な魅力あふれる作品集。「ライ麦畑でつかまえて」の主人公ホールデン・モリシー・コールフィールドがらみの短編 6編を含む、全 9 編を収録。

2018:6./ 255p

978-4-10-591006-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/22



警察官白書(新潮新書 770)

古野 まほろ 著
新潮社

年収、学歴、異性関係は？ 職務質問のコツは？ 思考パターンは？ 警察キャリア出身の作家が、交番、生安、刑事、交通、警備などを専門分野別に徹底プロファイル。全国 26 万警察官の生身の姿をリアルに描き出す。

2018:6./ 254p
978-4-10-610770-2
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/07/22



逃げられない世代～日本型「先送り」システムの限界～(新潮新書 771)

宇佐美 典也 著
新潮社

2036 年。あらゆる問題を「先送り」してきた日本に限界が来る。年金、保険などの社会保障はもとより、安全保障に至るまで、国家システムの破綻は回避できるのか。危機の本質を政官のメカニズムに精通した著者が論じる。

2018:6./ 253p
978-4-10-610771-9
本体 ¥800+税



読売新聞 2018/07/22



作家たちの愚かしくも愛すべき中国～なぜ、彼らは世界に発信するのか？～

高 行健、余 華、閻 連科、飯塚 容 著
中央公論新社

華人作家で初めてノーベル賞を受賞した高行健、次の受賞候補と言われる余華、閻連科の文学と言説を取り上げ、中国文学の魅力を伝える。高行健×大江健三郎、余華×中島京子、閻連科×リービ英雄の対談も収録。

2018:6./ 237p
978-4-12-005093-0
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/07/22



細胞内共生説の謎～隠された歴史とポストゲノム時代における新展開～

佐藤 直樹 著
東京大学出版会

なぜ細胞内共生説は定説となり、マーギュリスは創始者とされたのか。文献を丁寧にたどって細胞内共生説の歴史を読みとき、最先端のゲノム解析技術を駆使しながら定説の再考を迫る。

2018:6./ 10p,247p,31p
978-4-13-060236-5
本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/07/22



センセイの鞆(文春文庫)

川上 弘美 著
文芸春秋
0

2004:9./ 278p
978-4-16-763103-1
本体 ¥620+税



読売新聞 2018/07/22



週末島旅～旅作家が本気で選ぶ!～(幻冬舎文庫 こ-36-3)

小林 希 著
幻冬舎

シャーマン女将がいる不思議体験続出の宿がある加計呂麻島。砂漠で“月面トレッキング”体験ができる伊豆大島…。旅作家がこれまで訪れた 60 以上の日本の島から厳選した魅惑の 10 島を紹介する。データ:2018 年 4 月現在。

2018:6./ 340p
978-4-344-42745-7
本体 ¥690+税



読売新聞 2018/07/22



好きになった人(ちくま文庫 か 73-1)

梯 久美子 著

筑摩書房

老父と娘の旅、子供の居場所、児玉清さんのこと、崖の上の女たち…。忘れられない出来事と、忘れたくない人たち。遠い記憶を呼び起こすエッセイ集。新たに加計呂麻島紀行も収録する。

2018:6./ 275p

978-4-480-43523-1

本体 ¥760+税



読売新聞 2018/07/22



少年写真家の見た明治日本～ミヒャエル・モーザー日本滞在記～

ミヒャエル・モーザー、ペーター・パンツァー 編

ミヒャエル・モーザー 著

勉誠出版

明治2年、オーストリアから日本に辿り着いた16歳のモーザーは、新天地にとどまり写真家として生きることを決めた。日本滞在中の日記・書簡類を紐解き、豊富な写真資料と共に彼の見聞した明治初期の世界を浮き彫りにする。

2018:5./ 23p,379p

978-4-585-22209-5

本体 ¥6,500+税



読売新聞 2018/07/22



依存性の理性的動物～ヒトにはなぜ徳が必要か～(叢書・ユニベルシタス 1076)

アラスデア・マッキンタイア 著

法政大学出版局

ヒトとそれ以外の動物を区別する根拠とは何か？両者の間に引かれた境界線を批判するとともに、人間を傷つきやすく障害を抱える動物、他者への依存のもとで初めて開花しうる動物として理解する、徳倫理学の画期的な考察。

2018:5./

12p,255p,15p,5p

978-4-588-01076-7

本体 ¥3,300+税



読売新聞 2018/07/22



ジャコモッティ彫刻と絵画

デイヴィッド・シルヴェスター、武田 昭彦 著

みすず書房

ジャコモッティの彫刻はなぜかくも細いのか。矢内原伊作と同様にモデルとなった美術評論家が「全身芸術家」に肉迫した金字塔的エッセイ。1964年9月にBBCラジオで放送されたジャコモッティ・インタビューも全文収録。

2018:6./ 270p

978-4-622-07979-8

本体 ¥5,000+税



読売新聞 2018/07/22



カラス先生のはじめてのいきもの観察

松原 始 著

太田出版

枝に止まったトンボの取り方。歩いている時にシカを見つけたら。ヘビを探すには。全部、裏山が教えてくれた。「カラスの教科書」の人気動物行動学者が、研究者になる前に遊びながら覚えた、動物とのつきあい方を記す。

2018:6./ 240p

978-4-7783-1631-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/22



プレモダン建築巡礼～1868-1942～

磯 達雄、宮沢 洋、日経アーキテクチュア 編

磯 達雄、宮沢 洋 著

日経BP社

明治維新から太平洋戦争終結前までに国内で竣工した、「プレモダン」の名建築 50 をイラスト・写真・文章で紹介。井上章一×磯達雄の対談も掲載する。『日経アーキテクチュア』連載に加筆し竣工年順に再構成。

2018:4./ 255p

978-4-8222-5652-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/07/22



美意識のありか～万葉のころが育てた感性～

樹下 龍児 著

弦書房

なぜ鈴虫の声を美しいと感じられるのか？ 近代日本の出発点となった明治維新から、戦後民主主義の始まる太平洋戦争後あたりまでに焦点を当て、子どもたちに与えられた教科書とその挿絵に、日本の美意識のありかを問う。

2018:7./ 212p

978-4-86329-174-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/07/22



本を読む。～松山巖書評集～

松山 巖 著

西田書店

松山巖が 30 年以上の間に、心を動かされた本を選び、論じる。1983 年?2016 年に『読売新聞』『毎日新聞』『朝日新聞』及び雑誌に寄せた書評を集成。

2018:6./ 881p,13p

978-4-88866-625-1

本体 ¥4,600+税



読売新聞 2018/07/22



ルポ児童相談所(朝日新書 667)

大久保 真紀 著

朝日新聞出版

児童虐待に対応する最前線、児童相談所。虐待死事件が発生すると、なぜ未然に防げなかったのかと批判と非難の矢面に立たされてきた。西日本のある児童相談所への取材を通じて、実態の知られていない彼らの奮闘をルポする。

2018:5./ 297p

978-4-02-273093-0

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/07/29



不在

彩瀬 まる 著

KADOKAWA

長らく疎遠だった父が、死んだ。「明日香を除く親族は屋敷に立ち入らないこと」という不可解な遺言に娘の明日香は戸惑いを覚えつつ、父の遺した洋館に足を踏み入れるが…。愛なき世界の生き方を探る長篇小説。

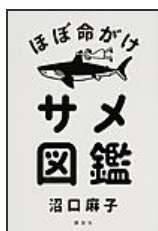
2018:6./ 255p

978-4-04-104910-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/07/29



ほぼ命がけサメ図鑑

沼口 麻子 著

講談社

サメが大好きで、サメの取材活動や情報発信を行っている著者が、サメにまつわる様々な知識や、著者が出会ったサメたちとの体験談、サメ体験スポットなどを紹介する。『現代ビジネス』連載をもとに書籍化。折り込みページあり。

2018:5./ 381p

978-4-06-220518-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/07/29



死因不明社会 2018(講談社文庫 か 115-7)

海堂 尊 著

講談社

Ai(死亡時画像診断)の導入を訴える著者が「死因不明社会」を刊行してから 10 年。Ai の理解と導入は進んだが、いまだ死因不明社会は解消されていない。その原因とは。この 10 年を振り返る書き下ろしを加えて文庫化。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 359p

978-4-06-511841-2

本体 ¥740+税



女政治家の通信簿(小学館新書 326)

古谷 経衡 著

小学館

彼女たちに政治家の資質はあるか・ないか? 小池百合子、稲田朋美、三原じゅん子ら女性政治家 29 人の政策力・政治経験・選挙力・ルックスなどを著者が独自に採点する。野田聖子、舛添要一との対談も収録。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 286p

978-4-09-825326-5

本体 ¥820+税



謝るなら、いつでもおいで〜佐世保小六女児同級生殺害事件〜(新潮文庫 か-82-1)

川名 壮志 著

新潮社

世間を震撼させた「佐世保小 6 同級生殺害事件」。新聞社の支局長だった被害者の父親の部下であり、約 10 年にわたり取材を続けた記者が、事件や被害者家族について、新聞には書ききれなかった話を綴る。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 359p

978-4-10-121461-0

本体 ¥590+税



星夜航行<上巻>

飯嶋 和一 著

新潮社

三河の内乱の時、父が徳川家に弓を引いたため、逆臣の遺児として農村に逼塞していた沢瀬甚五郎。傑出したその才覚は家康家臣の知るところとなり、嫡男、徳川三郎信康の小姓衆に取り立てられるが…。『小説新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 533p

978-4-10-351941-6

本体 ¥2,000+税



星夜航行<下巻>

飯嶋 和一 著

新潮社

秀吉の明国と朝鮮への野望は誰にも止められない。小西行長ら秀吉吏僚の隠蔽工作は国と民を泥沼の地獄へと導く。沢瀬甚五郎も否応なく巻き込まれていき…。驚くべき朝鮮出兵の真実を描く。『小説新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 572p

978-4-10-351942-3

本体 ¥2,000+税



ジョン・ル・カレ伝<上>

アダム・シズマン、加賀山 卓朗、鈴木 和博 著

早川書房

スパイ小説の巨匠ジョン・ル・カレの実像を、長時間のインタビュー、本人所蔵の膨大な資料などをもとに描く。上は、大学時代に行なった諜報活動、MI6 や MI5 での任務、「寒い国から帰ってきたスパイ」の成功などを収録。

読売新聞 2018/07/29

2018:5./ 491p

978-4-15-209766-8

本体 ¥3,000+税





ジョン・ル・カレ伝<下>

アダム・シズマン、加賀山 卓朗、鈴木 和博 著

早川書房

スパイ小説の巨匠ジョン・ル・カレの実像を、長時間のインタビュー、本人所蔵の膨大な資料などをもとに描く。下は、離婚と再婚、自伝的小説の執筆・刊行と過去の清算、一風変わった執筆方法などを収録。

2018:5./ 475p

978-4-15-209767-5

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/07/29



オールドレンズの神のもとで

堀江 敏幸 著

文藝春秋

色のない世界から色のある世界へ。色と記憶をめぐる「オールドレンズの神のもとで」など、記憶や風景に抱かれたシーンを繊細に描き出した、彩り豊かな 18 篇を収録する。

2018:6./ 200p

978-4-16-390843-4

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2018/07/29



収容所(ラーゲリ)から来た遺書(文春文庫)

辺見 じゅん 著

文芸春秋

0

1992:6./ 297p

978-4-16-734203-6

本体 ¥520+税



読売新聞 2018/07/29



解死人次郎左

新井 政美 著

河出書房新社

牢人、植原次郎左衛門とその息子・三十郎は、数奇な運命により、庄屋の娘であった亡き母の故郷の村で暮らすことになる。だがそこでは、武士・解死人・庄屋の縁者という 3 つの身分に翻弄されながらの暮らしが待っていて...

2018:6./ 276p

978-4-309-02692-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/07/29



サイレント・プレス～看取りのカルテ～(幻冬舎文庫 み-34-1)

南 杏子 著

幻冬舎

大学病院から、在宅で「最期」を迎える患者専門のクリニックへの“左遷”を命じられた水戸倫子。いくつもの死と、そこに秘められた“謎”を通して、人生の最後の日々を穏やかに送る手助けをする医療の大切さに気づき...

2018:7./ 407p

978-4-344-42776-1

本体 ¥650+税



読売新聞 2018/07/29



鈴木大拙(日本人のこころの言葉)

竹村 牧男 著

創元社

若くして禅の奥義を体得、渡米して仏教の人間観や世界観を広め、世界から注目される宗教哲学者・鈴木大拙。禅や日本浄土教に基づく広く深い思想から発せられた多彩な言葉を集成する。

2018:6./ 206p

978-4-422-80072-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/07/29



日本語が亡びるとき～英語の世紀の中で～

水村 美苗 著
筑摩書房

「西洋の衝撃」を全身に浴び、豊かな近代文学を生み出した日本語が、いま「英語の世紀」の中で「亡びる」とはどういうことか。日本語と英語をめぐる認識を深く揺り動かし、はるかな時空の眺望のもとに鍛えなおす。

読売新聞 2018/07/29

2008:11./ 330p
978-4-480-81496-8
本体 ¥1,800+税



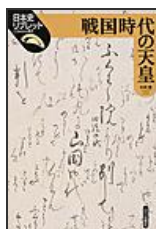
バナナのグローバル・ヒストリー～いかにしてユナイテッド・フルーツは世界を席巻したか～

ピーター・チャップマン、小澤 卓也、立川 ジェームズ 著
ミネルヴァ書房

バナナは、どのように世界の食卓に広まっていったのか。その歴史的展開を、史上初の多国籍企業とも称されるユナイテッド・フルーツの盛衰を軸に、グローバル・ヒストリーの視点から描き出す。

読売新聞 2018/07/29

2018:5./ 1p,328p,15p
978-4-623-08331-2
本体 ¥3,500+税



戦国時代の天皇(日本史リブレット 82)

末柄 豊 著
山川出版社

応仁・文明の乱によって室町幕府が衰退の道を進み、戦国時代の朝廷は困窮していた。天皇自身の手になる文書や日記を読み解くことで、難しい舵取りを余儀なくされた天皇が何を守ろうとしたのかを考える。

読売新聞 2018/07/29

2018:7./ 112p
978-4-634-54694-3
本体 ¥800+税



SILENT WORLD～消えゆく世界の美しい廃墟～

山田 悠人 著
パイインターナショナル

ベリッツ療養所、リトルモスクワ、奈良ドリームランド、ルーダスドルフ化学工場、テンペルホール空港…。ベルリンを拠点に活動する著者が、ドイツを中心に、歴史的背景とストーリーを持つ廃墟を撮影した写真集。

読売新聞 2018/07/29

2018:5./ 1冊(ページ付なし)
978-4-7562-5000-1
本体 ¥2,500+税



広い宇宙に地球人しか見当たらない 75 の理由～フェルミのパラドックス～

スティーヴン・ウェブ、松浦 俊輔 著
青土社

宇宙がエイリアンだらけなら、みんなどこにいるの? 20 世紀を代表する物理学者フェルミが提出したこのパラドックスを解決するために、宇宙論、物理学、確率論から SF 的想像力までを総動員し、宇宙と生命の謎へと挑む。

読売新聞 2018/07/29

2018:5./ 501p,73p
978-4-7917-7077-9
本体 ¥2,800+税



文字の消息

澤西 祐典 著
書肆侃侃房

どこからともなく降り積もる“文字”が日常を脅かしていく。家が、街が、やがて文字に埋もれ…。表題作ほか、「砂糖で満ちてゆく」「災厄の船」の全 3 編を収録。日常世界の崩壊を描く作品集。「すばる」掲載等を単行本化。

読売新聞 2018/07/29

2018:6./ 162p
978-4-86385-319-5
本体 ¥1,400+税





人間のしるし

クロード・モルガン 著
岩波書店

発覚すれば確実に銃殺。ナチ・ドイツ占領下で非合法出版に携わるジャン。かつては彼も世界の動乱の中で安物の幸福だけを願っていた。本当の愛を得るために闘う《人間》を描く「アンガージュマンの文学」の傑作。

1992:10./ 254p
978-4-00-001622-3
本体 ¥1,553+税



日本経済新聞 2018/07/07



高専教育の発見～学歴社会から学習歴社会へ～

浅野 敬一 編
林川 友貴 著
岩波書店

就職率 100%という高い評価と半世紀を超える歴史を有する 5 年制の高等教育機関「高専」。等閑視されてきた高専教育の内実、学生側の評価、卒業後のキャリア展開等について、大規模卒業生調査と論考から多角的に迫る。

2018:4./ 13p,233p,15p
978-4-00-022959-3
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/07/07



職業としての政治(岩波文庫)

マックス・ヴェーバー 著
岩波書店

あらゆる政治行動の原動力は権力(暴力)である。政治は政治であって倫理ではない。そうである以上、この事実は政治の実践者に対して特別な倫理的要求をつきつけずにはいない。では政治に身を投ずる者のそなうべき資格と覚悟とは何か。

1980:3./ 121p
978-4-00-342097-3
本体 ¥480+税



日本経済新聞 2018/07/07



EVと自動運転～クルマをどう変えるか～(岩波新書 新赤版 1717)

鶴原 吉郎 著
岩波書店

「電動化」「自動化」「コネクテッド化」…。いま、クルマの世界に何が起きているのか。そしてクルマはこれからどのように変わっていくのか。衝撃の未来予想図と開発の最前線に迫る。

2018:5./ 9p,203p
978-4-00-431717-3
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/07/07



しない。

群 ようこ 著
集英社

通販で買わない、不要な付き合いをしない…。快適な生活のための「しないこと」リストから、心地よい日常を呼ぶヒントを伝える。集英社学芸編集部サイト『学芸・ノンフィクション』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:6./ 184p
978-4-08-781662-4
本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/07/07



夕焼けの詩～三丁目の夕日～<65> 火星の土地(ビッグコミックス)

西岸 良平 著
小学館

遠くなりゆく昭和という時代のファンタジー 西岸良平氏原作の映画『DESTINY 鎌倉ものがたり』が 2017 年 12 月に公開されます。その世界観の原点といえる『三丁目の夕日』。映画公開に先立ち、待望の新刊発売です。

2017:11./ 183p
978-4-09-189427-4
本体 ¥552+税



日本経済新聞 2018/07/07



夕映え天使(新潮文庫 あ-47-5)

浅田 次郎 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2011:7./ 307p
978-4-10-101926-0
本体 ¥550+税



* 9 7 8 4 1 0 1 0 1 9 2 6 0 *



次郎物語<中巻>(新潮文庫)

下村 湖人 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

1987:5./ 543p
978-4-10-110508-6
本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 0 5 0 8 6 *



山本五十六<上> 改版(新潮文庫)

阿川 弘之 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2008:8./ 486p
978-4-10-111003-5
本体 ¥710+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 1 0 0 3 5 *



山本五十六<下> 改版(新潮文庫)

阿川 弘之 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2008:8./ 428p
978-4-10-111004-2
本体 ¥670+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 1 0 0 4 2 *



米内光政 改版(新潮文庫)

阿川 弘之 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2002:12./ 630p
978-4-10-111006-6
本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 1 0 0 6 6 *



井上成美～海軍提督三部作～ 改版(新潮文庫 あ-3-7)

阿川 弘之 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2012:2./ 716p
978-4-10-111014-1
本体 ¥940+税



* 9 7 8 4 1 0 1 1 1 0 1 4 1 *



裂けて海峡(新潮文庫)

志水 辰夫 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/07

2004:8./ 446p
978-4-10-134518-5
本体 ¥590+税



* 9 7 8 4 1 0 1 3 4 5 1 8 5 *



ローマ人の物語<1> ローマは一日にして成らず

塩野 七生 著

新潮社

人類の歴史上、初めて構築された世界帝国ローマその一千年の興亡には 20 世紀を生きる我々の根源的営みの座標軸が全て刻みこまれている。

日本経済新聞 2018/07/07

1992:7./ 282p

978-4-10-309610-8

本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 1 0 3 0 9 6 1 0 8 *



用心棒日月抄

藤沢 周平 著

新潮社

己の命を危険にさらし、様々な人の番犬となって生きる男の苛烈な青春。大きな活字で読みやすい「藤沢周平名作シリーズ」。連作時代小説の幕開き。1978 年刊の再刊。

日本経済新聞 2018/07/07

2002:11./ 438p

978-4-10-329612-6

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 1 0 3 2 9 6 1 2 6 *



大英帝国の歴史<上> 膨張への軌跡

ニール・ファーガソン、山本 文史 著

中央公論新社

およそ 400 年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。上は、通商・略奪・入植・布教により世界帝国へと変貌するまでを描く。

日本経済新聞 2018/07/07

2018:6./ 357p

978-4-12-005087-9

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 0 8 7 9 *



大英帝国の歴史<下> 絶頂から凋落へ

ニール・ファーガソン、山本 文史 著

中央公論新社

およそ 400 年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。下は、植民地統治の破綻、自由主義の高揚、2 度の世界大戦を経て帝国が終焉を迎えるまでを描く。

日本経済新聞 2018/07/07

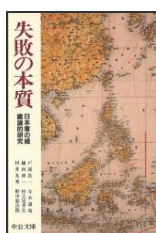
2018:6./285p 図版 16p

978-4-12-005088-6

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 0 8 8 6 *



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著

中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2018/07/07

2000:4./ 413p

978-4-12-201833-4

本体 ¥762+税



* 9 7 8 4 1 2 2 0 1 8 3 3 4 *



太陽を創った少年～僕はガレージの物理学者～

トム・クラインズ、熊谷 玲美 著

早川書房

弱冠 14 歳で専門家にも困難な核融合炉製造に成功したテイラー・ウィルソン。「ギフトッド」と呼ばれる天才児はいかに育てられたのか。不可能を可能にした早熟の天才を長期取材、余すところなくその異能の肖像を描く。

日本経済新聞 2018/07/07

2018:5./ 502p

978-4-15-209764-4

本体 ¥2,500+税



* 9 7 8 4 1 5 2 0 9 7 6 4 4 *



アイデアの発見～杉山恒太郎が目撃した、世界を変えた広告 50 選～

杉山 恒太郎 著
インプレス

クリエイティブは、ビジネスをつくる。トラディショナル広告とインタラクティブ広告の両方を熟知した著者が、世界を変えた傑作広告を選び、広告が人々の価値転換にどう関わってきたか、その道程を記す。

2018:6./ 223p
978-4-295-00340-3
本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/07/07



さざなみのよる

木皿 泉 著
河出書房新社

小国ナスミ、享年 43 歳。息をひきとった瞬間から、その死は湖に落ちたひと雫の波紋のように、家族や知人へと広がっていき…。命のまばゆいきらめきを描いた感動と祝福の物語。5 年ぶりの小説、第 2 作。

2018:4./ 221p
978-4-309-02525-4
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/07/07



ヴェニス商人の資本論(ちくま学芸文庫)

岩井克人 著
筑摩書房
0

1992:6./ 317p
978-4-480-08004-2
本体 ¥950+税



日本経済新聞 2018/07/07



世界システムの政治経済学～国際関係の新段階～

ロバート・ギルピン 著
東洋経済新報社
0

1990:6./ 450p
978-4-492-44107-7
本体 ¥5,800+税



日本経済新聞 2018/07/07



中国の「一带一路」構想の真相～海と陸の新シルクロード経済圏～

トム・ミラー、田口 未和 著
原書房

シルクロード経済ベルトにかかる中国の地政学的戦略をはじめ、東南アジア、中央アジアの近隣諸国との関係、EU や EEU 等の経済圏との比較まで、気鋭の英国人アナリストがグローバルな視点から解説。中国の「今」がわかる書。

2018:5./ 293p
978-4-562-05572-2
本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/07/07



小倉昌男～成長と進化を続けた論理的ストラテジスト～(PHP 経営叢書 日本の企業家 13)

沼上 幹 著
PHP研究所

社会インフラにまで成長する宅急便というブレークスルーを生み出し、その後のフォロースルーを通じて確実な成長路線を敷いた経営者・小倉昌男の軌跡と核心とは。偉大な企業家の精緻な思考を経営学的に深く読み解く。

2018:3./ 470p
978-4-569-83433-7
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/07/07



新説説経節〜小栗判官・しんとく丸・山椒太夫〜

平凡社

小栗判官・しんとく丸・山椒太夫。中世から庶民の間で伝えられてきた<語り物>が、読みやすくリズムカルな現代語で甦る!「説教節」に惚れ抜いた伊藤比呂美による新訳。『ウェブ平凡』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2018/07/07

2015:2./ 238p

978-4-582-83684-4

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 3 6 8 4 4 *



マヤ探検記〜人類史を書きかえた偉大なる冒険〜<上>

ウィリアム・カールセン、森 夏樹 著

青土社

古代の遺跡に魅せられた男達は、いつしか固い絆で結ばれて、それぞれの夢を中央アメリカの熱帯雨林に見出した。それは、まさに命をかけた冒険だった。マヤ考古学者の先駆けと称される2人の探検家の波乱に満ちた生涯を描く。

日本経済新聞 2018/07/07

2018:4./338p 図版 16p

978-4-7917-7060-1

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 0 6 0 1 *



マヤ探検記〜人類史を書きかえた偉大なる冒険〜<下>

ウィリアム・カールセン、森 夏樹 著

青土社

密林のジャングルで男達が見たものは、誰も想像すらしていなかった高度な文明の痕跡だった。歴史を刷新する成果をあげた彼らは、次の夢へと突き進み…。マヤ考古学者の先駆けと称される2人の探検家の波乱に満ちた生涯を描く。

日本経済新聞 2018/07/07

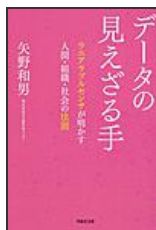
2018:4./ 391p,7p

978-4-7917-7061-8

本体 ¥2,800+税



* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 0 6 1 8 *



データの見える手〜ウェアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則〜(草思社文庫 や4-1)

矢野 和男 著

草思社

ウェアラブルセンサにより記録したヒューマンビッグデータが、人間や社会に普遍的に見られる「法則」や「方程式」を次々と明らかにしている。「法則」の理解が、われわれの生活や社会をどのように変えるのかを第一人者が語る。

日本経済新聞 2018/07/07

2018:4./ 286p

978-4-7942-2328-9

本体 ¥850+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 2 3 2 8 9 *



ローマから日本が見える

塩野 七生 著

集英社インターナショナル

国家の衰亡は外部要因で決まるのではない。すべては「自己改革の勇氣」による。塩野七生が独自の史観で描く「現代日本人のためのローマ史入門」。

日本経済新聞 2018/07/07

2005:6./ 366p

978-4-7976-7137-7

本体 ¥1,300+税



* 9 7 8 4 7 9 7 6 7 1 3 7 7 *



うるしー(あかちゃんを選んだあかちゃんのための絵本)

ロロン 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

あかちゃんによる投票(選択注視法)で選ばれた一番人気のキャラクターを主人公にした、東京大学あかちゃんラボ発の絵本。見習い手品師うるしーが、帽子からいろいろなものを取り出します。一番最後に取り出したのは…?

日本経済新聞 2018/07/07

2017:7./ 1冊(ページ付なし)

978-4-7993-2109-6

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 7 9 9 3 2 1 0 9 6 *



もいもい(あかちゃんが選んだあかちゃんのための絵本)

市原 淳 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

さまざまな実験のなかで、あかちゃんの視線をくぎづけにしたイラストを主人公にした、東京大学あかちゃんラボ発の絵本。泣く子も見つめる圧倒的な注目度のキャラクターがたくさん現れ…。見返しに奥付あり。

2017:7./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7993-2110-2

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/07/07



モイモイとキーリー(あかちゃんが選んだあかちゃんのための絵本)

みうら し?まる、開 一夫、東京大学あかちゃんラボ 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

あかちゃんが持つトゲトゲやチクチクなど言葉のイメージを、実験をもとにイラスト化した東京大学あかちゃんラボ発の絵本。あかちゃんがイメージするモイモイとキーリーが、オノマトペの世界を巡ります。見返しに奥付等あり。

2017:7./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-7993-2111-9

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/07/07



古代ローマ旅行ガイド〜一日5デナリで行く〜(ちくま学芸文庫 マ45-1)

フィリップ・マティザック、安原 和見 著

筑摩書房

タイムスリップして古代都市ローマを訪れるとしたら? 西暦 200 年ごろのローマを舞台にした旅行ガイド。イタリアまでの船旅の手配や宿屋探しのコツ、お得なショッピング、見どころなどを紹介する。ラテン語会話集つき。

2018:6./ 280p

978-4-480-09871-9

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/07/07、産経新聞 2018/07/15



パンと野いちご〜戦火のセルビア、食物の記憶〜

山崎 佳代子 著

勁草書房

民族同士が対立し、住むところを追われ、移動を強制された旧ユーゴスラビアの人々。バルカン半島に長年住む著者が、その体験を食べ物キーワードに聞き取った証言集。伝統的な家庭料理のレシピも収録。

2018:5./ 7p,307p

978-4-326-85194-2

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/07/07、朝日新聞 2018/07/21



近代日本の構造〜同盟と格差〜(講談社現代新書 2479)

坂野 潤治 著

講談社

日英同盟か日中親善か、格差は正か地租減税か。日本近代史の碩学が、「同盟」と「格差」に焦点をあて、近代の外交と内政の歩みを描き、日本の進むべき道を問い直す。

2018:5./ 228p

978-4-06-511729-3

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/07/07、東京・中日新聞 2018/07/15



脱ポピュリズム国家〜改革を先送りしない真の経済成長戦略へ〜

八代 尚宏 著

日本経済新聞出版社

目先の利益ではなく、いま本当に必要な経済政策転換を! アベノミクス 5 年間の評価、働き方改革法案、社会保障改革など 5 つの分野について考え、長期的な視点に立った経済成長戦略を復活させるためには何が必要かを示す。

2018:5./ 213p

978-4-532-35778-8

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/07/07、日本経済新聞 2018/07/21



アイルランド革命 1913-23～第一次世界大戦と二つの国家の誕生～

小関 隆 著

岩波書店

第一次世界大戦、イースター蜂起、独立戦争、そして内戦へ……。さまざまな思惑が交錯する革命の激動の中で「二つのアイルランド」が成立する過程をダイナミックに描き出す。

2018:4./ 16p,327p,31p

978-4-00-061253-1

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/07/14



女性作家が選ぶ太宰治(講談社文芸文庫 た AK2)

太宰 治 著

講談社

異性作家は太宰をどう読み、いかに選ぶのか。江國香織、角田光代、川上弘美、川上未映子、桐野夏生、松浦理英子、山田詠美。7人の女性作家がそれぞれの感性で選ぶ、未だかつてない太宰短篇集。

2015:2./ 241p

978-4-06-290259-5

本体 ¥1,350+税



日本経済新聞 2018/07/14



人間失格<1>(ビッグコミックス)

伊藤 潤二、太宰 治 著

小学館

隣人の幸福が理解できない。なのに、隣人の目が気になって仕方ない。そんな主人公・大葉葉蔵が必死で身につけたのが道化だった。上京した葉蔵は堀木に誘われ、非合法活動に参加する。活動に疲れた葉蔵はある女給と出会うが……

2017:10./ 216p

978-4-09-189718-3

本体 ¥552+税



日本経済新聞 2018/07/14



手塚番〜神様の伴走者〜(小学館文庫 さ 33-1)

佐藤 敏章 著

小学館

漫画の神様・手塚治虫にも、編集者という陰の伴走者たちがいた。13人の「手塚番」が、今も密かに語り継がれる数々の「手塚伝説」の真相を明かす。神のアシスタント経験者、石坂啓による描き下ろしコミックエッセイも収録。

2018:6./ 286p

978-4-09-406521-3

本体 ¥610+税



日本経済新聞 2018/07/14



安岡章太郎戦争小説集成(中公文庫 や 1-2)

安岡 章太郎 著

中央公論新社

満洲北部の孫呉に応召した安木加介。この万年二等兵の眼を通して軍隊生活をユーモアを交えて描き出した長篇「遁走」をはじめ、「銃」「美しい瞳」などの短篇を収録。開高健との対談「戦争文学と暴力をめぐって」を併録する。

2018:6./ 345p

978-4-12-206596-3

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2018/07/14



アマゾミクス〜データ・サイエンティストはこう考える〜

アンドレアス・ワイガンド、土方 奈美 著

文藝春秋

ソーシャルデータの恩恵を、それを生み出す個人が享受するためには何が必要なのか。アマゾン創業者とともに買い物の常識を変えた科学者が、巨大データ企業の実態を明らかにし、データエコノミーの新たなルールを検討する。

2017:7./ 397p

978-4-16-390691-1

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/07/14



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

日本経済新聞 2018/07/14

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1
本体 ¥650+税



椿の海の記(河出文庫 い31-1)

石牟礼 道子 著
河出書房新社

はだしで盲目で心もおかしくなって、さまよってゆくおもかさ。みっちゃんはその手をしっかりと握り、甘やかな記憶の海を漂う…。失われたふるさと水俣の豊穡な風景、「水銀漬」「生き埋め」にされた壮大な魂の世界がいま甦る。

日本経済新聞 2018/07/14

2013:4./ 311p
978-4-309-41213-9
本体 ¥850+税



警備ビジネスで読み解く日本(光文社新書 954)

田中 智仁 著
光文社

あらゆる場所で警備員を目にする日本。だが、その実態を知っているだろうか。「社会のインフラ」警備ビジネスに着目し、その実態と課題を通して、現代日本の実相を鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2018/07/14

2018:6./ 278p
978-4-334-04360-5
本体 ¥860+税



誰もが?をついている~ビッグデータ分析が暴く人間のヤバい本性~

セス・スティーヴンズ=ダヴィドウィッツ、酒井 泰介 著
光文社

検索は口ほどに物を言う! 米国の隠れた人種差別、世界の男女の性的な悩みや願望、名門校入学の効果、景気と児童虐待の関係…。グーグルの元データサイエンティストが、ビッグデータを分析して人間と社会の真の姿を明かす。

日本経済新聞 2018/07/14

2018:2./ 345p
978-4-334-96216-6
本体 ¥1,800+税



北欧流「ふつう」暮らしからよみとく環境デザイン

北欧環境デザイン研究会 編
彰国社

個人の自立と多様性を尊重した「ふつう」の暮らしとは。北欧に滞在経験をもつ建築研究者らが、北欧に見るさまざまな環境デザインや社会的取組み、運用するためのシステム、その背景にある考え方等を、数多くの事例で紹介する。

日本経済新聞 2018/07/14

2018:4./ 151p
978-4-395-32109-4
本体 ¥2,400+税



さよなら、インターネット~GDPRはネットとデータをどう変えるのか~

武邑 光裕 著
ダイヤモンド社

インターネットは、「ユートピア」ではなかった。デジタル広告、ゲーム、IoT…。あらゆるビジネスが変化を余儀なくされる GDPR(一般データ保護規制)のもたらす衝撃と、そこから始まる新しい社会のかたちを探る。

日本経済新聞 2018/07/14

2018:6./ 245p
978-4-478-10584-9
本体 ¥2,000+税





民主政とポピュリズム～ヨーロッパ・アメリカ・日本の比較政治学～(筑摩選書 0162)

佐々木 毅 著
筑摩書房

ポピュリズムの台頭は、各国の内政・外交にいかなる帰結をもたらすのか? 第一級の研究者が政党政治の「今」を鋭く分析し、来るべき民主政のあり方を展望する。シンポジウム「先進民主政はどこへ向かうのか?」を基に書籍化。

2018:6./ 214p
978-4-480-01668-3
本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 1 6 6 8 3 *

日本経済新聞 2018/07/14



暴走する能力主義～教育と現代社会の病理～(ちくま新書 1337)

中村 高康 著
筑摩書房

学歴や学力といった従来型の能力指標の正当性が失われはじめ、これまで抑制されていた「能力」への疑問が噴出している。気鋭の教育社会学者が、「能力」のあり方が揺らぐ現代社会を分析し、社会の構造を描き出す。

2018:6./ 237p,5p
978-4-480-07151-4
本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 1 5 1 4 *

日本経済新聞 2018/07/14



走れメロス・富嶽百景ほか～教科書で読む名作～(ちくま文庫 き 41-8)

太宰 治 著
筑摩書房

高校国語教科書に掲載されたことのある太宰治の短編小説集。「走れメロス」「富嶽百景」「女生徒」「トカントン」など全 7 編と檀一雄・坂口安吾・奥野健男による太宰治についての評論を収録。教科書に準じた注と図版付き。

2017:4./ 286p
978-4-480-43418-0
本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 4 1 8 0 *

日本経済新聞 2018/07/14



“社風”の正体(日経プレミアシリーズ 372)

植村 修一 著
日本経済新聞出版社

社風、企業文化とは何か? 「組織体質」の謎を解明し、国、地域、業界でどんな違いがあるのか、またパワハラが横行するブラック企業、不正統発の会社と、イノベーションを生む会社の間にある違いを詳しく解説する。

2018:5./ 252p
978-4-532-26372-0
本体 ¥850+税



* 9 7 8 4 5 3 2 2 6 3 7 2 0 *

日本経済新聞 2018/07/14



三つの空白～太宰治の誕生～

鶴飼 哲夫 著
白水社

太宰治が激しく苦悩し、挫折した季節には、小説をあまり書かない三度の「空白」時期があった-。読売新聞名物記者がその空白にスポットを当て、「明るい太宰」が誕生するまでをつづる。

2018:5./ 388p
978-4-560-09628-4
本体 ¥3,000+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 6 2 8 4 *

日本経済新聞 2018/07/14



新時代「戦争論」

マーチン・ファン・クレフェルト、石津 朋之、江戸 伸禎 著
原書房

軍事戦略思想の世界的大家が、これからの「戦争」を取り巻く状況の変化を読み込みつつ、クラウゼヴィッツと孫子を批判的に参照することで、あらたに包括的な「戦争論」を提示する。

2018:5./ 347p
978-4-562-05575-3
本体 ¥2,600+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 5 7 5 3 *

日本経済新聞 2018/07/14



戦争論～新訳～

クラウゼヴィッツ 著

PHP研究所

稀代の戦略家が後世に伝えたかった本音とは? クラウゼヴィッツ著「戦争論」に書かれた、あらゆる組織における決断とリーダーシップの勘所を、現代日本の「軍学者」が読み解く。

2011.12./ 318p

978-4-569-80153-7

本体 ¥950+税



日本経済新聞 2018/07/14



火環(ひのわ)～八幡炎炎記 完結編～

村田 喜代子 著

平凡社

炎々と天を焦がす製鉄の町・北九州八幡で繰り広げられる少女の物語。中学生のヒナ子は製鉄の街を飛び出し、映画の世界を夢見て密かに上京をもくろむが…。完結編。『こころ』連載を単行本化。

2018.5./ 310p

978-4-582-83773-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/07/14



漢倭奴国王から日本国天皇へ～国号「日本」と称号「天皇」の誕生～(京大人文研東方学叢書 4)

富谷 至 著

臨川書店

中華世界に従属した「倭」「王」は、いつ「日本」「天皇」への脱皮をはかったのか。国号「日本」、称号「天皇」の誕生の解明を念頭に、紀元前より数世紀にわたって繰り上げられた古代日本の対中国交渉の歴史に迫る。

2018.4./ 213p,9p

978-4-653-04374-4

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/07/14



葎の渚～石牟礼道子自伝～

石牟礼 道子 著

藤原書店

石牟礼道子が、美しい不知火海に育まれた幼年期から、農村の崩壊と近代化を目の当たりにする中で高群逸枝と出会い、水俣病を世界史的事件ととらえ「苦海浄土」を執筆するまでの記憶をたどる。『熊本日日新聞』連載を単行本化。

2013.11./ 391p

978-4-89434-940-7

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/07/14



デイス・イズ・ザ・デイ

津村 記久子 著

朝日新聞出版

ファンたちはそれぞれの思いを抱いて最後の試合の「その日」に向かう。人間関係に悩む会社員、再会した祖母と孫...普通の人々のかけがえのない喜びを、サッカーを通して鮮やかに描き出す連作短編集。『朝日新聞』連載に加筆。

2018.6./ 366p

978-4-02-251548-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/07/14、読売新聞 2018/07/15



一発屋芸人列伝

山田ルイ 53 世 著

新潮社

「消えた」「死んだ」と揶揄されがちな一発屋。彼らは今この瞬間も、精一杯足?きながら生きている。一度?んだ栄光を手放した人間の“その後”に、「髭男爵」の山田ルイ 53 世が迫る。『新潮 45』連載に加筆修正。

2018.5./ 236p

978-4-10-351921-8

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2018/07/14、読売新聞 2018/07/15、東京・中日新聞 2018/07/29



あなたを支配し、社会を破壊する、AI・ビッグデータの罠

キャシー・オニール、久保 尚子 著

合同出版

AI・ビッグデータの仕組みや活用法そのものの中に、人生や社会を狂わせ、壊すようなリスクが潜んでいる。データビジネスの現場を熟知するデータサイエンティストが、具体例をあげながら実情を解説する。

2018:6./ 333p

978-4-7726-9560-2

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2018/07/14、毎日新聞 2018/07/22



乱流のホワイトハウス〜トランプ vs. オバマ〜

尾形 聡彦 著

岩波書店

ロシア疑惑の深層、大統領弾劾の行方…。日本人記者としてホワイトハウスに最も食い込んだジャーナリストが、トランプ・オバマ両政権の交錯と確執からみえる最強組織の暗闘、そして大統領弾劾の行方を描き出す。

2017:7./ 12p,270p

978-4-00-025504-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/07/21



福翁自伝 新訂改版(岩波文庫 33-102-2)

福沢諭吉、富田正文 著

岩波書店

0

1978:10./ 424p

978-4-00-331022-9

本体 ¥1,070+税



日本経済新聞 2018/07/21



文明論之概略(角川ソフィア文庫 G1-17)

福澤 諭吉、先崎 彰容 著

KADOKAWA

福澤諭吉が追い求めた「文明」の真意を、気鋭の日本思想史家が再検証。文明の本質を論じた福澤諭吉の代表作を、新解釈とともに、圧倒的に読みやすく現代語訳する。

2017:9./ 382p

978-4-04-400168-1

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/07/21



日露近代史～戦争と平和の百年～(講談社現代新書 2476)

麻田 雅文 著

講談社

伊藤博文、後藤新平、松岡洋右…彼らはなぜ英米ではなく、ロシアに接近していったのか。戦前の政治家たちの外交を検証することで、幕末から 1945 年の日ソ戦争に至るまでの日露関係を綴る。

2018:4./ 471p

978-4-06-288476-1

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/07/21



大正=歴史の踊り場とは何か～現代の起点を探る～(講談社選書メチエ 674)

鷺田 清一、佐々木 幹郎、山室 信一、渡辺 裕 著

講談社

明治に始まった近代化は、大正期にその質と方向を変え、いろいろな可能性を孕みながら現代への起点となった。「学区」「自由・責任」「民生」「震災」など、時代の言葉に着目し、社会や暮らしの原型を読む。

2018:5./ 268p

978-4-06-511639-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/07/21



ロリータ(新潮文庫)

ナボコフ 著
新潮社
0

日本経済新聞 2018/07/21

2006:11./ 623p
978-4-10-210502-3
本体 ¥890+税



* 9 7 8 4 1 0 2 1 0 5 0 2 3 *



ナボコフ 訳すのは「私」～自己翻訳がひらくテキスト～

秋草 俊一郎 著
東京大学出版会

ナボコフ自身による英語版とロシア語版の作品を読み比べ、これまでの解釈に変更を迫るような数々の「トリック」を発見。ベケット、クンデラなどにも通じる「自己翻訳」に着目し、創作と翻訳のダイナミズムを描き出す。

日本経済新聞 2018/07/21

2011:2./ 14,300,42p
978-4-13-086038-3

本体 ¥3,800+税



* 9 7 8 4 1 3 0 8 6 0 3 8 3 *



夏の裁断(文春文庫 し 54-2)

島本 理生 著
文藝春秋

小説家・萱野千紘の前にあらわれた編集者・柴田は、悪魔のような男だった。過去に性的な傷をかかえる女性作家。胸苦しいほどの煩悶と、そこからの再生を描いた物語。「秋の通り雨」など書き下ろし 3 篇を追加して文庫化。

日本経済新聞 2018/07/21

2018:7./ 254p
978-4-16-791100-3
本体 ¥680+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 1 0 0 3 *



プロ野球死亡遊戯(文春文庫 な 78-1)

中溝 康隆 著
文藝春秋

いつの時代も人は日常のしがらみから逃げてプロ野球に辿り着く。そして選手の背中に自分の人生を重ねるのだ。野球コラム企画で日本一になったモンスターブロガーの野球エッセイ。各媒体の連載に書き下ろしを加えて文庫化。

日本経済新聞 2018/07/21

2018:7./ 301p
978-4-16-791112-6
本体 ¥800+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 1 1 2 6 *



画家・謙三とともに

岡田 きみ、小山内 富子 著
鹿島出版会

戦後アメリカ画壇の寵児となった岡田謙三。その生涯を妻が描く。パリ留学、二科会、疎開、渡米、そして栄光へ。幽玄な抽象画を育んだのは純真無垢な妻の愛情だった。メルヘンのように美しい無償の夫婦愛の物語。

日本経済新聞 2018/07/21

2009:11./ 216p
978-4-306-09400-0
本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 3 0 6 0 9 4 0 0 0 *



真夜中の子供

辻 仁成 著
河出書房新社

日本屈指の歓楽街・博多中洲。その街で真夜中を生きる無戸籍の少年がいた。凶行の夜を越え、彼が?みとった自らの居場所とは? 家族を越えた絆を描く。『文藝』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/07/21

2018:6./ 251p
978-4-309-02680-0
本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 8 0 0 *



日本霊異記/今昔物語/宇治拾遺物語/発心集(池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集 第8巻)

景戒 編

鴨 長明 著

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。08 は、平安時代初期?鎌倉時代初期の説話集 4 作から、「こぶとり爺さん」の原話など、人間の欲望と無常をユーモアたっぷりに描いた説話 105 篇を収録。解説付き。

2015:9./ 502p

978-4-309-72878-0

本体 ¥2,900+税



* 9 7 8 4 3 0 9 7 2 8 7 8 0 *

日本経済新聞 2018/07/21



LIFE SHIFT～100年時代の人生戦略～

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著

東洋経済新報社

多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

2016:10./ 399p,15p

978-4-492-53387-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 4 9 2 5 3 3 8 7 1 *

日本経済新聞 2018/07/21



国債の歴史～金利に凝縮された過去と未来～

富田 俊基 著

東洋経済新報社

国債金利は、その国の過去と未来を凝縮してきたといつて過言ではない。17 世紀イギリスの名誉革命に遡って国債の本質を明らかにし、各国の国債金利の格差が物語る歴史の中に、日本国債の未来を問う。

2006:6./ 535p,8p

978-4-492-62062-5

本体 ¥6,000+税



* 9 7 8 4 4 9 2 6 2 0 6 2 5 *

日本経済新聞 2018/07/21



逆転の世界史～覇権争奪の 5000 年～

玉木 俊明 著

日本経済新聞出版社

人類の誕生から、中国の興隆、ヨーロッパ世界の形成と台頭、アジアの再興まで、超長期間にわたる世界の変貌を、人々の動き、ネットワーク、物流、経済成長を促進する国家の力を重視しつつ、コンパクトに解説する。

2018:5./ 243p

978-4-532-17638-9

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 5 3 2 1 7 6 3 8 9 *

日本経済新聞 2018/07/21



陸奥宗光とその時代

岡崎 久彦 著

PHP研究所

かつて日本の生存と尊厳を守り抜いた外交官がいた?。坂本竜馬から一目置かれた男・陸奥宗光。日清戦争後の三国干渉を乗り切ったカミソリ大臣の波乱の生涯を描く。

2009:11./ 569p

978-4-569-77588-3

本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 5 6 9 7 7 5 8 8 3 *

日本経済新聞 2018/07/21



死を生きた人びと〜訪問診療医と355人の患者〜

小堀 孝一郎 著

みすず書房

最後の日々をどう生き、いかに終えるか。これまでに 355 人の看取りに関わった訪問診療医が語る、患者たちのさまざまな死の記録。日本の終末医療が在宅診療・在宅看取りへと舵を切りつつある今、必読の書。

2018:5./ 203p

978-4-622-08690-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/07/21



ロシア近現代と国際関係〜歴史を学び、政治を読み解く〜

小田 健 著

ミネルヴァ書房

長年にわたりロシアを見続けてきた元日経新聞モスクワ支局長が、「近くて遠い国」ロシアのこれまでの歩みを解説。ロシアの逸話や文化を紹介しながら近現代史をたどり、米国・中国・日本との国際関係を分析する。

2017:9./ 14p,406p,22p

978-4-623-08087-8

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2018/07/21



フードバンク〜世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策〜

佐藤 順子 著

明石書店

フードバンクが食品ロスの削減や環境負荷の縮減等と同時に、生活困窮者を含めた食料の困難経験者に対する支援をも目的としていることを踏まえて、日本におけるフードバンク研究の現在を提示する。

2018:5./ 190p

978-4-7503-4682-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/07/21



アメリカのナボコフ〜塗りかえられた自画像〜

秋草 俊一郎 著

慶應義塾大学出版会

新大陸に移住後、「ロリータ」によってスキャンダラスな形で知られたナボコフは、いかにアメリカの大作家へと上りつめたのか。自己イメージを操作しながら「世界文学」への道程を歩んでいった姿を新資料を通じて描きだす。

2018:5./ 328p,27p

978-4-7664-2522-2

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/07/21



鯨(韓国文学のオクリモノ)

チョン ミョングアン、斎藤 真理子 著

晶文社

一代にして財を成し、男達の運命をくるわせた母。並外れた怪力の持ち主で煉瓦づくりに命を賭した娘。巨大な鯨と煉瓦工場、劇場をめぐる壮絶な人生ドラマが幕を開ける。人間の欲望を壮大なスケールで描いた長編小説。

2018:5./ 492p

978-4-7949-7000-8

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/07/21



カモメの日の読書〜漢詩と暮らす〜

小津 夜景 著

東京四季出版

俳人・小津夜景が、自身の漢詩的日常を綴った一冊。住まいと暮らし、趣味と行楽、たべものと料理、恋愛など、さまざまな主題のもとに漢詩 40+2 篇とその日本語訳を紹介し、エッセイとともに収録する。

2018:6./ 214p

978-4-8129-0995-9

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/07/21



記憶よ、語れ〜自伝再訪〜

ウラジーミル・ナボコフ、若島 正 著

作品社

過去と現在、フィクションとノンフィクションの狭間を自由に往き来し、夢幻の世界へと誘うウラジーミル・ナボコフの「自伝」を、ナボコフ研究の第一人者が完訳。

日本経済新聞 2018/07/21

2015:8./ 393p,6p

978-4-86182-536-1

本体 ¥3,400+税



* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 5 3 6 1 *



逆転の生み出し方

アダム・モーガン、マーク・バーデン、文響社編集部 著

文響社

アメリカ西海岸で圧倒的な存在感を放つコンサルティング会社が、総力取材! 制約をチャンスに変える、逆転の発想が大切なわけを、科学的に分析し、実践的にまとめる。

日本経済新聞 2018/07/21

2018:3./ 319p

978-4-86651-057-6

本体 ¥1,600+税



* 9 7 8 4 8 6 6 5 1 0 5 7 6 *



風と共に去りぬ<1>(岩波文庫 32-342-1)

マーガレット・ミッチェル、荒 このみ 著

岩波書店

1861 年 4 月、南部ジョージア州。大農園主の娘・スカーレットは、生まれて初めて試練に直面する…。南北戦争とその後の混乱の時代を、強靱な意志の力で生き抜いてゆくスカーレットの人生と激しい愛を描いた長編小説の新訳。

日本経済新聞 2018/07/28

2015:4./ 373p

978-4-00-323421-1

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 0 0 3 2 3 4 2 1 1 *



賢い患者(岩波新書 新赤版 1725)

山口 育子 著

岩波書店

医療者や病院、病気とどのように向き合ったらよいのか? ささえあい医療人権センターCOML で理事長を務める著者が、患者・家族からの電話相談等のサポート活動を横糸に、自らのがん患者体験等を縦糸に、その答えを探る。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:6./ 9p,238p

978-4-00-431725-8

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 7 2 5 8 *



台湾の若者を知りたい(岩波ジュニア新書 873)

水野 俊平 著

岩波書店

日本と台湾が良好な関係を維持していくためには、日本人が台湾人の日常生活や考え方にもっと関心を持つ必要がある。台湾生まれ台湾育ち、台湾の都市部に住む標準的な若者の生活事情を紹介する。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:5./ 14p,207p

978-4-00-500873-5

本体 ¥860+税



* 9 7 8 4 0 0 5 0 0 8 7 3 5 *



だんだらごはん<1>(KCx)

殿ヶ谷 美由記 著

講談社

江戸の貧乏道場・試衛館に集う沖田宗次郎と山口一は、食の好みも性格も正反対だが、なんとなくつるむ仲。そんなとき、沖田の師・近藤勇を元気づけるために「玉子ふわふわ」という料理をいっしょに作ることに...!?

日本経済新聞 2018/07/28

2017:1./ 192p

978-4-06-380902-2

本体 ¥581+税



* 9 7 8 4 0 6 3 8 0 9 0 2 2 *



鏡のなかのアジア

谷崎 由依 著
集英社

雨降る集落でひっそり交わされる人々の営みを描く「Jiufen の村は九つぶん」、熱帯雨林にそびえる巨樹であった過去を持つ男の物語「天蓋歩行」など、全 5 編を収録した幻想短編集。『すばる』掲載を加筆・修正。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:7./ 230p
978-4-08-771146-2
本体 ¥1,600+税



身体感覚で『論語』を読みなおす。～古代中国の文字から～(新潮文庫 や-78-1)

安田 登 著
新潮社

能楽師が稽古で得た身体感覚と古代文字を手掛かりに「論語」に向き合うと、「心(自由意思)」という新しい概念で「命(運命/宿命)」に挑む人間の姿が現れた。世界初のこころのマニュアル=論語の真の世界を解き明かす。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:7./ 334p
978-4-10-121491-7
本体 ¥550+税



帝国議会～西洋の衝撃から誕生までの格闘～(中公新書 2492)

久保田 哲 著
中央公論新社

1890 年、日本で帝国議会が誕生。西洋で 200 年かけて定着した議会は、明治維新から約 20 年でどのようにして創られたか。志士の構想、試行錯誤の軌跡を追ひ、憲法制定と並ぶ近代日本の一大事業の全貌を明らかにする。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:6./ 5p,272p
978-4-12-102492-3
本体 ¥860+税



厚生経済学と経済政策論の対話～福祉と権利、競争と規制、制度の設計と選択～

鈴木 興太郎 著
東京大学出版会

著者の経済学研究のうち、「福祉と権利」「競争と規制」「制度の設計と選択」を巡る講義と講演、対談と座談及びインタビューを集成。各部ごとに簡潔な序論を付すほか、新規論文も収載する。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:5./ 10p,409p
978-4-13-040283-5
本体 ¥5,200+税



音叉

高見澤 俊彦 著
文藝春秋

大学生の雅彦は高校時代の友人たちとバンドを結成。一方で学生運動に染まる少女や、グラマーな同級生たちとの恋模様に翻弄されていた。しかし、思いがけない悲劇で夢か友情かの決断を迫られ…。『オール讀物』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:7./ 266p
978-4-16-390863-2
本体 ¥1,700+税



新貿易立国論(文春新書 1170)

大泉 啓一郎 著
文藝春秋

グローバル時代にふさわしいビジネスモデルとは? 中国やアジアの新興国・途上国に追い上げられている日本。ビジネスの現場を踏まえて、新しい貿易立国を目指すためのアジアの見方と、その道筋を示す。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:5./ 260p
978-4-16-661170-6
本体 ¥880+税





赤毛のアン

ルーシー=モード=モンゴメリ、岸田 衿子、安野 光雅 著

朝日出版社

風光明媚な島の自然から多くのものを受け取り、心優しい人々との魂の触れ合いを通して、アンは成長し…。名作文学「赤毛のアン」を、詩人であり童話作家であった岸田衿子渾身の訳と、画家・安野光雅の叙情豊かな絵で贈る。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:6./ 507p

978-4-255-01068-7

本体 ¥2,800+税



アッシャー家の崩壊/黄金虫(光文社古典新訳文庫 KA ホ 1-2)

ポー、小川 高義 著

光文社

陰鬱な屋敷に旧友を訪ねた私が、神経を病んで衰弱した友と過ごすうち、恐るべき出来事に巻き込まれるホラーの名作「アッシャー家の崩壊」、暗号解説と宝探しが痛快な「黄金虫」などポーの代表的短篇 7 篇と詩 2 篇を収録。

日本経済新聞 2018/07/28

2016:5./ 303p

978-4-334-75331-3

本体 ¥880+税



新選組の料理人

門井 慶喜 著

光文社

京の大火で長屋を焼かれ、妻子ともはぐれた浪人・鉢四郎は、ふとしたきっかけで、まかない専門として新選組に入隊することになり…。新選組の知られざる内証を活き活きと描く。『小説宝石』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:5./ 331p

978-4-334-91222-2

本体 ¥1,500+税



ファイナンス思考～日本企業を蝕む病と、再生の戦略論～

朝倉 祐介 著

ダイヤモンド社

ファイナンス思考なくしてアマゾンはいらない! PL 脳に侵された会社の例や、PL 脳に陥る理由を示し、ファイナンス思考を活かした経営を事例とともに紹介する。後ろから読む「会計とファイナンスの基礎とポイント」付き。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:7./ 23p,307p

978-4-478-10374-6

本体 ¥1,800+税



星の文学館～銀河も彗星も～(ちくま文庫 わ 13-4)

和田 博文 編

筑摩書房

それは天の贈り物? 川端康成「天の河」、稲垣足穂「星を造る人」、金子光晴「箒星」、寺山修司「コメット・イケヤ」、三浦しをん「冬の一等星」、倉橋由美子「宇宙人」など、全 35 篇を収録した星の文学アンソロジー。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:7./ 383p

978-4-480-43529-3

本体 ¥820+税



ソーシャルメディア四半世紀～情報資本主義に飲み込まれる時間とコンテンツ～

佐々木 裕一 著

日本経済新聞出版社

ブログ、クチコミサイト、SNS…。かつて夢見たウェブの進化は、どこへ向かったのか? ユーザー発信型サービスの日本における 20 世紀末から 2018 年までの歴史を、有名ネット起業家の声などを交えて振り返る。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:6./ 541p

978-4-532-32218-2

本体 ¥3,200+税





第3の超景気～ゴールデン・サイクルで読み解く2025年～

嶋中 雄二 著

日本経済新聞出版社

第1のピークは2019年まで、東京オリンピック後の失速は不可避、2024年、ゴールデン・サイクル再到来で経済復活-。2025年までの日本経済の行方を、景気循環論、特に複合循環論の立場から予測する。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:4./ 250p

978-4-532-35775-7

本体 ¥1,700+税



世界史を大きく動かした植物

稲垣 栄洋 著

PHP研究所

人類の影には、常に植物の姿があった-。ヨーロッパが羨望した黒い黄金「コショウ」、人類を惑わした甘美なる味「サトウキビ」、世界を席卷する驚異の農作物「トウモロコシ」...。植物から見た世界の歴史をのぞき見る。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:6./ 217p

978-4-569-84085-7

本体 ¥1,400+税



人形論

金森 修 著

平凡社

祓除の土偶や天児からビスクドール、究極のフェティッシュであるラブドール、ロボットやレプリカントまで、広汎豊饒な人形ワールドを「人形三角錐」という独自の概念枠で俯瞰し、人形の複雑さ、在り方の特徴を考察する。遺作。

日本経済新聞 2018/07/28

2018:5./ 309p

978-4-582-20646-3

本体 ¥3,200+税



一の食卓<1>(花とゆめコミックス)

樹 なつみ 著

白泉社

0

日本経済新聞 2018/07/28

2015:3./ 196p

978-4-592-21731-2

本体 ¥630+税



不思議の国のアリス・鏡の国のアリス～限定版2冊BOXセット～

ルイス・キャロル 著

亜紀書房

0

日本経済新聞 2018/07/28

2017:12./ 448p

978-4-7505-1531-1

本体 ¥3,600+税



ボウイ～その生と死に～

サイモン・クリッチリー、田中 純 著

新曜社

まがいもの=フェイクとして真実、無としてのリアリティを歌い、死までもアートにしたデヴィッド・ボウイ。国際的に知られた哲学者が、自らの経験と共に語るボウイ論。関連105曲プレイリスト・Spotifyコード付き。

日本経済新聞 2018/07/28

2017:12./ 246p,4p

978-4-7885-1554-3

本体 ¥2,000+税





ラーメンの歴史学～ホットな国民食からクールな世界食へ～

バラク・クシュナー、幾島 幸子 著

明石書店

米国出身の歴史学者によるラーメンの歴史の本格的な研究書。中国から日本に伝わり、1000 年近い歳月を経て世界的な人気料理となったラーメンの歴史を、戦後の対米関係やポップカルチャーとの関連も含め縦横無尽に論じる。

2018:6./ 382p

978-4-7503-4681-6

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/07/28、産経新聞 2018/07/29



思想家河合隼雄

中沢 新一、河合 俊雄 著

岩波書店

心理学の枠を超えて、多彩な相貌を見せる河合隼雄の思想の軸は何だったのか。中沢新一らがその思想性を追究するとともに、日本未発表の海外講演録や用語集などから、河合隼雄の新たな読み方を提示する。

2009:10./ 234p

978-4-00-023470-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/01



さようならコロンバス(集英社文庫)

フィリップ・ロス 著

集英社

0

1992:8./ 183p

978-4-08-760002-5

本体 ¥495+税



毎日新聞 2018/07/01



猫を拾いに(新潮文庫 か-35-14)

川上 弘美 著

新潮社

いろいろな色の恋がある。小さな人や地球外生物、そして怨霊も現われる。表題作をはじめ、「朝顔のピアス」「ハイム鯖」「ぞうげ色で、つめたくて」など心がふるえる 21 篇を収めた、短篇小説集。

2018:6./ 298p

978-4-10-129244-1

本体 ¥550+税



毎日新聞 2018/07/01



性の進化史～いまヒトの染色体で何が起きているのか～(新潮選書)

松田 洋一 著

新潮社

なぜ性は存在するのか? なぜヒトは雌雄同体がないのか? 性転換する生物の目的とは? 命を次世代に継いでいくため、驚くほど多様化させてきた生き物たちの「性」の進化史を辿り、併せて生殖補助医療と人類の未来を考える。

2018:5./ 269p

978-4-10-603827-3

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/07/01



くわえ煙草とカレーライス

片岡 義男 著

河出書房新社

昭和の喫茶店に誘われるように出会う男と女、漂う音楽、そして本と珈琲とカレーライス…。あの頃の、奇跡のような「日常」がここにある。男と男/男と女を巡る 7 つの物語。『文藝』掲載を単行本化。

2018:6./ 270p

978-4-309-02694-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/01



ウォーターゲーム

吉田 修一 著
幻冬舎

考えるんだ。たとえ 1%でも可能性があるなら-。敵か味方か、?か真実か、善か悪か。金の匂いに敏感な男女が裏切りあい、騙しあいながら、“今”を駆け抜ける。『北海道新聞』等連載に加筆・修正。

毎日新聞 2018/07/01

2018:5./ 348p
978-4-344-03298-9
本体 ¥1,600+税



コンヴィヴィアリティのための道具(ちくま学芸文庫 イ57-1)

イヴァン・イリイチ 著
筑摩書房

現代社会が抱える困難の根本原因とは何か? めざすべき新たな社会とはどういったものか? 近年興隆する脱成長論の思想的源泉をなし、新たな社会を構想するためのヒントが凝縮された、不朽のマニフェスト。

毎日新聞 2018/07/01

2015:10./ 252p
978-4-480-09688-3
本体 ¥1,100+税



力の追求~ヨーロッパ史 1815-1914~<上>(シリーズ近現代ヨーロッパ 200 年史)

リチャード・J.エヴァンズ 著
白水社

「下からの社会史」に長年取り組んできたドイツ近現代史の世界的権威が、自在な語り口を通して、19 世紀ヨーロッパ史の多様な側面を、光だけでなく影の部分も含めて色彩豊かに描き出す。上は、「革命の遺産」などを収録。

毎日新聞 2018/07/01

2018:6./ 420p,1p
978-4-560-09630-7
本体 ¥5,600+税



力の追求~ヨーロッパ史 1815-1914~<下>(シリーズ近現代ヨーロッパ 200 年史)

リチャード・J.エヴァンズ 著
白水社

「下からの社会史」に長年取り組んできたドイツ近現代史の世界的権威が、自在な語り口を通して、19 世紀ヨーロッパ史の多様な側面を、光だけでなく影の部分も含めて色彩豊かに描き出す。下は、「帝国の代償」などを収録。

毎日新聞 2018/07/01

2018:6./ 433p,26p
978-4-560-09631-4
本体 ¥5,800+税



日本の洋食~洋食から紐解く日本の歴史と文化~(シリーズ・ニッポン再発見 9)

青木 ゆり子 著
ミネルヴァ書房

日本で独自に発展した西洋風の料理「洋食」。インドにはないカレーライス、イタリアにはないスパゲッティナポリタンなど、日本独自の料理としてさまざまに発展してきた洋食の歴史を紐解き、文化的背景やそのルーツをさぐる。

毎日新聞 2018/07/01

2018:5./ 8p,205p
978-4-623-08291-9
本体 ¥2,000+税



1933 年を聴く~戦前日本の音風景~

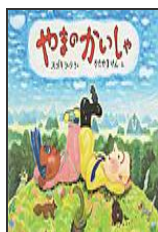
齋藤 桂 著
NTT出版

音は雨のように人々の上に降り、流れていく。1933 年という 1 年に注目し、そこで降り注いだ音楽や音、それらに関わった人々を論じることで、当時の社会を取り巻く大気=雰囲気をも明らかにする。見返しに年表あり。

毎日新聞 2018/07/01

2017:12./ 220p
978-4-7571-4353-1
本体 ¥2,400+税





やまのかいしゃ(日本傑作絵本シリーズ)

スズキ コージ 著

福音館書店

今日も朝寝坊した会社員のほげたさん。電車で飛び乗りますが、電車は会社とは反対方向へ。気づけば、足にはトイレのスリッパをはき、眼鏡やかばんも持っていない。やがて、山の駅に到着したほげたさんは…。

2018:5./ 40p

978-4-8340-8400-9

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/01



百年の《泉》～便器が芸術になるとき～

京都国立近代美術館 編

LIXIL出版

フランス出身のアーティスト、マルセル・デュシャンの作品「泉」(=男性用小便器)を多視点から検証。京都国立近代美術館の展覧会でのインスタレーション風景、キュレーターによる解説文とトークの内容などを収録。

2018:3./ 255p

978-4-86480-035-8

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/07/01



モンテレッジョ小さな村の旅する本屋の物語

内田 洋子 著

方丈社

イタリアの権威ある書店賞発祥の地がなぜ、トスカナの山奥にあるのか? 舞台となった山深きモンテレッジョ村に居を構え取材した著者による歴史ノン・フィクション。方丈社 HP 連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2018:4./ 346p

978-4-908925-29-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/01



プロット・アゲンスト・アメリカ～もしもアメリカが…～

フィリップ・ロス、柴田 元幸 著

集英社

第二次大戦時に、元飛行士で反ユダヤ主義者リンドバーグが大統領になっていたら? 7歳の少年の目線で差別にさらされる恐怖と家族・民族・国家を描く。歴史改変長編小説。『すばる』掲載を単行本化。

2014:8./ 531p

978-4-08-773486-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/01、朝日新聞 2018/07/28



素晴らしいアメリカ野球(新潮文庫 む-6-4)

フィリップ・ロス 著

新潮社

審判を殺そうとした監督、アル中の一塁手…。架空の球団の珍道中を描きつつ、アメリカの夢と神話を痛快に笑い飛ばした米文学屈指の問題作が復刊。詳細な注釈、井上ひさしの解説、村上春樹×柴田元幸の解説セッションも収録。

2016:5./ 697p

978-4-10-220041-4

本体 ¥990+税



毎日新聞 2018/07/01、朝日新聞 2018/07/28



ごみ収集という仕事～清掃車に乗って考えた地方自治～

藤井 誠一郎 著

コモンズ

「現場主義」の若手研究者が新宿区内で9カ月間にわたって、ごみの収集を中心に清掃指導や環境学習などを体験。体験に基づき、清掃という仕事の奥深さ、民間委託の問題点、そして本来の地方自治のあり方について論じる。

2018:6./ 261p

978-4-86187-150-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/01、朝日新聞 2018/07/28



ユーカラ邂逅～アイヌ文学と歌人小中英之の世界～

天草 季紅 著

新評論

小中英之の短歌をアイヌとのかかわりの観点から読み直し、作品の新たな魅力と意味とを開示する。アイヌの歌人・小説家・詩人についての文章、小中英之の短歌に取材した関東・甲信・東北・北海道の地名をめぐる紀行文も収める。

2018:6./ 364p

978-4-7948-1092-2

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/07/02



もうひとつの脳～ニューロンを支配する陰の主演「グリア細胞」～(ブルーバックス B-2054)

R.ダグラス・フィールズ 著

講談社

ニューロンの間を埋める梱包材にすぎないと軽視されてきたグリア細胞が、実は神経活動を緻密に制御していた! 脳科学を揺るがす革命的発見を報告する。神経科学や医学の最新情報が満載。

2018:4./ 538p

978-4-06-502054-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/08



スマホが学力を破壊する(集英社新書 0924)

川島 隆太 著

集英社

スマホをやめるだけで偏差値が10上がる! 7万人の子どもたちを対象に、数年間にわたって行われた大規模調査の結果を基に、スマホやアプリの使用がもたらす影響を解明し、スマホ使用のリスクを正面から論じる。

2018:3./ 216p

978-4-08-721024-8

本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/07/08



人を見る目(新潮新書 762)

保阪 正康 著

新潮社

お追従、お節介、しみったれ、臆病者、空とぼけ…。東西の古典を紐解きながら、軍人や政治家、財界人や文士達の様々な言動を辿り、善悪の間でよろめき続ける人間の悲哀を歴史の断層から掘り起こす。『新潮45』連載を書籍化。

2018:4./ 215p

978-4-10-610762-7

本体 ¥760+税



毎日新聞 2018/07/08



主題と変奏 改版(中公文庫 よ8-11)

吉田 秀和 著

中央公論新社

0

2011:4./ 140p

978-4-12-205471-4

本体 ¥495+税



毎日新聞 2018/07/08



日本再興戦略(NewsPicks Book)

落合 陽一 著

幻冬舎

今後の世界の中で日本が再興するにはどんな戦略が必要なのか。今、注目の日本人科学者が、テクノロジー、政治、教育、会社・仕事・コミュニティなどの切り口から、この国のグランドデザインを描く。

2018:1./ 254p

978-4-344-03217-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/07/08



歴史と人生(幻冬舎新書 は-15-2)

半藤 一利 著

幻冬舎

失意のときにどう身を処すか、憂きこと多き日々をどう楽しむか。答えはすべて、歴史に書きこまれている。歴史こそ究極の人間学。80冊以上の著作から厳選した歴史探偵流・人間学のエッセンスを伝える。

2018:5./ 209p

978-4-344-98504-9

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/07/08



稼ぐ!地方創生～世界が驚く!日本の宝～

山本 幸三 著

実業之日本社

「稼ぐ地方」になるためには。全国 303 カ所を視察した元地方創生担当大臣の著者が、農業・漁業、地場産業活用、商店街活性化、大学・高校の活用などのテーマごとに、写真を交えてそれらの現場を紹介。地方創生対談も収録。

2018:7./ 239p

978-4-408-63025-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/08



現代語訳 文明論之概略(ちくま文庫 ふ 44-1)

福澤 諭吉 著

筑摩書房

福澤諭吉による近代日本を代表する重要著作の現代語訳。「人類の目指すべき最大の目的」としての文明の姿を鮮やかに描くと同時に、明治維新から間もない時代の日本が置かれた状況を冷徹に認識して、自国の独立の重要性を説く。

2013:2./ 407p

978-4-480-43038-0

本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/07/08



化石が語る生命の歴史<1> 11の化石・生命誕生を語る

ドナルド・R.プロセロ 著

築地書館

この化石の発見で、生命の発生がわかった。最初期の化石からカエルの起源まで、古生代の 11 の化石を紹介し、古生物学者たちの苦悩と悦びにみちた研究史とともに生命の歴史を語る。

2018:4./ 228p

978-4-8067-1556-6

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/08



化石が語る生命の歴史<2> 8つの化石・進化の謎を解く

ドナルド・R.プロセロ 著

築地書館

この化石の発見が、環境への適応を明かす。カメやヘビなど生物の陸上進出から、恐竜、哺乳類の登場まで、中生代の 8 つの化石を紹介し、古生物学者たちの苦悩と悦びにみちた研究史とともに生命の歴史を語る。

2018:5./ 216p

978-4-8067-1557-3

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/08



化石が語る生命の歴史<3> 6つの化石・人類への道

ドナルド・R.プロセロ 著

築地書館

この化石の発見が、世界を変えた。クジラの起源から人類の登場まで、新生代の 6 つの化石を紹介し、古生物学者たちの苦悩と悦びにみちた研究史とともに生命の歴史を語る。

2018:5./ 176p

978-4-8067-1558-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/08



権力の終焉

モイセス・ナウム 著

日経BP社

権力の衰退が世界を変えた! 権力の衰退・劣化が、富裕層だけでなく中間層と生活困窮者に与える影響を分析。経済、政治、社会、ビジネスなど、あらゆる分野におけるその要因と影響を明らかにする。

2015:7./ 434p

978-4-8222-5098-0

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/08



やっぱ志ん生だな!

ビートたけし 著

フィルムアート社

5代目古今亭志ん生は、なぜこんなにも人の心を?んできたのか。志ん生を「最も敬愛する落語家」として挙げるビートたけしが、その“凄さ”を独自の視点で分析。いまのお笑い界、落語界を斬りながらとことん語る。

2018:6./ 164p

978-4-8459-1708-2

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/07/08



ねみみにみみず

東江 一紀、越前 敏弥 編

東江 一紀 著

作品社

迫りくる締切地獄で七転八倒しながらも、言葉とパチンコと競馬に真摯に向き合い、200冊を超える訳書を生んだ翻訳の巨人、東江一紀。その日常と知られざる生態、翻訳哲学を明かすエッセイ集。

2018:4./ 256p

978-4-86182-697-9

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/08



顔!〜パプアニューギニアの祭り〜

西江 雅之 著

左右社

極楽鳥の羽飾り、原色で塗り分けた顔…。伝説の学者・西江雅之がパプアニューギニアの都市マウントハーゲンの祭り「シンシン」で撮影した装いと顔の写真集。本体表紙・裏表紙、見返しにも写真あり。本体は背表紙なし糸綴じ。

2018:6./ 125p

978-4-86528-196-5

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/07/08



こないだ

山田 稔 著

編集工房ノア

楽しかった「こないだ」、50年も前の「こないだ」について、時間を共にした、あの人この人について書き綴る。雑誌や冊子などに発表した文章のうち、単行本未収録のものに新作を加えて書籍化。

2018:6./ 285p

978-4-89271-292-0

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/08



読書という荒野(NewsPicks Book)

見城 徹 著

幻冬舎

血で血を洗う読書という荒野を突き進め! 幻冬舎代表取締役社長が自らの人生と、そのなかで読んできた膨大な数の本について語り、一人の人間がいかに関心の言葉を獲得し、言葉によって道を切り開いてきたかを明らかにする。

2018:6./ 237p

978-4-344-03305-4

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/07/08、朝日新聞 2018/07/21



日本の城～ワイド&パノラマ鳥瞰・復元イラスト～

香川 元太郎 著
学研

城郭イラストの第一人者が、在りし日の城の姿をよみがえらせる!『歴史群像』などに掲載された精密な鳥瞰・復元イラストを折込ページに大きく掲載し、監修者らによる解説を併録する。

2018:6./ 230p
978-4-05-406640-3
本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2018/07/08、朝日新聞 2018/07/28



日本領サイパン島の一万年

野村 進 著
岩波書店

今から 90 年前、一人の日本人がサイパン島に漂着。彼は故郷・山形から集団移民を募り、獣が棲息する密林の開拓に乗り出す…。その時から始まる日本統治領サイパンの 30 年を、二つの家族の歴史を通して描くノンフィクション。

2005:8./ 412p
978-4-00-024238-7
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/15



文選～詩篇～<1>(岩波文庫 32-045-1)

蕭 統、川合 康三、富永 一登、釜谷 武志、和田 英信、浅見 洋二、緑川 英樹 著
岩波書店

中国文学の長い伝統の中心に屹立する詞華集「文選」。その「詩篇」の部に収められた全作品の原文・訓読・訳・語注、補釈を掲載。1 は、巻 19(補亡、述徳、勸励)? 巻 21(詠史)を収録。

2018:1./ 414p
978-4-00-320451-1
本体 ¥1,020+税



毎日新聞 2018/07/15



論語と算盤(角川ソフィア文庫)

渋沢 栄一 著
角川学芸出版

孔子の教えに従って、道徳に基づく商売をする——。日本実業界の父・渋沢栄一が、後進の企業家を育成するために経営哲学を語った談話集。金儲けと社会貢献の均衡を図る、品格ある経営人のためのバイブル。

2008:10./ 318p
978-4-04-409001-2
本体 ¥760+税



毎日新聞 2018/07/15



「かたり」の日本思想～さとりとわらいの力学～(角川選書 603)

出岡 宏 著
KADOKAWA

鎮魂、勧善懲悪、さとり、わらい…。人の営みのある限り、逃れられない永遠のテーマを、能や狂言、歌舞伎といった様々な芸能に託し、表現しながら自らの生を全うしてきた日本人の価値観、死生観を俯瞰する。

2018:4./ 281p
978-4-04-703618-5
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/07/15



小萩のかんざしとま申して 3)

北村 薫 著
文藝春秋

昭和 8 年、父は慶應義塾大学を卒業した。だが、不景気の波が押し寄せる時代に就職口はなく、経済の逼迫に苦しむ。遺された日記を手がかりに綴る、文化薫る著者の父の評伝風小説、完結編。

2018:4./ 461p
978-4-16-390822-9
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/15



いとま申して〜『童話』のひとと〜(文春文庫 き17-8)

北村 薫 著

文藝春秋

大正末期、旧制中学に通う少年は創作への夢を抱き、児童文学の現場で活躍する若者たちと親交を持つ。著者の父の日記をもとに、大正末から昭和初年の主人公の青春を描く、評伝風小説。

2013:8./ 411p

978-4-16-758608-9

本体 ¥720+税



毎日新聞 2018/07/15



慶應本科と折口信夫(いとま申して 2)

北村 薫 著

文藝春秋

いよいよ父は、慶應本科へと進む。教壇に日本文学史上の巨大人物、西脇順三郎と父の終生の師折口信夫が登場する。遺された日記を手がかりに綴る、文化薫る著者の父の評伝風小説。

2018:1./ 399p

978-4-16-790997-0

本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/07/15



源氏物語の教え〜もし紫式部があなたの家庭教師だったら〜(ちくまプリマー新書 294)

大塚 ひかり 著

筑摩書房

姫君の家庭教師・紫式部の教育方針とは？男女の出会いから婚姻に至るやり取りまでを克明に描いた「源氏物語」の実用性に光を当て、作者・紫式部が物語に込めた思いや知恵、女子が幸せになる方法などを紹介する。

2018:3./ 255p

978-4-480-68999-3

本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/07/15



マリアナ沖海戦〜母艦搭乗員激闘の記録〜

川崎 まなぶ 著

大日本絵画

マリアナ沖海戦は“ターキー・ショット”だったのか？それでもそこには、生きて懸命に闘う搭乗員たちがいた。あの時そこで何があったのか。あまり語られることのない海戦の真相を歴史の証言とともに説き起こすドキュメント。

2007:11./ 383p

978-4-499-22950-0

本体 ¥4,300+税



毎日新聞 2018/07/15



あること、ないこと

吉田 篤弘 著

平凡社

詩のようであったり、物語の一部のようであったり、事典のようであって、身近雑記のようでもあり。出来る限り、自由に書いた文章をまとめたもの。「彼女の冬の読書」の後日譚なども収録。『こころ』掲載を中心に単行本化。

2018:5./ 301p

978-4-582-83775-9

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/15



科学のミカタ

元村 有希子 著

毎日新聞出版

AI、ゲノム、重力波、生物多様性、水素社会と燃料電池車。科学記者として 20 年近く、科学技術や環境問題をウォッチしてきた著者が、知れば知るほど面白い科学の世界の読み解き方を教える。

2018:3./ 255p

978-4-620-32502-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/15



詳説図解サイパンの戦い～「大場栄大尉」を読み解く～

近現代史編纂会 編

山川出版社

太平洋戦争で起きたサイパン島玉砕の悲劇。そこで民間人を守りながら“生きる”ために闘い続けた大場栄大尉を描く映画『太平洋の奇跡』公開(2月)に先立ち、サイパン戦の全貌を89の解説と貴重写真で紹介。

毎日新聞 2018/07/15

2011:1./ 256p

978-4-634-15012-6

本体 ¥1,600+税



ブック・イン・ピンク～おしゃれ古本ガイド～

山崎 まどか 著

晶文社

マニア好みの本だけが古本じゃない。「乙女カルチャー」ライターが、気軽に入手できる永遠の定番を紹介。森茉莉、V.ウルフ、カポーティ、加藤和彦&安井かずみ、フォアレディースまで、「乙女」なセンスが光るライブラリー。

毎日新聞 2018/07/15

2004:2./ 195p

978-4-7949-6603-2

本体 ¥1,600+税



幕末維新改メ

中村 彰彦 著

晶文社

関東以北の人々にとって、明治維新は戊辰戦争の追憶を呼び起こすものであった。一見華やかに見える幕末維新の水面下の状況に焦点を合わせ、そこに秘められた影を明らかにする。

毎日新聞 2018/07/15

2018:5./ 310p

978-4-7949-6995-8

本体 ¥1,800+税



絵本のなかを旅するようなかawaii世界の村

MdN 編集部 編

エムディエヌコーポレーション

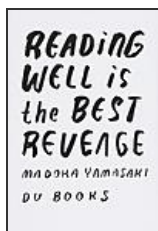
カラフルで鮮やかな村、ユニークな建物が建ち並ぶ村、歴史のロマンを感じる村…。おとぎ話のような夢と憧れの風景が広がる、ヨーロッパ各地のかわいい村の写真集。

毎日新聞 2018/07/15

2018:6./ 158p

978-4-8443-6767-3

本体 ¥1,800+税



優雅な読書が最高の復讐である～山崎まどか書評エッセイ集～

山崎 まどか 著

DU BOOKS

海外文学における少女探偵たち、現代の南米文学が描く恋愛、文化系サブカル男子の憂鬱…。2004年以降に雑誌やウェブサイトで発表した読書エッセイと書評を収録する。著者14年ぶりのブックガイド。

毎日新聞 2018/07/15

2018:6./ 301p

978-4-86647-066-5

本体 ¥2,200+税



玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ

木下 龍也、岡野 大嗣 著

ナナログ社

雨、蜘蛛は乾いたままの橋の裏側をゆっくり渡っていった 最注目の新世代歌人ふたりが、男子高校生ふたりの7日間を短歌217首で描く。舞城王太郎によるスピノフ小説2篇を掲載した特別付録冊子付き。

毎日新聞 2018/07/15

2018:1./ 134p

978-4-904292-77-8

本体 ¥1,400+税





「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明

伊神 満 著

日経BP社

一時代を築いた「勝ち組」は、なぜ新世代の競争に出遅れがちなのか? 「共喰い」「抜け駆け」「能力格差」をキーワードに、ゲーム理論、データ分析などを駆使して、「イノベーターのジレンマ」をクリアに解明する。

2018:5./ 327p

978-4-8222-5573-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/15、朝日新聞 2018/07/28



TIMELESS

朝吹 真理子 著

新潮社

恋愛感情のない結婚をしたうみとアミ。ぎこちない交配を経てうみは妊娠。やがてアミは姿を消す。そして 2035 年、父を知らぬまま成長した息子のアオは旅先の奈良で桜を見ていた…。『新潮』掲載を単行本化。

2018:6./ 266p

978-4-10-328463-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/22



かくれキリシタン〜長崎・五島・平戸・天草をめぐる旅〜(とんぼの本)

後藤 真樹 著

新潮社

受難の歴史をのりこえ、秘かに脈々と信仰を伝えてきた「かくれキリシタン」。長崎・外海、五島列島、平戸、熊本・天草…。現在もかくれキリシタンを続けている人々などを訪ね歩き、貴重な証言と共に、聖地や史跡をたどる。

2018:4./ 127p

978-4-10-602281-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/07/22



祇園祭〜その魅力のすべて〜(とんぼの本)

新潮社 編

新潮社

千百有余年、京の夏を彩る未曾有の祭は、いったい何がすごいのか。祇園祭のルーツや歴史、基礎知識を解説し、染織、絵画、彫刻、金工等の名品、山鉦全 33 基の詳細など、見どころを写真とともに紹介する。

2018:5./ 175p

978-4-10-602282-1

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/22



幸福とは何か〜ソクラテスからアラン、ラッセルまで〜(中公新書 2495)

長谷川 宏 著

中央公論新社

「幸福とは何か」という問いに、哲学者たちはどう向き合ってきたのか。古代ギリシャのソクラテスから、イギリス経験論のヒューム、20 世紀のラッセルまで、日常の地平から西洋哲学史を捉え直し、幸福のかたちを描き出す。

2018:6./ 3p,269p

978-4-12-102495-4

本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/07/22



公家たちの幕末維新〜ペリー来航から華族誕生へ〜(中公新書 2497)

刑部 芳則 著

中央公論新社

幕末維新の頃、公家たちは何をしていたのか。ペリー来航? 王政復古の十数年を、公家たちを中心に描いた書。天皇復権のため志士たちを煽り、諸藩を相手に権謀術数を重ね、激動の時代に裏から大政を操った彼らの姿を伝える。

2018:7./ 3p,306p

978-4-12-102497-8

本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/07/22



空中庭園(文春文庫)

角田 光代 著

文芸春秋

0

2005:7./ 281p

978-4-16-767203-4

本体 ¥510+税



毎日新聞 2018/07/22



どもる体(シリーズケアをひらく)

伊藤 亜紗 著

医学書院

「どもる」という身体的経験にフォーカスを当て、どもるとき、当事者のなかで何が起き、それとどのように付き合っているのか、インタビュー調査で明らかにする。『看護教育』連載をもとに書籍化。

2018:5./ 255p

978-4-260-03636-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/22



地上最大の行事万国博覧会(光文社新書 957)

堺屋 太一 著

光文社

万国博とは何か。大阪、セビリア、上海の万博を通して見えたものとは。日本で再び万国博を行う意義は。目に見える形で日本を変えた 70 年大阪万博の成功の舞台裏を、その総合プロデューサーであった著者が明かす。

2018:7./ 259p

978-4-334-04363-6

本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/07/22



パレード(幻冬舎文庫)

吉田 修一 著

幻冬舎

0

2004:4./ 309p

978-4-344-40515-8

本体 ¥533+税



毎日新聞 2018/07/22



ジンの歴史(「食」の図書館)

レスリー・ジェイコブズ・ソルモンソン 著

原書房

オランダで生まれ、イギリスで庶民の酒として大流行。やがてカクテルのベースとして不動の地位を得たジン。今も進化し続けるジンの魅力を歴史的に辿る。新しい動き「クラフトジン」についても詳述。ジン名酒一覧・レシピ付き。

2018:5./ 189p

978-4-562-05555-5

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/22



和骨董(TOKYO ARTRIP)

美術出版社書籍編集部 編

美術出版社

古伊万里研究家ら、骨董、古いものに造詣の深い 4 人が、「東京での骨董遊び」を提案し、おすすめのスポット、粋な遊び方を紹介する。東京の街を、日本文化、アート&デザインを切り口に日英バイリンガルでガイドするシリーズ。

2018:5./ 123p

978-4-568-43102-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/07/22



ヨゼフ・チャペックエッセイ集(平凡社ライブラリー 866)

ヨゼフ・チャペック 著

平凡社

チェコの画家・作家・詩人で、舞台美術の分野でも活躍し、「ロボット」という語の創案者でもあるヨゼフ・チャペック。時に温かく、時に辛辣なエッセイ 26 編と、ナチスの強制収容所で死の直前に綴られた詩 9 編を収録する。

2018:4./ 277p

978-4-582-76866-4

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/07/22



2030 年日本経済復活へのシナリオ～15 人のリーダーが語る日本の未来～

小尾 敏夫、岩崎 尚子 著

毎日新聞出版

少子高齢化人口減少社会、人材育成、情報通信産業の未来…。各分野のリーダー15 人が、日本経済が抱える問題・課題を分析し、2030 年の日本の未来に向け、日本経済復活の具体策を提示する。シンポジウム等をもとに書籍化。

2018:6./ 217p

978-4-620-32526-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/07/22



祈りの記憶 長崎と天草地方の潜伏キリシタンの世界

松尾 潤 著

批評社

2018 年 7 月までに世界文化遺産として登録される「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。その概要を紹介し、近年の研究成果を交えながら潜伏・かくれキリシタンの新事実に迫る。『長崎新聞』掲載をもとに単行本化。

2018:6./167p 図版 8 枚

978-4-8265-0681-6

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/07/22



かくれキリシタンの起源～信仰と信者の実相～

中園 成生 著

弦書房

現在も続く、かくれキリシタン信仰。見えてきたのは、宣教師たちが日本人の精神と暮らしを理解して創出した「日本人のキリスト教」と、信者が選択した「信仰並存」という形だった。かくれキリシタンの実像を明らかにする。

2018:3./486p 図版 8 枚

978-4-86329-165-2

本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2018/07/22



線量計と奥の細道

ドリアン助川 著

幻戯書房

松尾芭蕉「奥の細道」の全行程約 2000 キロを旅しながら、「生きる」ということを考えた日々。「3.11」後の日本がどうなっているのか、目と耳と足で確かめた路上の記録。写真、地図も収録。

2018:6./ 333p

978-4-86488-151-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/07/22



言葉の魂の哲学(講談社選書メチエ 673)

古田 徹也 著

講談社

「ゲシュタルト崩壊」を扱った中島敦とホーフマンスタールの小説から、ウィトゲンシュタインの言語論、カール・クラウスの言語論までを検証。「生きた言葉」「魂ある言葉」を考える、新しい言語哲学。

2018:4./ 249p

978-4-06-258676-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/07/29



「空気」の研究(文春文庫)

山本 七平 著
文芸春秋
0

1983:10./ 237p
978-4-16-730603-8
本体 ¥560+税
* 9 7 8 4 1 6 7 3 0 6 0 3 8 *

毎日新聞 2018/07/29



「レ・ミゼラブル」百六景(文春文庫 か 15-7)

鹿島 茂 著
文芸春秋
フランス文学で最も細部の豊かな小説である「レ・ミゼラブル」。19 世紀の美しい木版画 230 葉を 106 シーンに分け、骨太なストーリーラインと、微に入り細を穿った解説で、その物語をあざやかに甦らせる。

2012:11./ 497p
978-4-16-759006-2
本体 ¥819+税
* 9 7 8 4 1 6 7 5 9 0 0 6 2 *

毎日新聞 2018/07/29



ポリフォニック・イリュージョン～初期作品+批評集成～

飛 浩隆 著
河出書房新社
デビュー作「ポリフォニック・イリュージョン」から「星窓」まで、初期作 6 編と著者による解説を収録。また、名作 SF の作品論、作家論、選評、文庫解説、帯推薦文、対談、インタビューなども掲載する。

2018:5./ 381p
978-4-309-02669-5
本体 ¥1,800+税
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 6 6 9 5 *

毎日新聞 2018/07/29



ドイツ菓子図鑑～お菓子の由来と作り方～

森本 智子 著
誠文堂新光社
バウムクーヘン、シュトレンをはじめ、日本でも親しまれている菓子のふるさと、ドイツ。100 余種のドイツ菓子について、その由来や背景にあるストーリーをレシピとともに紹介する。ドイツ菓子にちなんだコラムも満載。

2018:7./ 239p
978-4-416-61801-1
本体 ¥2,500+税
* 9 7 8 4 4 1 6 6 1 8 0 1 1 *

毎日新聞 2018/07/29



アメリカの大学スポーツ～腐敗の構図と改革への道～(高等教育シリーズ 174)

ジェラルド・ガーニー、ドナ・ロピアノ、アンドリュー・ジンバリスト 著
玉川大学出版部
アマチュアリズムとしての「学生スポーツ」はどこへ向かうのか。全米大学体育協会(NCAA)とアメリカの大学スポーツについて、その現状と問題点を浮き彫りにしつつ、教育活動としてのスポーツが再生する道を提案する。

2018:6./ 286p,34p
978-4-472-40546-4
本体 ¥4,200+税
* 9 7 8 4 4 7 2 4 0 5 4 6 4 *

毎日新聞 2018/07/29



遠い朝の本たち(ちくま文庫)

須賀 敦子 著
筑摩書房
0

2001:3./ 221p
978-4-480-03628-5
本体 ¥580+税
* 9 7 8 4 4 8 0 0 3 6 2 8 5 *

毎日新聞 2018/07/29



東京おいしい老舗散歩(かもめの本棚)

安原 眞琴、鈴木 透 著

東海大学出版部

江戸文化の研究者が、「おいしい味とゆったりした時間を味わえる東京の老舗」12店をセレクト。12 カ月のおすすめ散歩コースを紹介する。WEB マガジン『かもめの本棚』連載を書籍化。データ:2017 年 12 月現在。

2017:12./ 207p

978-4-486-03910-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/07/29



ある家族の会話(白水 U ブックス)

ナタリア・ギンズブルグ 著

白水社

ファシズムの嵐が迫る北イタリア。イタリア現代史の中で最も悲惨で最も魅力的な一時期を乗り越えて生きた、心優しくも知的で自由な家族の姿を、末娘の目を通してみずみずしく描く。再刊。〈ソフトカバー〉

1997:10./ 286p

978-4-560-07120-5

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/07/29



コルシア書店の仲間たち~須賀敦子コレクション~(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

ミラノの大聖堂に近いコルシア書店に集う、心やさしくも真摯な生き方にこだわる人々とのふれあいをつづる魂のエッセイ。それぞれの人の描写の上に、著者の好奇心、想像力、鋭い視覚・聴覚が息づく。92 年文芸春秋刊の再刊。

2001:10./ 234p

978-4-560-07353-7

本体 ¥950+税



毎日新聞 2018/07/29



ミラノ霧の風景~須賀敦子コレクション~(白水 U ブックス)

須賀 敦子 著

白水社

記憶の中のミラノには、今もあの霧が静かに流れている?。イタリアで暮らした遠い日々を追想し、人、町、文学とのふれあいと言葉にならぬため息をつづる追憶のエッセイ。講談社エッセイ賞、女流文学賞受賞。90年刊の再刊。

2001:12./ 222p

978-4-560-07357-5

本体 ¥870+税



毎日新聞 2018/07/29



世紀の小説『レ・ミゼラブル』の誕生

デイヴィッド・ペロス、立石 光子 著

白水社

南北戦争の兵士も共産圏の人々も愛読した小説『レ・ミゼラブル』。文学史に輝く永遠のベストセラーを、作者ユゴーの生涯や信条とからめ、19 世紀のフランス社会を浮き彫りにしながら、多面的に読み解く。

2018:7./ 334p,29p

978-4-560-09645-1

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/07/29



昭和ノスタルジー解体~「懐かしさ」はどう作られたのか~

高野 光平 著

晶文社

ゼロ年代の<昭和ノスタルジー>ブームは、なぜ世代を超えた一大ブームになり得たのか。マンガやテレビ、雑誌、広告、おもちゃ、音楽、映画、ファッション、レジャー施設など、幅広い領域に目を向けながら考察する。

2018:4./ 377p

978-4-7949-6996-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2018/07/29



西行わが心の行方

松本 徹 著

鳥影社

鳥羽院の武士として出発し、厳しい修行と、花と月と歌の旅を重ねつつ乱世を生き抜いた、稀有の歌人僧・西行。その足跡を丹念に追い、歌を軸に西行の心の内に迫る。『季刊文科』連載を単行本化。

2018:6./ 356p

978-4-86265-654-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/07/29



消滅遺産～もう見られない世界の偉大な建造物～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナルジオグラフィック 編

安倍 雅史 著

日経ナショナルジオグラフィック社

バーミヤーンの大仏のように粉々になってしまったものから、都市計画の一環で解体されてしまったもの、紛争地帯で消滅の危機にさらされているものまで。世界の偉大な建築物を、かつての姿を記録した写真で紹介する。

2018:2./ 157p

978-4-86313-412-6

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/07/29



つい昨日のこと～私のギリシア～

高橋 睦郎 著

思潮社

ギリシア人は存在したが ギリシアという国はなかった ギリシア人が行き 住みつく先がギリシアだった(「ギリシアとは」より) 古代ギリシアとの出会いから始まった著者の詩作生活の総決算となる詩集。

2018:7./ 183p

978-4-7837-3604-2

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/07/30